

全国異常気象概況

平成23年

(2011年)

平成24年3月

気象庁

—— 目 次 ——

1	平成23年(2011年)の気象災害.....	1
1-1	気象の特徴	1
1-2	主な気象災害.....	1
	資料1-2-1 平成23年(2011年)激甚災害指定状況一覧表	29
2	平成23年(2011年) 台風の概要	31
2-1	平成23年(2011年)に発生した台風	31
	資料2-1-1 台風発生数一覧表	32
	資料2-1-2 日本への台風上陸数一覧表.....	33
	資料2-1-3 日本への台風接近数一覧表.....	34
	資料2-1-4 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表	35
	資料2-1-5 平成23年(2011年)に発生した台風の一覧表.....	36
2-2	平成23年(2011年)に日本に影響した主な台風	37
	資料2-2-1 平成23年(2011年)に日本に影響した台風の概要表....	40
	資料2-2-2 平成23年(2011年)に発生した台風の経路図.....	41
3	平成23年(2011年)の天気概況.....	45

本資料は、人的被害や社会活動に大きな影響のあった主な気象災害の概況や台風などについて、気象庁予報部において取りまとめたものである。

1 平成 23 年(2011 年)の気象災害

1-1 気象の特徴

○年降水量は北・東日本日本海側、西日本で多く、年間日照時間は西日本、沖縄・奄美で少ない

年降水量は北・東日本日本海側、西日本で多く、特に北日本日本海側ではかなり多かった。年間日照時間は西日本、沖縄・奄美で少なく、特に沖縄・奄美ではかなり少なかった。年平均気温は北日本から西日本にかけて平年並で、沖縄・奄美では低かった。

○全国的に春は低温、夏と秋は高温

春は寒気の影響を受けやすかったため、平均気温は全国的に低く、特に西日本、沖縄・奄美ではかなり低かった。一方、夏と秋は全国的に高温となり、暖かい空気に覆われることが多かった秋の平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美でかなり高かった。

○多くの地方で梅雨入り・梅雨明けがかなり早い

梅雨入りは東北・北陸地方以外の地方でかなり早く、梅雨明けは奄美・九州南部・九州北部・四国地方以外の地方でかなり早かった。

○平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨、台風第 12 号及び台風第 15 号による記録的な大雨

平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨や、9 月の台風第 12 号と台風第 15 号による記録的な大雨により、甚大な災害が発生した。

1-2 主な気象災害

ここでは、平成23年(2011年)に発生し、人的被害や社会活動に大きな影響があった主な気象災害の概況について、おおむね発生日順に災害番号(括弧内番号)を付けて記述した。また、災害番号に続けて、災害期日：地域、()内に災害の種類、< >内に気圧配置などの気象状況を記した。災害の種類別(大雨、大雪、暴風、突風、高波など)の一覧表を表1.1に示す。

被害の具体的な数値は、総務省消防庁、国土交通省の資料および地方気象台等が国や都道府県の防災機関等から入手し気象庁観測部統計室が取りまとめた資料による。また、地方気象台等が行った竜巻の被害状況等調査報告等も参考にした。

表 1.1 災害の種類別の番号一覧表

災害名	災害番号
大雨(豪雨を含む)	(3)、(4)、(5)、(6)、(8)、(9)、(10)、(11)、(12)、(13)、(14)、(15)、(16)、(17)
大雪	(1)、(2)
暴風	(1)、(2)、(3)、(4)、(6)、(8)、(10)、(11)、(12)、(13)、(15)、(16)
突風(竜巻を含む)	(7)、(10)、(11)、(13)、(15)
高波	(1)、(2)、(4)、(6)、(8)、(10)、(12)、(13)

(1)平成 22 年 12 月 30 日～平成 23 年 1 月 2 日:全国(大雪、暴風、高波)＜冬型＞

日本海中部の低気圧が三陸沖に進み、また、関東の東海上の低気圧が発達しながら北東に進み、日本付近は強い冬型の気圧配置になった。このため、山陰から北日本にかけての日本海側の一部で大雪となったほか、南西諸島から北日本にかけての一部で暴風や大しけとなった。

このため、鳥取県などで死者・行方不明者が 6 名となったほか、家屋の一部損壊、電力障害などが発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

12 月 30 日

[主な最大風速]

鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	21.0	メートル	西	[23:19]
高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	20.2	メートル	西北西	[20:05]

[主な日降雪量]

島根県飯南町赤名(アカナ)	52	センチ
---------------	----	-----

12 月 31 日

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	29.9	メートル	北東	[15:49]
鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	23.4	メートル	北西	[05:53]
青森県八戸市八戸(ハチノヘ)	22.5	メートル	北東	[14:00]
高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	22.1	メートル	西北西	[09:17]

[主な日降雪量]

鳥取県大山町大山(ダ'イセン)	120	センチ	岩手県葛巻町葛巻(クス'マキ)	87	センチ
岡山県真庭市上長田(カシガタ)	66	センチ	兵庫県香美町兎和野高原(ウノコウケン)	57	センチ
青森県青森市酸ヶ湯(スカユ)	56	センチ	島根県松江市松江(マツエ)	52	センチ
滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	50	センチ			

1 月 1 日

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	25.5	メートル	北北東	[06:35]
---------------------	------	------	-----	---------

[主な日降雪量]

鳥取県大山町大山(ダ'イセン)	32	センチ
-----------------	----	-----

(2)1 月 14 日～1 月 22 日:全国(大雪、暴風、高波)＜冬型＞

14 日から 22 日にかけて、日本付近は冬型の気圧配置になった。このため、九州や北海道の一部で暴風となったほか、北陸地方の沿岸で大しけとなり、西日本から東日本にかけての日本海側と東北地方で大雪となった。

このため、福井県などで死者・行方不明者が 9 名となったほか、家屋損壊や浸水、土砂災害、電力障害が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

1 月 14 日

[主な最大風速]

北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	21.3	メートル	西北西	[13:08]
北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	20.0	メートル	西北西	[23:22]

[主な日降雪量]				
青森県青森市酸ヶ湯(スカユ)	47	センチ	新潟県上越市高田(タカタ)	41 センチ
1月15日				
[主な最大風速]				
鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	20.5	メートル	北北西	[15:38]
東京都神津島村神津島(コウヅシマ)	20.0	メートル	西北西	[22:56]
[主な日降雪量]				
岐阜県白川村白川(シラカワ)	50	センチ		
1月16日				
[主な最大風速]				
鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	21.5	メートル	北北西	[02:49]
東京都神津島村神津島(コウヅシマ)	20.0	メートル	西北西	[05:06]
[主な日降雪量]				
岡山県真庭市上長田(カシカガタ)	62	センチ	鳥取県智頭町智頭(チズ)	59 センチ
岐阜県飛騨市神岡(カミオカ)	52	センチ		
1月17日				
[主な最大風速]				
山形県酒田市飛島(トビシマ)	21.3	メートル	北西	[02:35]
東京都神津島村神津島(コウヅシマ)	21.0	メートル	西北西	[03:24]
[主な日降雪量]				
福島県檜枝岐村桧枝岐(ヒノエマタ)	54	センチ		
1月18日				
[主な最大風速]				
山形県酒田市飛島(トビシマ)	17.9	メートル	西北西	[12:33]
北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	17.3	メートル	西北西	[06:23]
[主な日降雪量]				
新潟県湯沢町湯沢(ユザワ)	31	センチ	福島県只見町只見(タダミ)	24 センチ
1月19日				
[主な最大風速]				
北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	19.0	メートル	西	[12:36]
山形県酒田市飛島(トビシマ)	18.3	メートル	西北西	[13:03]
東京都神津島村神津島(コウヅシマ)	17.8	メートル	西北西	[23:51]
[主な日降雪量]				
山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	50	センチ		
1月20日				
[主な最大風速]				
北海道江差町江差(エサシ)	21.5	メートル	北西	[15:38]
山形県酒田市飛島(トビシマ)	20.4	メートル	西北西	[12:12]
[主な日降雪量]				
新潟県津南町津南(ツナン)	55	センチ		

1月21日

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	18.2	メートル	西北西	[00:18]
山形県酒田市飛島(トビシマ)	17.6	メートル	西北西	[02:05]

[主な日降雪量]

北海道幌加内町朱鞠内(シュマリナイ)	38	センチ
--------------------	----	-----

1月22日

[主な最大風速]

東京都神津島村神津島(コヅシマ)	18.9	メートル	西北西	[19:28]
山形県酒田市飛島(トビシマ)	17.4	メートル	西北西	[23:03]

[主な日降雪量]

新潟県十日町市十日町(トオカマチ)	39	センチ	山形県尾花沢市尾花沢(オハナサワリ)	38	センチ
北海道留萌市留萌(ルモイ)	33	センチ	青森県青森市青森(アオモリ)	33	センチ

(3)5月10日～5月12日:西日本(暴風、大雨)<台風第1号>

7日21時にフィリピンの東海上で発生した台風第1号は、バシー海峡を北上した後北東へ向きを変え、沖縄本島に接近し、日本の南海上を北東へ進んだ後、13日03時に本州の東海上で温帯低気圧に変わった。このため、沖縄・奄美から東日本にかけての一部で大雨となり、西日本の一部では強風となった。

このため、西日本では電力障害や交通障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

5月10日

[主な日降水量]

山口県周南市鹿野(カノ)	212.5	ミリ	佐賀県嬉野市嬉野(ウレシノ)	185.0	ミリ
福岡県北九州市小倉南区頂吉(カグメヨシ)	176.0	ミリ	大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	144.5	ミリ
長崎県壱岐市石田(イシダ)	141.5	ミリ	島根県隠岐の島町西郷(サイコウ)	129.0	ミリ
長野県松本市上高地(カミコウチ)	123.5	ミリ	岐阜県白川村御母衣(ミホロ)	122.0	ミリ
熊本県阿蘇市阿蘇乙姫(アソオトヒメ)	117.0	ミリ	福井県福井市越廼(コシノ)	115.5	ミリ
沖縄県宮古島市城辺(グスクベ)	110.5	ミリ	新潟県糸魚川市糸魚川(イトイカワ)	105.0	ミリ
鳥取県大山町大山(ダイセン)	105.0	ミリ	石川県白山市白山白峰(ハクサンシラミネ)	104.0	ミリ
富山県朝日町泊(トマリ)	102.5	ミリ	広島県北広島町八幡(ヤワタ)	101.0	ミリ

[主な最大風速]

新潟県佐渡市両津(リョウツ)	21.3	メートル	西	[03:32]
----------------	------	------	---	---------

5月11日

[主な日降水量]

島根県出雲市出雲(イズモ)	209.5	ミリ	静岡県静岡市葵区井川(イカワ)	181.5	ミリ
鳥取県米子市米子(ヨナゴ)	167.5	ミリ	長野県阿智村浪合(ナミアイ)	158.5	ミリ
愛知県豊根村茶臼山(チャウスヤマ)	158.0	ミリ	三重県いなべ市北勢(ホクセイ)	152.5	ミリ
広島県安芸太田町内黒山(ウチグロヤマ)	146.0	ミリ	神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	141.0	ミリ
山梨県南部町南部(ナンブ)	127.5	ミリ	兵庫県宍粟市一宮(イチミヤ)	127.0	ミリ
岐阜県関ヶ原町関ヶ原(セキガハラ)	126.5	ミリ	滋賀県大津市大津(オオツ)	126.5	ミリ

山口県宇部市宇部(ウヘ)	125.5	ミリ	福岡県北九州市小倉南区頂吉(カグメシ)	124.0	ミリ
京都府長岡京市長岡京(ナガオカキョウ)	121.0	ミリ	岡山県美作市今岡(イマオカ)	112.5	ミリ
長崎県対馬市美津島(ミツシマ)	104.5	ミリ	大阪府能勢町能勢(ノセ)	100.0	ミリ

[主な最大風速]

沖縄県金武町宮城島(ミヤキジマ)	18.7	メートル	西南西	[17:08]
高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	17.2	メートル	西南西	[00:11]

5月12日

[主な日降水量]

鹿児島県与論町与論島(ヨロシマ)	87.5	ミリ	東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	85.0	ミリ
------------------	------	----	------------------	------	----

[主な最大風速]

北海道俱知安町俱知安(クッチャン)	15.0	メートル	東	[23:46]
-------------------	------	------	---	---------

(4)5月28日～5月30日:西日本から北日本(暴風、大雨、高波)＜台風第2号＞

21日21時にヤップ島の南海上で発生した台風第2号は、フィリピンの東海上を北上した後北東へ向きを変え、沖縄本島に接近し、29日15時に四国の南海上で温帯低気圧に変わった。このため、西日本から北日本にかけての一部で大雨となり、西日本の一部で暴風となったほか、西日本から東日本にかけての太平洋側で大しけとなった。

このため、愛媛県などで死者・行方不明者が2名となり、家屋損壊や土砂災害、電力障害、交通障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

5月28日

[主な日降水量]

鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	419.0	ミリ	沖縄県石垣市石垣島(イシガキジマ)	228.5	ミリ
沖縄県多良間村仲筋(ナカスジ)	160.5	ミリ	宮崎県日南市油津(アブラツ)	144.5	ミリ
高知県土佐清水市清水(シミス)	100.0	ミリ			

[主な最大風速]

沖縄県久米島町北原(キタハラ)	41.8	メートル	北北西	[21:46]
沖縄県宮古島市下地(シモジ)	36.2	メートル	西北西	[17:42]
鹿児島県与論町与論島(ヨロシマ)	30.8	メートル	南南東	[23:28]
沖縄県石垣市真栄里(マエザト)	28.8	メートル	北西	[14:57]

5月29日

[主な日降水量]

徳島県三好市京上(キョウジョウ)	267.0	ミリ	高知県本山町本山(モトヤマ)	260.5	ミリ
愛媛県四国中央市富郷(トミサト)	257.0	ミリ	兵庫県洲本市洲本(スモト)	226.0	ミリ
岐阜県関市関市板取(セキシイタリ)	218.5	ミリ	香川県東かがわ市引田(ヒケタ)	215.5	ミリ
山梨県甲府市古関(フルセキ)	207.0	ミリ	静岡県静岡市葵区梅ヶ島(ウメガシマ)	184.0	ミリ
鳥取県鳥取市鹿野(シカノ)	182.0	ミリ	愛知県新城市作手(ツクテ)	179.0	ミリ
福井県おおい町大飯(オオイ)	172.0	ミリ	京都府舞鶴市舞鶴(マイヅル)	168.0	ミリ
和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	165.0	ミリ	長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	162.0	ミリ
鹿児島県中種子町中種子(ナカタネ)	154.5	ミリ	大阪府田尻町関空島(カンクウジマ)	153.0	ミリ

滋賀県高島市今津(イマツ)	151.0	ミリ	石川県金沢市医王山(イオウゼン)	144.5	ミリ
三重県尾鷲市尾鷲(オワセ)	140.5	ミリ	神奈川県山北町丹沢湖(タンザワコ)	138.0	ミリ
岡山県真庭市上長田(カシガタ)	125.0	ミリ	群馬県高崎市榛名山(ハルナサン)	124.5	ミリ
富山県南砺市南砺高宮(ナントカミヤ)	118.5	ミリ	埼玉県ときがわ町ときがわ(トキガワ)	107.5	ミリ
奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	100.0	ミリ			

[主な最大風速]

鹿児島県和泊町沖永良部(オキノエラブ)	34.0	メートル	南	[00:33]
沖縄県那覇市安次嶺(アシミネ)	28.0	メートル	西	[00:05]
岡山県奈義町奈義(ナギ)	27.1	メートル	北北東	[18:27]
長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	25.2	メートル	北東	[11:25]
富山県朝日町泊(トマリ)	21.5	メートル	東北東	[22:48]
兵庫県神戸市中央区神戸(コウベ)	20.0	メートル	北北西	[17:35]

5月30日

[主な日降水量]

福井県おおい町大飯(オオイ)	218.5	ミリ	岩手県久慈市下戸鎖(シモトクサリ)	170.5	ミリ
宮城県丸森町筆甫(ヒッポ)	156.5	ミリ	福島県相馬市相馬(ソウマ)	129.0	ミリ
京都府綾部市故屋岡(コヤオカ)	106.5	ミリ			

[主な最大風速]

宮城県石巻市石巻(イシノマキ)	23.8	メートル	北東	[11:16]
千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	23.7	メートル	北	[18:08]
北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	21.6	メートル	北東	[22:41]
富山県朝日町泊(トマリ)	21.0	メートル	東北東	[00:01]

(5)6月12日～6月25日:全国(大雨)<梅雨前線>

12日から17日にかけて、梅雨前線が華中から日本の太平洋側沿岸に停滞し、前線上の低気圧が九州を通過して東海沖を東へ進んだため、西日本および東海の一部で大雨となった。18日から21日にかけては、九州を通過して日本の太平洋側沿岸に梅雨前線が停滞し、九州の一部で大雨となった。また、22日から25日にかけては、梅雨前線が日本海から東北地方に停滞し、北陸から東北地方にかけての一部で大雨となった。

前線の影響のため、熊本県などで死者・行方不明者が2名となり、浸水や家屋損壊、土砂災害、電力障害、交通障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

6月12日

[主な日降水量]

熊本県益城町益城(マシキ)	242.0	ミリ	長崎県長崎市長崎(ナガサキ)	218.0	ミリ
福岡県大牟田市大牟田(オオムタ)	135.5	ミリ	佐賀県嬉野市嬉野(ウレシノ)	134.5	ミリ
大分県竹田市竹田(タケタ)	133.0	ミリ	宮崎県椎葉村上椎葉(カミシイハ)	132.0	ミリ
愛媛県大洲市大洲(オオス)	107.5	ミリ			

6月13日

[主な日降水量]

鹿児島県瀬戸内町古仁屋(コニヤ)	137.0	ミリ	静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	103.0	ミリ
------------------	-------	----	------------------	-------	----

6月14日

[主な日降水量]

茨城県日立市日立(ヒタチ) 96.5 ミリ 鹿児島県奄美市名瀬(ナゼ) 81.5 ミリ

6月15日

[主な日降水量]

鹿児島県出水市出水(イズミ) 156.5 ミリ 宮崎県高原町高原(タカハル) 114.0 ミリ

6月16日

[主な日降水量]

宮崎県えびの市加久藤(カクフ) 253.5 ミリ 鹿児島県さつま町さつま柏原(サツマカシワバル) 241.0 ミリ

熊本県天草市牛深(ウシブカ) 146.5 ミリ 大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ) 140.0 ミリ

山口県周防大島町安下庄(アゲノショウ) 112.0 ミリ 福岡県行橋市行橋(ユクハシ) 104.0 ミリ

6月17日

[主な日降水量]

鹿児島県南大隅町佐多(サタ) 93.5 ミリ

6月18日

[主な日降水量]

熊本県水俣市水俣(ミナマタ) 244.0 ミリ 鹿児島県さつま町紫尾山(シビサン) 173.5 ミリ

宮崎県椎葉村上椎葉(カシイハ) 157.0 ミリ 長崎県南島原市口之津(クチノツ) 117.5 ミリ

6月19日

[主な日降水量]

宮崎県えびの市えびの(エビノ) 168.5 ミリ 大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ) 146.0 ミリ

熊本県あさぎり町上(ウエ) 141.0 ミリ 鹿児島県伊佐市大口(オオクチ) 114.0 ミリ

6月20日

[主な日降水量]

熊本県山都町山都(ヤマト) 193.5 ミリ 長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ) 153.5 ミリ

愛媛県宇和島市宇和島(ウワジマ) 148.0 ミリ 宮崎県高千穂町高千穂(タカホ) 147.0 ミリ

高知県四万十市江川崎(エカワサキ) 131.0 ミリ 鹿児島県屋久島町尾之間(オノアイダ) 130.5 ミリ

大分県竹田市竹田(タケタ) 128.0 ミリ 福岡県大牟田市大牟田(オオムタ) 100.0 ミリ

6月21日

[主な日降水量]

鹿児島県枕崎市枕崎(マクラサキ) 104.0 ミリ

6月22日

[主な日降水量]

宮崎県えびの市えびの(エビノ) 42.0 ミリ 大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ) 34.5 ミリ

6月23日

[主な日降水量]

山形県小国町小国(オクニ) 251.5 ミリ 新潟県村上市高根(タカネ) 230.0 ミリ

秋田県湯沢市湯の岱(ユノタイ) 133.5 ミリ

6月24日

[主な日降水量]

秋田県由利本荘市矢島(ヤシマ) 183.0 ミリ 岩手県西和賀町沢内(サウチ) 165.0 ミリ

山形県酒田市上草津(カシカツ) 112.0 ミリ

6月25日

[主な日降水量]

新潟県糸魚川市平岩(ヒライワ) 133.0 ミリ 富山県黒部市宇奈月(ウナヅキ) 118.0 ミリ

長野県白馬村白馬(ハクハ) 110.0 ミリ

(6)6月24日～6月26日:西日本から東日本(暴風、大雨、高波)＜台風第5号＞

22日9時にフィリピンのサマル島の東海上で発生した台風第5号は、北西へ進路を変えるとともに、徐々に速度を上げ、24日18時に先島の南海上で勢力が最大となった。台風は東シナ海を北へ進んだ後、山東半島付近で急激に北東へ進路を変えた後、27日15時に朝鮮半島沿岸の北西海上で温帯低気圧に変わった。このため、西日本から北日本にかけての一部で大雨となり、西日本の一部で暴風となったほか、先島諸島付近で大しけとなった。

この台風の影響により、和歌山県などで死者・行方不明者が2名となり、家屋損壊や電力障害、交通障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

6月24日

[主な日降水量]

沖縄県宮古島市宮古島(ミヤコジマ) 70.5 ミリ

[主な最大風速]

沖縄県宮古島市下地(シモジ) 29.1 メートル 東 [19:07]

沖縄県久米島町北原(キタハラ) 21.3 メートル 南東 [24:00]

沖縄県竹富町西表島(イリオモテジマ) 20.0 メートル 西 [23:58]

6月25日

[主な日降水量]

宮崎県美郷町神門(ミカト) 160.0 ミリ 鹿児島県鹿屋市輝北(キホク) 111.0 ミリ

[主な最大風速]

沖縄県久米島町北原(キタハラ) 24.6 メートル 南東 [02:52]

6月26日

[主な日降水量]

徳島県上勝町福原旭(フクハラアサヒ) 181.0 ミリ 高知県本山町本山(モトヤマ) 149.0 ミリ

宮崎県延岡市北方(キタカタ) 137.5 ミリ 長崎県新上五島町有川(アリカワ) 132.5 ミリ

大分県佐伯市宇目(ウメ) 118.5 ミリ

[主な最大風速]

愛媛県伊方町瀬戸(セト) 21.6 メートル 南南東 [21:30]

長崎県新上五島町頭ヶ島(カシラガシマ) 20.4 メートル 南南東 [09:07]

(7)7月5日:新潟(突風)＜前線＞

7月5日は、梅雨前線が本州をゆっくり南下し、9時には関東地方から東海沖を通過して九州南部に停滞していた。北陸地方では、上空に寒気を伴った気圧の谷が通過しており、新潟県は大気の状態が不安定となっていた。突風が発生した時間に燕市及び三条市の被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。

この突風により、新潟県で10名が負傷したほか、家屋損壊などが発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

(8)7月17日～7月21日:西日本から東日本(暴風、大雨、高波)＜台風第6号＞

12日9時に南鳥島の南東海上で発生した台風第6号は、西へ進んだ後北西に向きを変え、19日23時頃に徳島県南部に上陸した。その後東に進んだ台風第6号は、20日10時頃和歌山県潮岬付近を通過し、その後南東へ向かった。台風第6号は、22日午前中に北東へ向きを変え、24日21時に北海道の東海上で温帯低気圧に変わった。このため、四国地方から関東地方にかけての太平洋側を中心に大雨となり、降り始めからの総雨量が7月の月降水量平年値を超える記録的な大雨となったところがあった。また、台風第6号により西日本から北日本の太平洋沿岸では平均風速20m/sを超える暴風となり、西日本から東日本にかけての太平洋側で猛烈なしけとなった。

この台風により、三重県と高知県で死者2名、奈良県で行方不明者が1名となったほか、家屋損壊や浸水、土砂災害、交通障害、電力障害等が発生した。(被害の状況は平成23年8月18日内閣府まとめによる)

7月17日

[主な日降水量]

宮崎県美郷町神門(ミカト) 51.0 ミリ

[主な最大風速]

沖縄県南大東村旧東(キョウトウ) 17.0メートル 北 [21:01]

7月18日

[主な日降水量]

高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ) 316.0 ミリ 奈良県上北山村上北山(カミキタヤマ) 301.0 ミリ

和歌山県田辺市龍神(リュウジン) 238.5 ミリ 徳島県那賀町木頭(キトウ) 187.5 ミリ

宮崎県日南市深瀬(フカセ) 186.5 ミリ 三重県大台町宮川(ミヤガワ) 151.5 ミリ

鹿児島県錦江町田代(タシロ) 131.0 ミリ 愛媛県宇和島市宇和島(ウヅジマ) 111.0 ミリ

[主な最大風速]

高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ) 23.2メートル 東 [23:51]

鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ) 21.9メートル 北北東 [19:41]

宮崎県宮崎市赤江(アカエ) 21.6メートル 北東 [17:01]

7月19日

[主な日降水量]

高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ) 851.5 ミリ 三重県大台町宮川(ミヤガワ) 764.0 ミリ

徳島県上勝町福原旭(フクハラアサヒ) 641.5 ミリ 和歌山県古座川町西川(ニシカワ) 581.0 ミリ

静岡県静岡市葵区井川(イカワ) 527.5 ミリ 奈良県上北山村上北山(カミキタヤマ) 521.0 ミリ

神奈川県山北町丹沢湖(タンザワコ) 457.5 ミリ 滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ) 313.5 ミリ

山梨県上野原市上野原(ウエノハラ) 313.0 ミリ 愛知県豊田市阿蔵(アゾウ) 285.5 ミリ

岐阜県大垣市上石津(カミイヅツ) 226.5 ミリ 群馬県館林市館林(タテバヤシ) 219.0 ミリ

埼玉県ときがわ町ときがわ(トキガワ) 219.0 ミリ 長野県阿南町阿南(アナン) 217.0 ミリ

東京都檜原村小沢(オザワ) 211.0 ミリ 栃木県足利市足利(アシカガ) 203.0 ミリ

愛媛県西条市成就社(シヨウジユシヤ) 189.0 ミリ 兵庫県南あわじ市南淡(ナンタン) 177.5 ミリ

香川県東かがわ市引田(ヒケタ) 170.0 ミリ 茨城県古河市古河(コカ) 165.0 ミリ

福島県いわき市小名浜(オナハマ) 158.0 ミリ 大分県佐伯市蒲江(カマエ) 106.5 ミリ

[主な最大風速]

高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ) 39.4メートル 西南西 [21:54]

三重県津市津(ツ)	24.6	メートル	東南東	[11:30]
和歌山県白浜町南紀白浜(ナンキシラハマ)	22.9	メートル	南東	[18:48]
長崎県雲仙市雲仙岳(ウンセンダケ)	22.2	メートル	北東	[09:58]
徳島県美波町日和佐(ヒワサ)	21.3	メートル	東	[10:57]
島根県出雲市斐川(ヒカワ)	20.4	メートル	東北東	[16:52]

7月20日

[主な日降水量]

静岡県静岡市葵区梅ヶ島(ウメガシマ)	265.0	ミリ	愛知県新城市作手(ツクテ)	220.0	ミリ
愛媛県四国中央市富郷(トミサト)	184.5	ミリ	山梨県南部町南部(ナンブ)	162.5	ミリ
岐阜県関ヶ原町関ヶ原(セキガハラ)	139.0	ミリ	和歌山県古座川町西川(ニシカワ)	130.0	ミリ
長野県阿智村浪合(ナミアイ)	118.0	ミリ	三重県鳥羽市鳥羽(トバ)	112.0	ミリ
福島県南相馬市原町(ハラマチ)	110.0	ミリ	滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ)	103.5	ミリ
神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	103.0	ミリ			

[主な最大風速]

高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	29.5	メートル	西	[03:47]
三重県津市津(ツ)	22.2	メートル	南東	[00:39]
宮城県石巻市石巻(イシノマキ)	21.4	メートル	東北東	[15:12]

7月21日

[主な日降水量]

埼玉県秩父市三峰(ミツミネ)	48.5	ミリ	静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	42.5	ミリ
愛知県豊田市阿蔵(アゾウ)	37.0	ミリ			

[主な最大風速]

東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	23.8	メートル	北北東	[09:41]
------------------	------	------	-----	---------

(9)7月27日～7月30日：新潟県、福島県(大雨)(平成23年7月新潟・福島豪雨)＜前線＞

7月27日から30日にかけて、新潟県と福島県会津を中心に大雨となった。特に、28日から30日にかけては、前線が朝鮮半島から北陸地方を通過して関東の東にかけて停滞し、前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となって、新潟県と福島県会津を中心に「平成16年7月新潟・福島豪雨」を上回る記録的な大雨となった。この7月27日から30日にかけて災害をもたらした大雨について、気象庁は「平成23年7月新潟・福島豪雨」と命名した。

この大雨により、新潟県で死者4名行方不明者1名、福島県で行方不明者1名となったほか、新潟県、福島県では各地で堤防の決壊や河川の氾濫による住家の浸水・農地の冠水が発生し、土砂災害による住家や道路の被害も多数発生した。その他、電力障害、断水が発生し、交通機関にも大きな影響が出た。(被害の状況は平成23年12月28日内閣府まとめによる)

7月27日

[主な日降水量]

福島県福島市茂庭(モエリ)	76.0	ミリ	新潟県魚沼市入広瀬(イヒロセ)	50.5	ミリ
---------------	------	----	-----------------	------	----

7月28日

[主な日降水量]

新潟県阿賀町津川(ツカワ)	209.5	ミリ	福島県金山町金山(カネヤマ)	204.0	ミリ
茨城県筑西市門井(カトイ)	158.0	ミリ	群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	153.5	ミリ
秋田県男鹿市男鹿(オカ)	135.0	ミリ			

7月29日

[主な日降水量]

福島県只見町只見(タダミ)	430.0	ミリ	新潟県加茂市宮寄上(ミヤヨリガミ)	290.0	ミリ
群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	111.5	ミリ	栃木県日光市奥日光(オクニッコウ)	107.0	ミリ
山形県小国町小国(オクニ)	101.0	ミリ			

7月30日

[主な日降水量]

新潟県加茂市宮寄上(ミヤヨリガミ)	221.5	ミリ	福島県只見町只見(タダミ)	106.0	ミリ
-------------------	-------	----	---------------	-------	----

(10)8月1日～8月7日:西日本から東日本(大雨、暴風、突風、高波)＜台風第9号＞

7月28日15時にグアム島の南西海上で発生した台風第9号は西へ進んだ後北に向きを変え、8月5日22時頃に沖縄県久米島付近を通過した。その後東シナ海を北に進み、8日に朝鮮半島に上陸し、9日9時に中国東北区で熱帯低気圧に変わった。このため、沖縄から九州にかけての一部で大雨や暴風となり、栃木県では突風が発生した。また、沖縄本島付近では猛烈なしけとなった。

この台風の影響により、高知県などで死者・行方不明者4名となったほか、浸水、土砂災害、交通障害、電力障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

8月1日

[主な日降水量]

和歌山県那智勝浦町色川(イロカワ)	302.5	ミリ	東京都八丈町八重見ヶ原(ヤエミガハラ)	244.0	ミリ
広島県庄原市道後山(ドウゴヤマ)	110.5	ミリ	奈良県上北山村上北山(カキタヤマ)	107.0	ミリ
高知県津野町船戸(フナト)	101.5	ミリ			

[主な最大風速]

静岡県南伊豆町石廊崎(イロウサキ)	11.6	メートル	東	[11:11]
北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	11.2	メートル	東北東	[01:33]
東京都三宅村三宅島(ミヤケジマ)	10.4	メートル	北北東	[02:22]

8月2日

[主な日降水量]

三重県大紀町藤坂峠(フジサカトウゲ)	145.0	ミリ
--------------------	-------	----

[主な最大風速]

沖縄県北大東村北大東(キタダイトウ)	14.7	メートル	北東	[21:54]
鹿児島県和泊町沖永良部(オキノエラフ)	10.9	メートル	北東	[23:53]
沖縄県金武町宮城島(ミヤキシマ)	10.9	メートル	北東	[13:49]
熊本県熊本市熊本(クマモト)	10.4	メートル	東	[14:08]

8月3日

[主な日降水量]

東京都練馬区練馬(ネリマ)	47.0	ミリ	長野県塩尻市木曾平沢(キツヒラサワ)	41.5	ミリ
茨城県龍ケ崎市龍ケ崎(リュウガサキ)	41.0	ミリ	岐阜県中津川市付知(ツケチ)	39.5	ミリ
宮崎県延岡市北方(キタカタ)	39.0	ミリ			

[主な最大風速]

沖縄県北大東村北大東(キタダイトウ)	24.1	メートル	東	[23:50]
--------------------	------	------	---	---------

8月4日

[主な日降水量]

沖縄県南大東村南大東(ナミダイトウ)	84.5	ミリ	東京都大島町大島(オオシマ)	50.5	ミリ
--------------------	------	----	----------------	------	----

[主な最大風速]

沖縄県南城市糸数(イトカス)	27.0	メートル	北東	[23:49]
沖縄県南大東村南大東(ナミダイトウ)	25.0	メートル	東	[03:02]
鹿児島県和泊町沖永良部(オキノエラブ)	20.4	メートル	東北東	[18:30]

8月5日

[主な日降水量]

沖縄県本部町本部(モトブ)	428.0	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	110.5	ミリ
宮崎県諸塚村諸塚(モロツカ)	106.0	ミリ			

[主な最大風速]

沖縄県金武町宮城島(ミヤギシマ)	32.2	メートル	東	[12:35]
鹿児島県与論町与論島(ヨロシマ)	27.6	メートル	東南東	[21:39]
沖縄県宮古島市下地(シモジ)	23.0	メートル	西北西	[23:12]

8月6日

[主な日降水量]

熊本県湯前町湯前横谷(ユノマエヨコタニ)	277.5	ミリ	沖縄県本部町本部(モトブ)	275.0	ミリ
宮崎県日之影町日之影(ヒノカゲ)	206.0	ミリ	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	106.0	ミリ

[主な最大風速]

沖縄県座間味村慶良間(ケラマ)	31.2	メートル	南	[04:43]
鹿児島県与論町与論島(ヨロシマ)	24.8	メートル	南東	[00:41]
沖縄県宮古島市下地(シモジ)	23.6	メートル	西南西	[04:31]

8月7日

[主な日降水量]

群馬県片品村片品(カタシナ)	95.5	ミリ			
----------------	------	----	--	--	--

[主な最大風速]

長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	17.0	メートル	東南東	[07:07]
沖縄県座間味村慶良間(ケラマ)	15.0	メートル	南	[04:15]

(11)8月14日～25日:全国(大雨、暴風、竜巻)＜前線、低気圧＞

14日から15日にかけて、前線を伴った低気圧が北海道を通過し、北海道の一部で大雨となった。また、高気圧の縁辺を回る湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となったため、九州の一部では大雨となった。16日から18日にかけて、前線が東北地方に南下したため、湿った空気が西日本から東北地方にかけて流れ込んだ。西日本から東日本の日本海側と、東北地方の一部で大雨となった。19日から25日にかけて、前線が西日本から東

日本に停滞し、西日本から東日本にかけての一部で大雨となった。また、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響を受けて、北海道の一部では21日を中心に大雨となった。

また、21日は、前線上の低気圧が中国地方を通過した。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、九州北部地方では大気の状態が非常に不安定となり、竜巻や突風が発生した。

これらの前線や低気圧の影響により、山口県などで死者・行方不明者4名となったほか、家屋損壊や浸水、土砂災害、交通障害、電力障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

8月14日

[主な日降水量]

鹿児島県さつま町紫尾山(シビサン)	150.5	ミリ	北海道積丹町美国(ビクニ)	122.5	ミリ
北海道浦臼町浦臼(ウラウス)	117.0	ミリ	熊本県上天草市松島(マツシマ)	115.5	ミリ
佐賀県佐賀市川副(カワソエ)	108.0	ミリ	長崎県諫早市諫早(イサハヤ)	106.5	ミリ
宮崎県えびの市えびの(エビノ)	104.5	ミリ			

[主な最大風速]

北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	14.8	メートル	南南西	[09:01]
高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	13.8	メートル	西南西	[10:27]
和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	13.4	メートル	南	[17:27]
北海道羽幌町焼尻(ヤギシリ)	12.4	メートル	南南西	[18:03]

8月15日

[主な日降水量]

熊本県山江村山江(ヤマエ)	291.0	ミリ	宮崎県えびの市加久藤(カクウ)	179.0	ミリ
長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	174.5	ミリ	鹿児島県伊佐市大口(オオクチ)	168.0	ミリ
山口県長門市油谷(ユヤ)	101.0	ミリ			

[主な最大風速]

鹿児島県西之表市種子島(タネガシマ)	15.6	メートル	西南西	[04:00]
--------------------	------	------	-----	---------

8月16日

[主な日降水量]

熊本県八代市八代(ヤツシロ)	112.5	ミリ		
----------------	-------	----	--	--

[主な最大風速]

高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	15.0	メートル	西	[20:30]
------------------	------	------	---	---------

8月17日

[主な日降水量]

秋田県北秋田市鷹巣(タカノ)	164.0	ミリ	石川県白山市白山白峰(ハクサンシラミネ)	107.0	ミリ
山形県酒田市上草津(カキサツ)	104.5	ミリ			

[主な最大風速]

山形県酒田市飛島(トビシマ)	20.7	メートル	西南西	[17:53]
----------------	------	------	-----	---------

8月18日

[主な日降水量]

山形県酒田市浜中(ハマナカ)	280.5	ミリ	秋田県由利本荘市笹子(ジネゴ)	137.5	ミリ
奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	120.0	ミリ	宮崎県えびの市えびの(エビノ)	103.0	ミリ

[主な最大風速]

高知県室戸市室戸岬(ムロトサキ)	16.0	メートル	西南西	[17:27]
新潟県佐渡市両津(リョウツ)	15.1	メートル	西南西	[10:03]

8月19日

[主な日降水量]

埼玉県さいたま市桜区さいたま(サイタマ)	122.5	ミリ	福井県福井市越廼(コシノ)	114.0	ミリ
----------------------	-------	----	---------------	-------	----

[主な最大風速]

東京都大田区羽田(ハネダ)	14.4	メートル	北東	[11:09]
千葉県銚子市銚子(チヨウシ)	14.1	メートル	北北東	[10:03]

8月20日

[主な日降水量]

熊本県南阿蘇村阿蘇山(アソサン)	164.5	ミリ		
------------------	-------	----	--	--

[主な最大風速]

東京都小笠原村南鳥島(ミナトリシマ)	12.5	メートル	東南東	[00:16]
北海道羽幌町焼尻(ヤギシリ)	11.8	メートル	南東	[08:25]
北海道江差町江差(エサシ)	10.7	メートル	北北西	[13:05]

8月21日

[主な日降水量]

北海道白老町森野(モリノ)	380.0	ミリ	熊本県南阿蘇村阿蘇山(アソサン)	140.5	ミリ
三重県四日市市四日市(ヨッカイチ)	126.5	ミリ	山口県岩国市広瀬(ヒロセ)	120.0	ミリ
広島県大竹市大竹(オオタケ)	108.0	ミリ			

[主な最大風速]

長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	16.6	メートル	西南西	[08:09]
-------------------	------	------	-----	---------

8月22日

[主な日降水量]

静岡県御殿場市御殿場(ゴテンハ)	151.5	ミリ		
------------------	-------	----	--	--

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	15.4	メートル	北東	[23:09]
--------------------	------	------	----	---------

8月23日

[主な日降水量]

長崎県平戸市平戸(ヒラト)	365.5	ミリ	岐阜県下呂市萩原(ハキワラ)	256.0	ミリ
山口県美祢市秋吉台(アキヨシダイ)	160.5	ミリ	佐賀県佐賀市佐賀(サガ)	154.0	ミリ
福岡県福岡市早良区早良脇山(サワラワキヤマ)	124.0	ミリ	京都府福知山市三和(ミワ)	109.5	ミリ

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	17.0	メートル	北東	[02:57]
--------------------	------	------	----	---------

8月24日

[主な日降水量]

静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	99.5	ミリ	岐阜県高山市高山(タカヤマ)	79.5	ミリ
秋田県秋田市雄和(ユウワ)	73.0	ミリ			

[主な最大風速]

愛媛県伊方町瀬戸(セト)	13.8	メートル	南南東	[03:16]
北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	13.5	メートル	北東	[00:02]

8月25日

[主な日降水量]

静岡県静岡市葵区梅ヶ島(ウメガシマ)	196.0	ミリ	和歌山県白浜町日置川(ヒキガワ)	174.5	ミリ
兵庫県香美町兔野高原(ウツノウケン)	161.0	ミリ	山梨県南部町南部(ナンブ)	126.0	ミリ
愛知県豊根村茶臼山(チャウスヤマ)	119.5	ミリ	岐阜県本巣市樽見(タルミ)	104.5	ミリ
三重県御浜町御浜(ミハマ)	103.5	ミリ			

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	15.0	メートル	北東	[16:47]
東京都小笠原村南鳥島(ミナトリシマ)	14.2	メートル	東南東	[12:56]

(12)8月30日～9月5日:西日本から北日本(暴風、大雨、高波)＜台風第12号＞

8月25日9時にマリアナ諸島の西の海上で発生した大型の台風第12号は、発達しながらゆっくりとした速さで北上し、29日21時には中心気圧が970ヘクトパスカル、最大風速が25メートルとなった。台風は、30日に小笠原諸島付近で進路を北西に変え、9月2日には勢力を保ったまま四国地方に接近、3日10時頃に高知県東部に上陸した。その後も、台風はゆっくりと北上を続け、四国地方、中国地方を縦断し、4日未明に日本海に進んだ。このため、西日本から北日本にかけての一部で大雨となり、西日本の一部で暴風となったほか、西日本太平洋側で大しけとなった。

この台風の影響により、和歌山県で死者52名、行方不明者5名となったのをはじめ、全国で死者78名、行方不明者16名となった。また、北海道から四国にかけての広い範囲で床上・床下浸水などの住家被害、田畑の冠水などの農林水産業への被害、鉄道の運休などの交通障害が発生した。また、和歌山県や奈良県では豪雨に伴う山崩れにより河道閉塞(天然ダム)が生じた。(被害の状況は平成23年12月28日内閣府まとめによる)

8月30日

[主な日降水量]

東京都小笠原村母島(ハハジマ)	105.5	ミリ
-----------------	-------	----

[主な最大風速]

東京都小笠原村父島(チチジマ)	14.3	メートル	南東	[18:10]
沖縄県竹富町志多阿原(シタアバル)	13.7	メートル	南南西	[11:50]

8月31日

[主な日降水量]

埼玉県寄居町寄居(ヨリイ)	150.5	ミリ
---------------	-------	----

[主な最大風速]

東京都小笠原村南鳥島(ミナトリシマ)	13.2	メートル	南東	[10:28]
--------------------	------	------	----	---------

9月1日

[主な日降水量]

埼玉県秩父市浦山(ウラヤマ)	331.0	ミリ	群馬県伊勢崎市伊勢崎(イセサキ)	258.5	ミリ
奈良県上北山村上北山(カキタヤマ)	231.0	ミリ	山梨県山中湖村山中(ヤマナカ)	194.0	ミリ
東京都檜原村小沢(オザワ)	147.0	ミリ			

[主な最大風速]

高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	15.7	メートル	東北東	[22:59]
------------------	------	------	-----	---------

9月2日

[主な日降水量]

高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	611.5	ミリ	奈良県上北山村上北山(カミキタヤマ)	582.0	ミリ
徳島県上勝町福原旭(フクハラアサヒ)	532.5	ミリ	和歌山県田辺市本宮(ホングウ)	451.5	ミリ
香川県高松市香南(コナン)	391.5	ミリ	鳥取県大山町大山(ダイセン)	341.0	ミリ
愛媛県四国中央市富郷(トミサト)	263.0	ミリ	栃木県日光市奥日光(オクニッコウ)	240.0	ミリ
山梨県山中湖村山中(ヤマナカ)	239.0	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	234.0	ミリ
静岡県川根町川根本町(カワネホンチョウ)	206.5	ミリ	広島県庄原市道後山(ドウゴヤマ)	184.5	ミリ
北海道石狩市浜益(ハママス)	182.0	ミリ	北海道積丹町美国(ヒクニ)	177.0	ミリ
北海道遠軽町白滝(シラタキ)	176.0	ミリ	北海道留萌市幌糠(ホロスカ)	171.5	ミリ
北海道上富良野町上富良野(カミフラノ)	170.0	ミリ	島根県安来市伯太(ハクタ)	163.5	ミリ
長野県飯田市南信濃(ミナシナノ)	150.0	ミリ	北海道新十津川町空知吉野(ソラチヨシノ)	148.5	ミリ
岡山県真庭市上長田(カミナガタ)	137.0	ミリ	群馬県中之条町中之条(ナカノジョウ)	132.5	ミリ
神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	124.5	ミリ	岩手県大槌町大槌(オオツチ)	122.0	ミリ
埼玉県秩父市三峰(ミツミネ)	115.5	ミリ	北海道せたな町せたな(セタナ)	114.0	ミリ
宮城県栗原市駒ノ湯(コマノユ)	100.5	ミリ			

[主な最大風速]

徳島県美波町日和佐(ヒワサ)	24.3	メートル	東	[22:37]
三重県津市津(ツ)	23.7	メートル	東南東	[16:58]
高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	23.1	メートル	東北東	[16:47]
和歌山県白浜町南紀白浜(ナンキシラハマ)	22.6	メートル	南東	[23:47]
東京都神津島村神津島(コヅシマ)	20.9	メートル	南東	[14:50]

9月3日

[主な日降水量]

奈良県上北山村上北山(カミキタヤマ)	661.0	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	635.0	ミリ
和歌山県古座川町西川(ニシカワ)	626.0	ミリ	鳥取県大山町大山(ダイセン)	524.0	ミリ
静岡県静岡市葵区井川(イカワ)	504.0	ミリ	徳島県上勝町福原旭(フクハラアサヒ)	346.0	ミリ
兵庫県淡路市郡家(クング)	332.5	ミリ	神奈川県山北町丹沢湖(タンザワコ)	309.0	ミリ
岡山県鏡野町恩原(オンハラ)	266.0	ミリ	群馬県高崎市榛名山(ハルナサン)	253.5	ミリ
島根県安来市伯太(ハクタ)	241.0	ミリ	滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ)	237.0	ミリ
栃木県日光市奥日光(オクニッコウ)	228.0	ミリ	香川県小豆島町内海(ウチノミ)	226.5	ミリ
高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	221.5	ミリ	山梨県大月市大月(オオツキ)	211.5	ミリ
広島県庄原市道後山(ドウゴヤマ)	191.0	ミリ	埼玉県秩父市三峰(ミツミネ)	180.5	ミリ
愛媛県西条市成就社(シヨウジュシヤ)	171.0	ミリ	愛知県豊田市阿蔵(アゾウ)	153.5	ミリ
佐賀県佐賀市北山(ホクサン)	150.0	ミリ	東京都奥多摩町小河内(オコウチ)	141.0	ミリ
大阪府熊取町熊取(クマトリ)	116.0	ミリ			

[主な最大風速]

和歌山県白浜町南紀白浜(ナンキシラハマ)	23.0	メートル	南東	[06:30]
徳島県阿南市蒲生田(カモウタ)	22.7	メートル	東南東	[00:45]
高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	22.7	メートル	東南東	[02:16]
三重県津市津(ツ)	21.8	メートル	南東	[03:13]

島根県出雲市斐川(ヒカワ)	20.9	メートル	東北東	[03:15]
愛知県常滑市セントレア(セントレア)	20.6	メートル	南東	[04:33]

9月4日

[主な日降水量]

三重県大台町宮川(ミヤカワ)	630.0	ミリ	和歌山県新宮市新宮(シングウ)	418.5	ミリ
奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	304.0	ミリ	静岡県静岡市葵区井川(イカワ)	281.0	ミリ
栃木県日光市奥日光(オクニッコウ)	240.5	ミリ	岐阜県本巣市樽見(タルミ)	213.0	ミリ
神奈川県山北町丹沢湖(タンザワコ)	190.0	ミリ	滋賀県高島市今津(イマヅ)	164.0	ミリ
群馬県高崎市榛名山(ハルナサン)	144.0	ミリ	愛知県愛西市愛西(アイサイ)	124.0	ミリ
長野県飯田市南信濃(ナシシナノ)	106.0	ミリ	山梨県山中湖村山中(ヤマナカ)	104.0	ミリ
兵庫県明石市明石(アカシ)	103.5	ミリ			

[主な最大風速]

愛知県常滑市セントレア(セントレア)	18.1	メートル	南東	[10:27]
東京都小笠原村南鳥島(ナミトリシマ)	17.7	メートル	南	[07:53]
福井県敦賀市敦賀(ツルガ)	17.5	メートル	南南東	[09:45]
島根県隠岐の島町西郷岬(サイゴウサキ)	17.5	メートル	北東	[00:36]
兵庫県明石市明石(アカシ)	16.2	メートル	南東	[00:31]
高知県室戸市室戸岬(ムロトサキ)	15.6	メートル	西	[03:08]

9月5日

[主な日降水量]

北海道土士幌町ぬかびら源泉郷(ヌカビラケンセンキョウ)	188.0	ミリ	北海道伊達市大滝(オオタキ)	144.5	ミリ
北海道札幌市南区小金湯(コガネユ)	110.0	ミリ			

[主な最大風速]

北海道稚内市宗谷岬(ソウヤサキ)	15.6	メートル	東南東	[21:55]
北海道苫小牧市苫小牧(トマコマイ)	15.0	メートル	東南東	[17:24]

(13)9月15日～9月22日:東日本(暴風、大雨、竜巻、高波)＜台風第15号＞

9月13日15時に沖ノ鳥島の北東海上で発生した台風第15号は、進路を西北西に変えた後、南大東島付近で反時計回りに円を描くように進んだ後北東へ進み、21日14時ごろに静岡県浜松市付近に上陸し、その後も北東へ進み、22日15時に千島列島付近で温帯低気圧に変わった。このため、西日本から北日本にかけての一部で大雨や暴風となった。また、東海地方付近では、有義波高が9メートルを超える猛烈なしけとなった。また、台風から流れ込む湿った空気により大気が不安定となって、21日には埼玉県で竜巻が発生した。

この台風により、愛知県で死者18名、行方不明者1名となり、沖縄地方から北海道地方の広い範囲で住家損壊、土砂災害、浸水害等が発生した。農林水産業被害や停電被害、鉄道の運休、航空機・フェリーの欠航等による交通障害が発生した。(被害の状況は平成23年12月28日内閣府まとめによる)

9月15日

[主な日降水量]

沖縄県南大東村南大東(ナミダ'イトウ)	84.0	ミリ	宮城県諸塚村諸塚(モロツカ)	62.0	ミリ
---------------------	------	----	----------------	------	----

[主な最大風速]

沖縄県北大東村北大東(キタダイトウ)	16.0	メートル	北東	[12:10]
東京都小笠原村南鳥島(ミナトリシマ)	15.5	メートル	東北東	[23:57]

9月16日

[主な日降水量]

高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	339.5	ミリ	徳島県那賀町木頭(キトウ)	292.0	ミリ
宮崎県美郷町神門(ミカト)	266.0	ミリ	香川県小豆島町内海(ウチノ)	193.5	ミリ
三重県大台町宮川(ミヤガワ)	173.0	ミリ	愛媛県西条市成就社(ジヨウジュシヤ)	168.5	ミリ
大分県佐伯市蒲江(カマエ)	152.0	ミリ	岡山県玉野市玉野(タマノ)	127.5	ミリ
熊本県湯前町湯前横谷(ユノマエヨコタニ)	106.0	ミリ			

[主な最大風速]

東京都小笠原村南鳥島(ミナトリシマ)	19.7	メートル	東北東	[04:30]
鹿児島県奄美市笠利(カサリ)	16.2	メートル	東北東	[05:36]
高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	15.6	メートル	南東	[23:34]

9月17日

[主な日降水量]

岐阜県本巣市樽見(タルミ)	211.0	ミリ	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	201.5	ミリ
徳島県那賀町木頭(キトウ)	192.0	ミリ	福井県大野市九頭竜(クスリユウ)	160.5	ミリ
静岡県静岡市葵区梅ヶ島(ウメガシマ)	151.5	ミリ	宮崎県日南市深瀬(フカセ)	150.0	ミリ
奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	146.0	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	139.5	ミリ
愛媛県四国中央市富郷(トミサト)	133.0	ミリ	大分県佐伯市宇目(ウメ)	133.0	ミリ
愛知県豊根村茶臼山(チャウスヤマ)	101.0	ミリ	兵庫県福崎町福崎(フクサキ)	100.0	ミリ

[主な最大風速]

和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	16.4	メートル	南南東	[14:38]
高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	15.9	メートル	南南東	[11:46]

9月18日

[主な日降水量]

沖縄県南大東村旧東(キョウトウ)	260.5	ミリ	宮崎県美郷町神門(ミカト)	151.5	ミリ
青森県青森市酸ヶ湯(スカユ)	115.0	ミリ	秋田県秋田市仁別(ニヘツ)	111.5	ミリ
高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	102.0	ミリ			

[主な最大風速]

沖縄県南大東村南大東(ミナダイトウ)	29.4	メートル	南東	[10:46]
--------------------	------	------	----	---------

9月19日

[主な日降水量]

鹿児島県肝付町肝付前田(キモツキマエダ)	154.5	ミリ	宮崎県美郷町神門(ミカト)	152.0	ミリ
高知県四万十市中村(ナカムラ)	130.5	ミリ	富山県富山市八尾(ヤツオ)	105.0	ミリ
沖縄県北大東村北大東(キタダイトウ)	101.0	ミリ	山口県長門市油谷(ユヤ)	100.0	ミリ

[主な最大風速]

鹿児島県喜界町喜界島(キカイジマ)	24.7	メートル	北北東	[21:12]
-------------------	------	------	-----	---------

9月20日

[主な日降水量]

徳島県徳島市徳島(トクシマ)	429.5	ミリ	大分県佐伯市宇目(ウメ)	421.0	ミリ
----------------	-------	----	--------------	-------	----

岐阜県多治見市多治見(タジミ)	383.5	ミリ	高知県仁淀川町鳥形山(トリガタヤマ)	371.0	ミリ
宮崎県美郷町神門(ミカト)	363.0	ミリ	兵庫県淡路市郡家(クンゲ)	356.0	ミリ
長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	328.0	ミリ	香川県東かがわ市引田(ヒケタ)	306.0	ミリ
熊本県湯前町湯前横谷(ユノマエヨコタニ)	298.0	ミリ	愛媛県内子町獅子越峠(シシコエトウゲ)	276.5	ミリ
鹿児島県霧島市霧島牧園(キリシママキノ)	230.5	ミリ	山梨県甲府市古閑(フルセキ)	222.0	ミリ
愛知県豊根村茶臼山(チャウスヤマ)	171.5	ミリ	静岡県葵区梅ヶ島(ウメガシマ)	158.0	ミリ
石川県輪島市輪島(ワジマ)	157.0	ミリ	奈良県上北山村上北山(カキタヤマ)	150.0	ミリ
京都府福知山市三和(ミワ)	147.5	ミリ	三重県四日市市四日市(ヨッカイチ)	132.0	ミリ
山口県長門市油谷(ユヤ)	131.5	ミリ	鳥取県智頭町智頭(チズ)	122.0	ミリ
福島県福島市福島(フクシマ)	114.0	ミリ	山形県飯豊町中津川(ナカツガワ)	107.5	ミリ
富山県黒部市宇奈月(ウナツキ)	106.0	ミリ	宮城県蔵王町蔵王(サオウ)	102.0	ミリ
岡山県瀬戸内市虫明(ムシアゲ)	100.0	ミリ			

[主な最大風速]

長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	19.5	メートル	北東	[21:36]
鹿児島県喜界町喜界島(キカイジマ)	19.4	メートル	北	[00:54]
高知県室戸市室戸岬(ムロトミサキ)	16.3	メートル	東	[19:50]
沖縄県金武町宮城島(ミヤギシマ)	16.0	メートル	北西	[11:25]
東京都神津島村神津島(コツジシマ)	15.5	メートル	南	[23:21]
鳥取県鳥取市湖山(コヤマ)	15.2	メートル	北東	[13:18]

9月21日

[主な日降水量]

宮城県石巻市雄勝(オカツ)	430.5	ミリ	静岡県静岡市葵区井川(イカワ)	415.0	ミリ
山梨県山中湖村山中(ヤマナカ)	388.0	ミリ	三重県大台町宮川(ミヤガワ)	325.0	ミリ
鳥取県鳥取市鹿野(シカノ)	310.0	ミリ	奈良県上北山村上北山(カキタヤマ)	302.5	ミリ
栃木県日光市奥日光(オクニッコウ)	282.0	ミリ	神奈川県山北町丹沢湖(タンザワコ)	276.0	ミリ
茨城県北茨城市花園(ハナゾノ)	264.5	ミリ	愛知県豊田市阿蔵(アゾウ)	246.5	ミリ
和歌山県那智勝浦町色川(イロカワ)	236.5	ミリ	福島県白河市白河(シラカワ)	227.0	ミリ
岩手県釜石市釜石(カマイシ)	208.5	ミリ	東京都八王子市八王子(ハチオウジ)	200.0	ミリ
香川県東かがわ市引田(ヒケタ)	193.0	ミリ	京都府宮津市宮津(ミヤヅ)	178.5	ミリ
兵庫県豊岡市豊岡(トヨオカ)	178.5	ミリ	埼玉県秩父市三峰(ミツミネ)	163.5	ミリ
新潟県粟島浦村粟島(アワシマ)	160.5	ミリ	滋賀県高島市朽木平良(クツキヘラ)	157.5	ミリ
長野県飯田市南信濃(ナシシナノ)	157.0	ミリ	福井県おおい町大飯(オオイ)	154.0	ミリ
岐阜県関ヶ原町関ヶ原(セキガハラ)	146.0	ミリ	石川県七尾市七尾(ナナオ)	134.0	ミリ
群馬県館林市館林(タテバヤシ)	131.5	ミリ	富山県南砺市南砺高宮(ナントカミヤ)	131.0	ミリ
徳島県美馬市穴吹(アナフキ)	130.5	ミリ	山形県西川町大井沢(オオイサワ)	129.5	ミリ
千葉県佐倉市佐倉(サクラ)	129.0	ミリ	秋田県由利本荘市矢島(ヤシマ)	122.5	ミリ
高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	116.0	ミリ	岡山県真庭市上長田(カミナガタ)	115.0	ミリ
青森県新郷村戸来(ヘライ)	105.0	ミリ			

[主な最大風速]

東京都神津島村神津島(コツジシマ)	31.1	メートル	南	[14:07]
静岡県御前崎市御前崎(オマエザキ)	29.7	メートル	南	[14:34]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	26.5	メートル	北東	[24:00]
神奈川県藤沢市辻堂(ツジドウ)	25.8	メートル	南南西	[17:34]
愛知県常滑市セントレア(セントレア)	25.0	メートル	北北西	[13:38]
千葉県勝浦市勝浦(カツウラ)	21.7	メートル	南	[17:32]
茨城県下妻市下妻(シモツマ)	20.3	メートル	南南東	[18:44]
三重県津市津(ツ)	20.1	メートル	東南東	[10:15]
福島県いわき市小名浜(オナハマ)	20.0	メートル	南南東	[19:53]

9月22日

[主な日降水量]

新潟県糸魚川市糸魚川(イトイガリ)	130.5	ミリ	富山県朝日町泊(トマリ)	113.5	ミリ
-------------------	-------	----	--------------	-------	----

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ)	35.4	メートル	北北東	[04:40]
北海道根室市納沙布(ノサップ)	26.2	メートル	東北東	[06:05]

(14)9月25日～9月27日:鹿児島県(大雨)<前線>

25日から27日にかけて、奄美大島付近から日本の東海上に前線が停滞し、南西諸島の一部で大雨となった。

このため、鹿児島県で死者・行方不明者1名となったほか、家屋損壊や浸水、土砂災害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

9月25日

[主な日降水量]

鹿児島県奄美市名瀬(ナゼ)	230.0	ミリ
---------------	-------	----

9月26日

[主な日降水量]

鹿児島県奄美市笠利(カサリ)	297.5	ミリ
----------------	-------	----

9月27日

[主な日降水量]

鹿児島県南種子町上中(カミナカ)	29.5	ミリ
------------------	------	----

(15)11月18日～11月20日:鹿児島県(大雨、暴風、竜巻)<低気圧、冬型>

東シナ海と朝鮮半島付近の低気圧がそれぞれ前線を伴って東に進み、日本付近を通過した後、冬型の気圧配置になった。このため、西日本から北日本にかけての一部で大雨や暴風となった。

また、18日は、前線が九州の西海上にのびており、前線の南側にあたる奄美地方は、南から湿った空気が流入し、大気の状態が不安定となり、鹿児島県徳之島町で竜巻が発生した。

低気圧や冬型の影響により、鹿児島県で死者・行方不明者が3名となったほか、家屋損壊、浸水、土砂災害、電力障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

11月18日

[主な日降水量]

長崎県五島市上大津(カミオヅ)	311.0	ミリ	高知県土佐清水市清水(シミス)	145.0	ミリ
大分県日田市椿ヶ鼻(ツバキガハナ)	117.0	ミリ	佐賀県嬉野市嬉野(ウレシノ)	112.5	ミリ

[主な最大風速]

和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	19.9	メートル	南	[20:46]
沖縄県久米島町北原(キタハラ)	17.4	メートル	南	[13:38]
長崎県雲仙市雲仙岳(ウンゼンダケ)	16.2	メートル	東南東	[11:48]
北海道稚内市宗谷岬(ソウヤミサキ)	15.7	メートル	西	[17:13]
北海道羽幌町焼尻(ヤギシリ)	15.6	メートル	西南西	[11:42]

11月19日

[主な日降水量]

静岡県伊豆市天城山(アマギサン)	343.0	ミリ	和歌山県古座川町西川(ニシカワ)	305.0	ミリ
高知県馬路村魚梁瀬(ヤナセ)	249.5	ミリ	鹿児島県屋久島町屋久島(ヤクシマ)	244.0	ミリ
神奈川県箱根町箱根(ハコネ)	240.5	ミリ	宮崎県えびの市えびの(エビノ)	207.0	ミリ
長野県王滝村御嶽山(オンタケサン)	161.0	ミリ	愛知県豊根村茶臼山(チャウスヤマ)	151.5	ミリ
三重県熊野市熊野新鹿(クマノアタシカ)	145.0	ミリ	奈良県十津川村玉置山(タマキヤマ)	144.5	ミリ
千葉県大多喜町大多喜(オオタキ)	133.0	ミリ	山梨県南部町南部(ナンブ)	117.5	ミリ
青森県深浦町深浦(フカウラ)	108.5	ミリ	秋田県八峰町八森(ハチモリ)	106.0	ミリ
岐阜県郡上市八幡(ハチマン)	102.0	ミリ	徳島県海陽町海陽(カイヨウ)	101.5	ミリ

[主な最大風速]

和歌山県和歌山市友ヶ島(トモガシマ)	27.3	メートル	南南東	[11:56]
高知県室戸市室戸岬(ムロミサキ)	26.6	メートル	西南西	[13:03]
東京都三宅村三宅坪田(ミヤケツボタ)	26.1	メートル	南南西	[22:33]
愛媛県伊方町瀬戸(セト)	21.3	メートル	南	[08:24]
静岡県南伊豆町石廊崎(イロウサキ)	20.9	メートル	南南西	[21:15]

11月20日

[主な日降水量]

新潟県糸魚川市能生(ノウ)	116.0	ミリ	富山県黒部市宇奈月(ウナヅキ)	101.0	ミリ
---------------	-------	----	-----------------	-------	----

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	22.6	メートル	西	[21:03]
山形県酒田市飛島(トビシマ)	20.2	メートル	西北西	[13:04]

11月21日

[主な日降水量]

新潟県上越市川谷(カワダニ)	94.0	ミリ	山形県大蔵村肘折(ヒジオリ)	58.0	ミリ
富山県朝日町泊(トマリ)	50.5	ミリ			

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモミサキ)	27.5	メートル	西	[07:14]
北海道奥尻町奥尻(オケシリ)	21.0	メートル	西	[04:29]
山形県酒田市飛島(トビシマ)	21.0	メートル	西北西	[17:35]
北海道釧路市釧路(クシロ)	20.6	メートル	西南西	[13:47]
北海道室蘭市室蘭(ムロラン)	20.0	メートル	西	[04:26]

11月22日

[主な日降水量]

石川県志賀町志賀(シカ) 38.0 ミリ 北海道浦臼町浦臼(ウラウス) 34.5 ミリ

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ) 24.1 メートル 西 [17:46]

(16)12月3日～12月4日:西日本から北日本(大雨、暴風)＜低気圧、冬型＞

四国沖の前線を伴った低気圧が発達しながら北東に進み、4日には北海道の東海上に達し、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。このため、関東地方および伊豆諸島の一部で大雨となり、北日本では暴風となったところがあった。

このため、宮崎県などで死者・行方不明者が2名となったほか、浸水、土砂災害、交通障害、電力障害が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

12月3日

[主な日降水量]

東京都神津島村神津島(コヅシマ) 119.0 ミリ 千葉県館山市館山(タテヤマ) 109.0 ミリ

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ) 23.1 メートル 北東 [23:30]

高知県室戸市室戸岬(ムロトサキ) 20.4 メートル 西 [11:45]

12月4日

[主な日降水量]

山形県小国町小国(オグニ) 66.5 ミリ 新潟県魚沼市大湯(オオユ) 53.5 ミリ

[主な最大風速]

北海道えりも町えりも岬(エリモサキ) 27.1 メートル 西 [17:34]

山形県酒田市飛島(トビシマ) 23.1 メートル 西 [03:28]

青森県青森市青森(アオモリ) 20.1 メートル 南西 [05:55]

北海道根室市納沙布(ノサップ) 20.0 メートル 東北東 [04:54]

(17)12月22日～12月26日:西日本から北日本(大雪)＜冬型＞

日本海中部の低気圧が急速に発達しながら北東に進んだ後、上空に強い寒気が流れ込み、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。このため、北陸から東北地方にかけての日本海側で大雪となった。

この大雪により、北海道などで死者・行方不明者が9名となったほか、浸水、土砂災害、交通障害、電力障害等が発生した。(被害の状況は気象庁調べ)

12月22日

[主な日降雪量]

北海道帯広市帯広泉(オビヒロイズミ) 48 センチ 北海道えりも町目黒(メグロ) 40 センチ

12月23日

[主な日降雪量]

北海道幌加内町朱鞠内(シュマリナイ) 43 センチ 新潟県妙高市関山(セキヤマ) 36 センチ

岩手県西和賀町湯田(ユダ)	34 センチ	北海道喜茂別町喜茂別(キモベツ)	31 センチ
秋田県北秋田市阿仁合(アニアイ)	30 センチ		
12月24日			
[主な日降雪量]			
長野県野沢温泉村野沢温泉(ノサワオンセン)	55 センチ		
12月25日			
[主な日降雪量]			
新潟県津南町津南(ツナン)	67 センチ	福島県只見町只見(タダミ)	59 センチ
群馬県みなかみ町藤原(フジワラ)	54 センチ	滋賀県長浜市柳ヶ瀬(ヤナガセ)	51 センチ
長野県野沢温泉村野沢温泉(ノサワオンセン)	50 センチ	富山県富山市猪谷(イノタニ)	50 センチ
12月26日			
[主な日降雪量]			
岐阜県飛騨市河合(カワイ)	53 センチ	福島県檜枝岐村檜枝岐(ヒノエマタ)	50 センチ

■平成23年に発生した主な竜巻等の突風

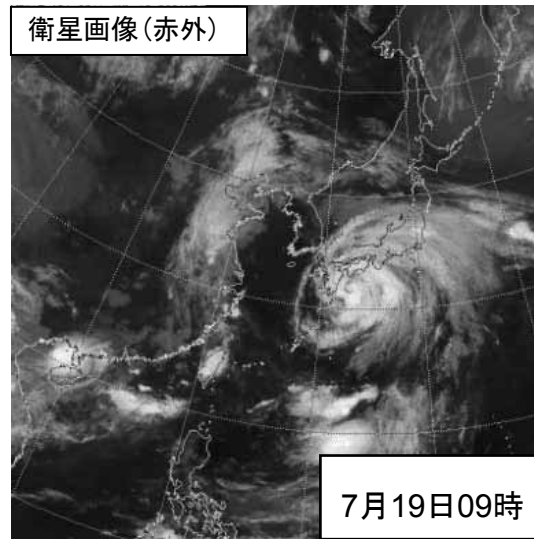
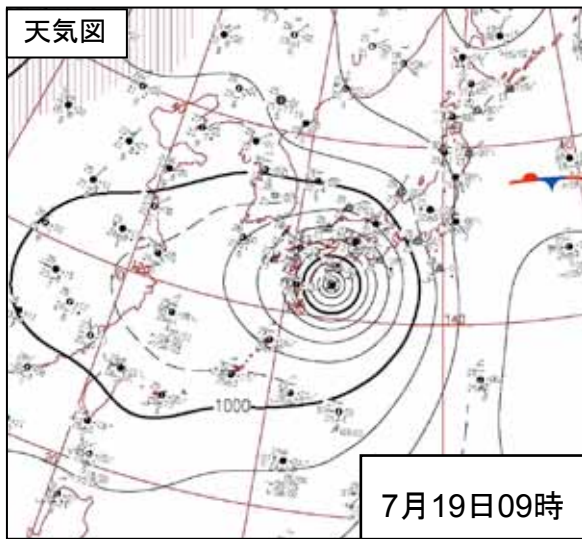
発生日時	現象区別	発生場所	主な被害状況	藤田スケール	気象状況
7月5日 9時20分頃	ガストフロント	新潟県 燕市	負傷者10名	F0	寒気の移流
8月6日 14時11分頃	その他 (不明を含む)	栃木県 大田原市	負傷者1名	F0	雷雨(熱雷)
8月21日 6時10分頃	竜巻	福岡県 久留米市	負傷者1名	F0	低気圧
8月21日 6時41分頃	竜巻	福岡県 福岡市	負傷者1名	F1	低気圧
8月21日 7時10分頃	その他 (不明を含む)	山口県 下関市	住家半壊1棟	F0	低気圧
9月21日 12時30分頃	竜巻	埼玉県 さいたま市	負傷者2名	F0	台風
11月18日 19時10分頃	竜巻	鹿児島県 大島郡徳之島町	死者3名、住家全壊1棟	F2	暖気の移流

※被害(死者、負傷者、住家全壊、住家半壊)が発生したもの

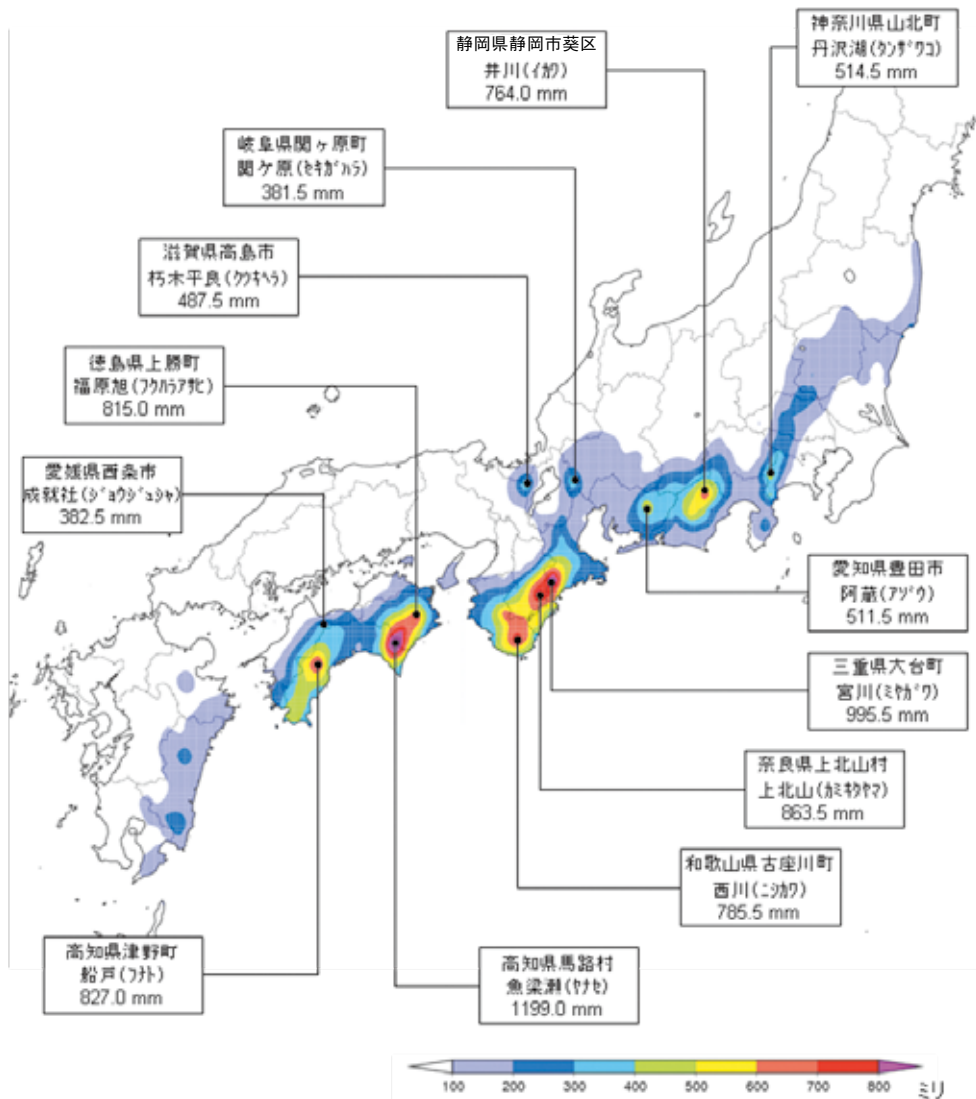
詳しくは、気象庁ホームページに「竜巻等の突風データベース」を掲載していますのでご参照ください。
(<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/tornado/index.html>)

災害番号（8）

天気図等

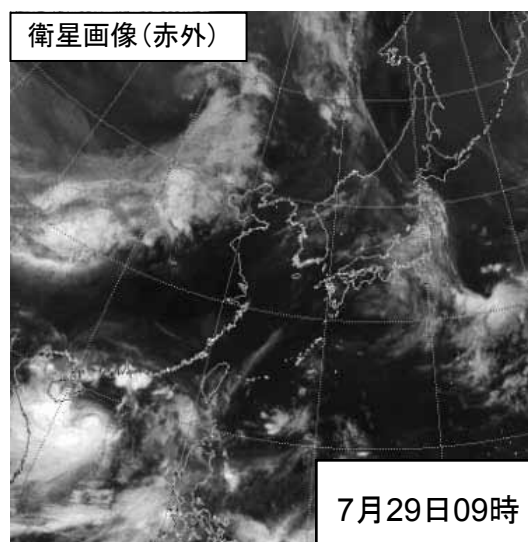
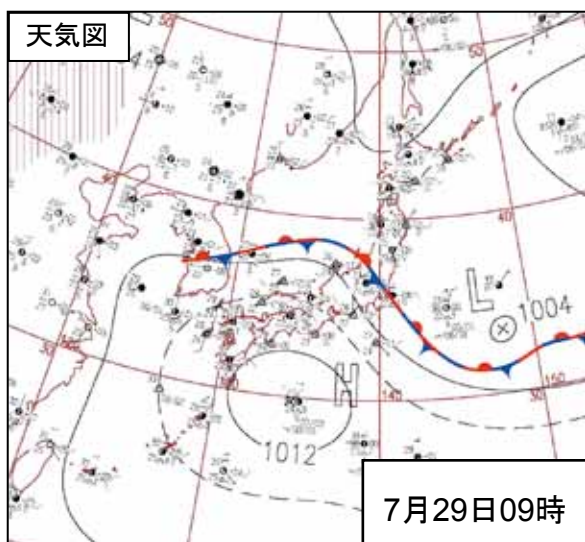


総降水量分布図 [期間：7月17日～7月21日]

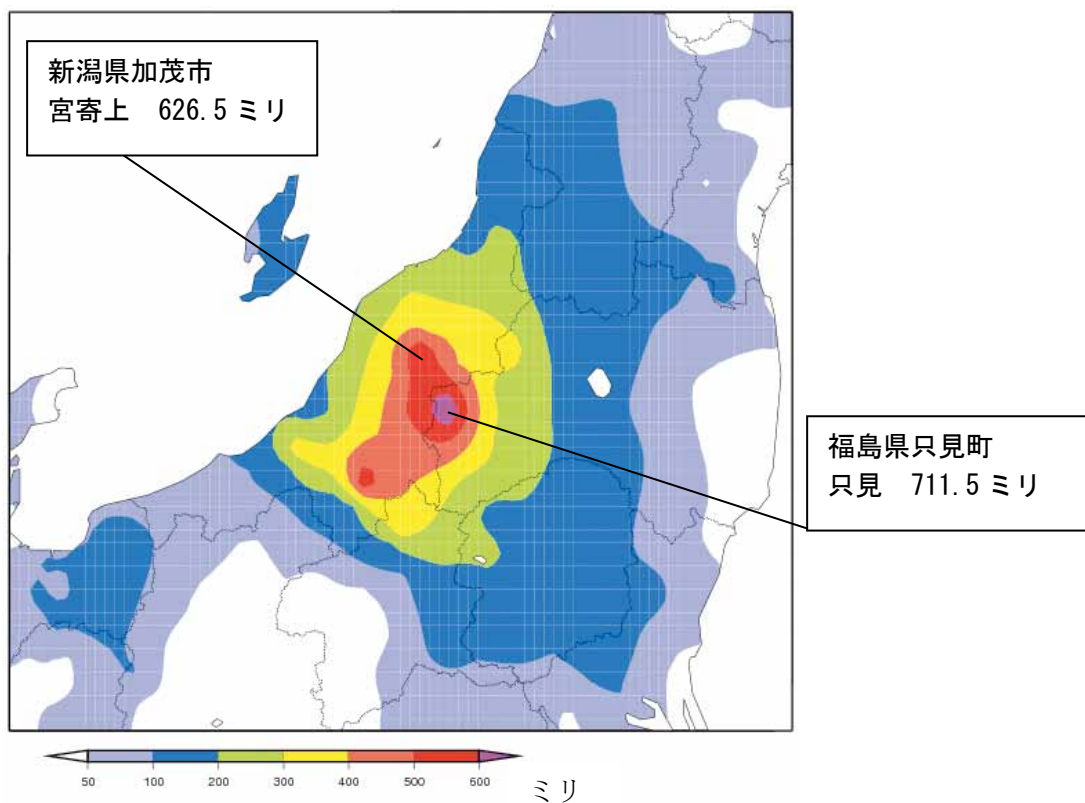


災害番号（9）

天気図等

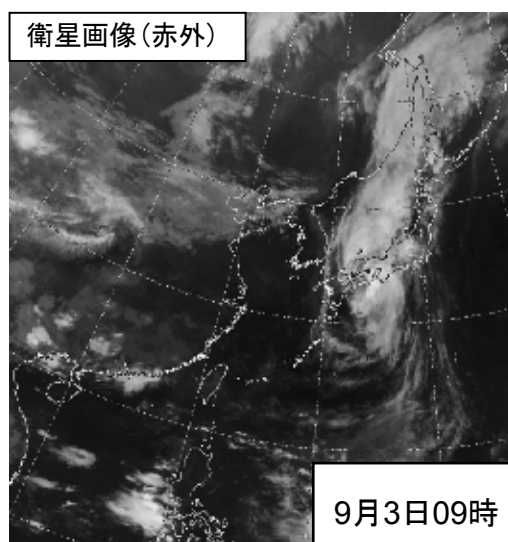
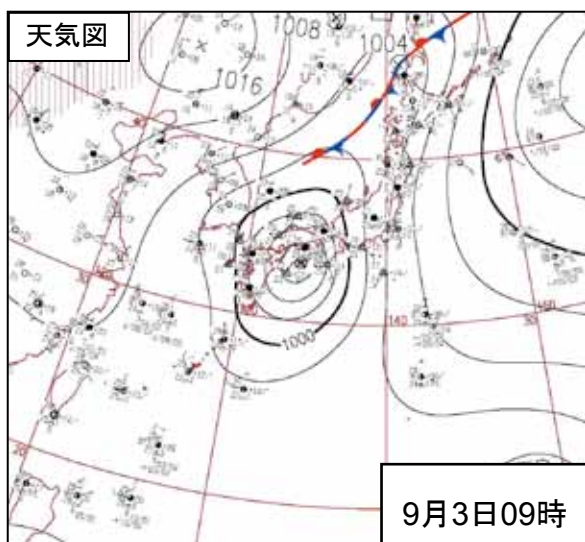


総降水量分布図 [期間：7月27日～7月30日]

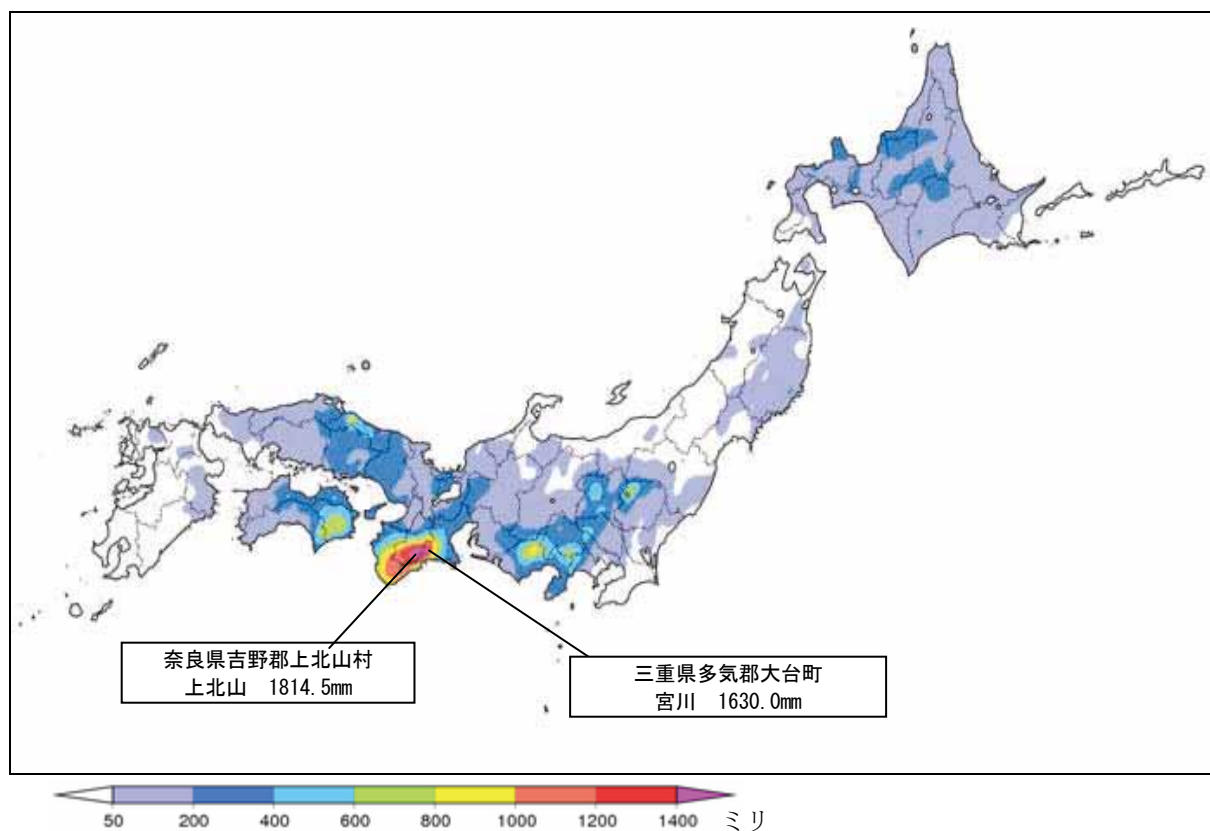


災害番号（12）

天気図等

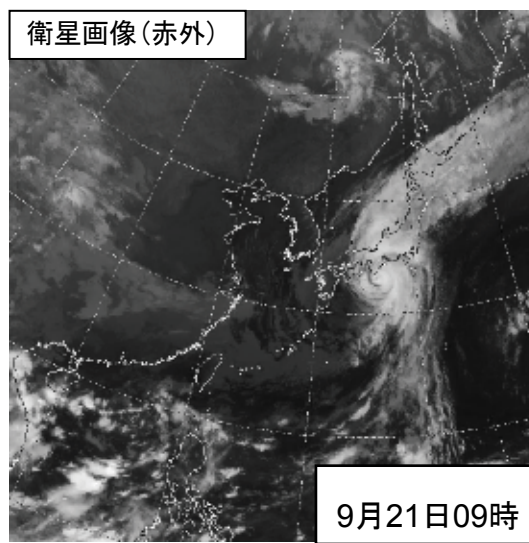
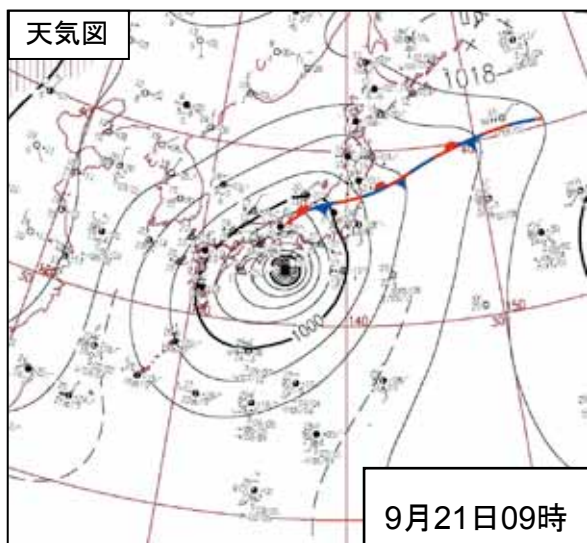


総降水量分布図 [期間：8月30日～9月5日]

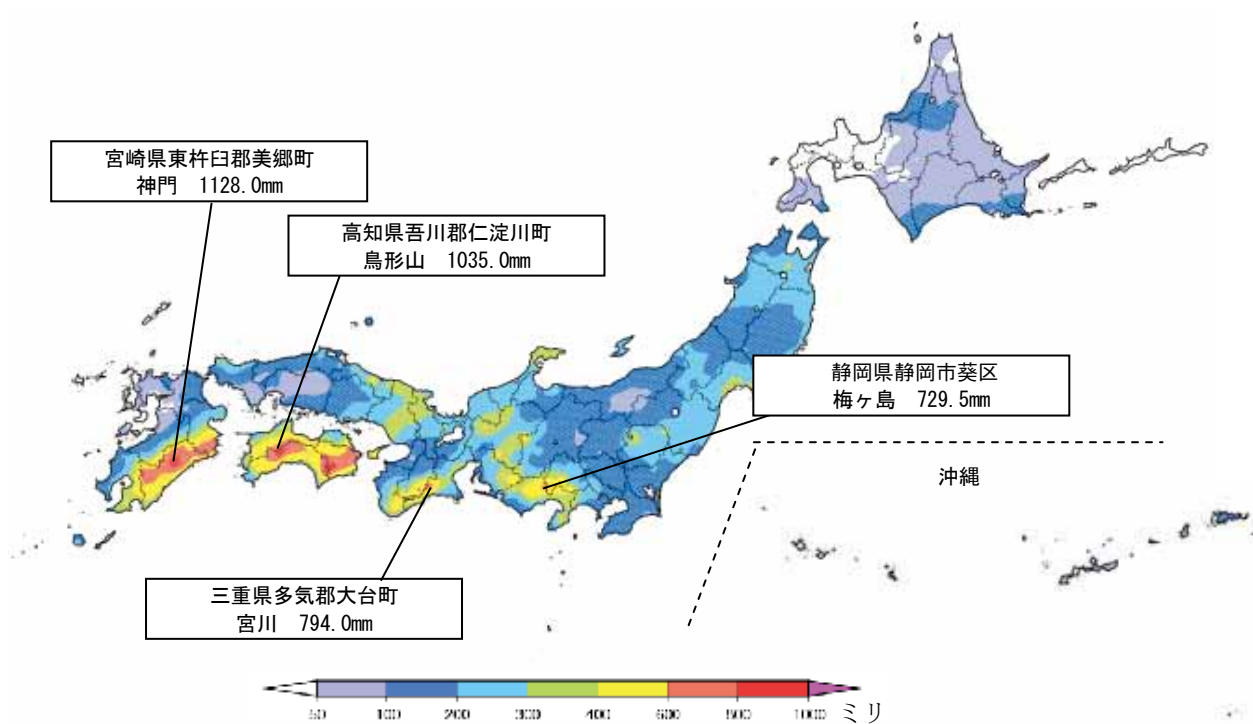


災害番号（13）

天気図等



総降水量分布図 [期間：9月15日～9月22日]



資料 1-2-1 平成 23 年（2011 年）激甚災害指定状況一覧表（地すべり、地震を除く）

<内閣府作成資料等から引用>

■激甚災害(本激：地域を特定せず、災害そのものを指定)

期間	災害原因	気象要因
7/24～ 8/1	豪雨	平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨
8/29～ 9/7	豪雨、暴風雨	台風第 12 号
9/15～ 9/23※	豪雨、暴風雨	台風第 15 号

※本激は農地等

■局地激甚災害(局激：市町村単位で災害を指定)

期間	災害原因	気象要因	対象地区	
			都道府県	市町村
5/10～5/12	豪雨	台風第1号、前線	長野県	大鹿村
			兵庫県	新温泉町
5/28～5/30	豪雨、 暴風雨	台風第2号、前線	長野県	大町市、小川村、伊那市、生坂村、池田町
			京都府	福知山市、伊根町
			兵庫県	淡路市
			奈良県	野迫川村
			和歌山県	高野町
			徳島県	三好市
			高知県	香美市
6/12～6/25	豪雨	梅雨前線	長野県	小谷村
			大阪府	熊取町
			宮崎県	西米良村、諸塚村、椎葉村、美郷町
7/6～7/7	豪雨	梅雨前線	島根県	美郷町
7/17～7/20	暴風雨	台風第6号	長野県	天龍村
			三重県	大台町
			奈良県	黒滝村、上北山村
			和歌山県	新宮市、白浜町
			徳島県	三好市、つるぎ町
			高知県	安芸市、三原村、田野町、北川村、馬路村、大豊町、仁淀川町、檜原町、津野町
			宮崎県	西米良村
8/5～8/6	暴風雨	台風第9号	沖縄県	伊平屋村
8/14～8/25	豪雨	前線、大気不安定	秋田県	北秋田市、藤里町
			岐阜県	下呂市
			長崎県	平戸市
			熊本県	五木村
9/20～9/22※	豪雨、 暴風雨	台風第15号	岩手県	葛巻町、田野畑村、九戸村、
			宮城県	大郷町
			山梨県	早川町、南部町
			岐阜県	八百津町、白川町
			兵庫県	洲本市
9/25～9/28	豪雨	前線	鹿児島県	龍郷町
11/1～11/2	豪雨	大気不安定	鹿児島県	奄美市、瀬戸内町
11/6～11/7	豪雨	低気圧	富山県	上市町

※本激は農地等、局激は公共土木、中小企業

(注)激甚災害および局地激甚災害は「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき指定され政令により公布される。

(参考) 激甚災害について

＜内閣府HP、激甚災害制度の手引き(災害対策制度研究会/編著)から引用＞

1 激甚災害制度の概要

激甚災害制度は、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づき、国民経済に著しい影響を及ぼす災害に対して、「地方財政の負担の緩和」、「被災者に対する特別の助成」を行うことが特に必要であると認められる場合に、その災害を激甚災害として政令で指定し、あわせてその災害に対して適用すべき特例措置を指定するものです。

その結果、一般の災害復旧事業補助・災害復旧貸付等の支援措置に加えて、激甚災害法に基づき、公共土木施設、公立学校、公営住宅、農地等の災害復旧事業等の財政援助等の様々な特例措置が適用されることとなります。

激甚災害法により、激甚災害を指定する政令の制定にあたっては、あらかじめ中央防災会議の意見を聴くこととされており、中央防災会議では、その指定基準として、現在、激甚災害指定基準(本激)と局地激甚災害指定基準(局激)の2つを決定しています。

2 本激と局激の違い局地激甚災害について

激甚災害指定基準(本激)では、全国を単位として積み上げられた被害額を基準としているため、激甚災害制度の創設(昭和37年)当初は、ある特定地域に激甚な被害を及ぼした災害であっても、全国レベルで見ればさほどの被害とはならず、指定基準を越えられない(激甚災害として指定されない)という状況が生じていました。

そこで、市町村単位の被害額を基準とする局地激甚災害指定基準を昭和43年に創設し、限られた地域内で多大な被害を被った地域に対して各種の特例措置が適用されることとしました。

激甚災害指定基準による指定、いわゆる「本激」が地域を特定せず、災害そのものを指定するのに対し、局地激甚災害指定基準による指定、いわゆる「局激」は市町村単位で災害を指定します。ただし、激甚災害に指定されても、被害を受けた地方公共団体等のすべてが特例措置を受けられるわけではなく、被害の大きさが一定規模以上の地方公共団体等に限って特例措置が適用されます。

2 平成 23 年(2011 年)台風の概要

2-1 平成 23 年(2011 年)に発生した台風

台風の発生数は 21 個(平年値 25.6 個)で、台風統計開始の 1951 年以降で 2003 年等と並び 4 番目に少なくなりました(表 2.1)。月別にみると、9 月まではほぼ平年並の 19 個(平年値 18.4 個)の台風が発生しましたが、10 月以降の発生数が 2 個(平年値 7.1 個)で、1951 年以降で昨年と並び最も少なくなりました。10 月以降の発生数が少なかったのは、フィリピン東方海上の対流活動が例年より不活発だったことが一因です。

表 2.1 平成 23 年(2011 年)の台風発生数、日本への上陸数*¹、日本への接近数*²と平年値及び平成 22 年(2010 年)との比較

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
		平年値	発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	
接近数					0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4
上陸数						0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
平成 22 年 (2010 年)	発生数			1				2	5	4	2			14
	上陸数								1	1				2
	接近数								3	4	1			7
平成 23 年 (2011 年)	発生数					2	3	4	3	7	1		1	21
	上陸数							1		2				3
	接近数					2	1	1	2	4				9

(注)・平年値は、昭和 56 年(1981 年)～平成 22 年(2010 年)の 30 年平均。

・日本への接近は 2 か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

上陸*¹ 台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を「上陸」という。小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は「通過」とする。

接近*² 台風の中心が、日本から概ね 300km 以内に入った場合を「接近」という。

資料2-1-1 台風発生数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	1	1	2	1	1	3	3	2	4	1	2	21 (-)
52 27	0	0	0	0	0	3	3	5	3	6	3	4	27 (0)
53 28	0	1	0	0	1	2	1	6	3	5	3	1	23 (-)
54 29	0	0	1	0	1	0	1	5	5	4	3	1	21 (-)
55 30	1	1	1	1	0	2	7	6	4	3	1	1	28 (0)
56 31	0	0	1	2	0	1	2	5	6	1	4	1	23 (-)
57 32	2	0	0	1	1	1	1	4	5	4	3	0	22 (-)
58 33	1	0	0	1	1	4	7	5	5	3	2	2	31 (+)
59 34	0	1	1	1	0	0	2	5	5	4	2	2	23 (-)
60 35	0	0	0	1	1	3	3	10	3	4	1	1	27 (0)
1961 36	1	0	1	0	2	3	4	6	6	4	1	1	29 (+)
62 37	0	1	0	1	2	0	5	8	4	5	3	1	30 (+)
63 38	0	0	0	1	0	4	4	3	5	4	0	3	24 (0)
64 39	0	0	0	0	2	2	7	5	6	5	6	1	34 (+)
65 40	2	1	1	1	2	3	5	5	8	2	2	0	32 (+)
66 41	0	0	0	1	2	1	4	10	9	4	3	1	35 (+)
67 42	0	1	2	1	1	1	7	9	9	4	3	1	39 (+)
68 43	0	0	0	1	1	1	3	8	3	5	5	0	27 (0)
69 44	1	0	1	1	0	0	3	4	3	3	3	2	19 (-)
70 45	0	1	0	0	0	2	3	6	5	5	4	0	26 (0)
1971 46	1	0	1	3	4	2	8	5	6	4	2	0	36 (+)
72 47	1	0	0	0	1	3	6	5	5	5	3	2	31 (+)
73 48	0	0	0	0	0	0	7	5	2	4	3	0	21 (-)
74 49	1	0	1	1	1	4	4	5	5	4	4	2	32 (+)
75 50	1	0	0	0	0	0	2	4	5	5	3	1	21 (-)
76 51	1	1	0	2	2	2	4	4	5	1	1	2	25 (0)
77 52	0	0	1	0	0	1	3	3	5	5	1	2	21 (-)
78 53	1	0	0	1	0	3	4	8	5	4	4	0	30 (+)
79 54	1	0	1	1	2	0	4	2	6	3	2	2	24 (0)
80 55	0	0	0	1	4	1	4	2	6	4	1	1	24 (0)
1981 56	0	0	1	2	0	3	4	8	4	2	3	2	29 (+)
82 57	0	0	3	0	1	3	3	5	5	3	1	1	25 (0)
83 58	0	0	0	0	0	1	3	5	2	5	5	2	23 (-)
84 59	0	0	0	0	0	2	5	5	4	7	3	1	27 (0)
85 60	2	0	0	0	1	3	1	8	5	4	1	2	27 (0)
86 61	0	1	0	1	2	2	3	5	3	5	4	3	29 (+)
87 62	1	0	0	1	0	2	4	4	6	2	2	1	23 (-)
88 63	1	0	0	0	1	3	2	8	8	5	2	1	31 (+)
89 H. 1	1	0	0	1	2	2	7	5	6	4	3	1	32 (+)
90 2	1	0	0	1	1	3	4	6	4	4	4	1	29 (+)
1991 3	0	0	2	1	1	1	4	5	6	3	6	0	29 (+)
92 4	1	1	0	0	0	2	4	8	5	7	3	0	31 (+)
93 5	0	0	1	0	0	1	4	7	5	5	2	3	28 (0)
94 6	0	0	0	1	1	2	7	9	8	6	0	2	36 (+)
95 7	0	0	0	1	0	1	2	6	5	6	1	1	23 (-)
96 8	0	1	0	1	2	0	5	6	6	2	2	1	26 (0)
97 9	0	0	0	2	3	3	4	6	4	3	2	1	28 (0)
98 10	0	0	0	0	0	0	1	3	5	2	3	2	16 (-)
99 11	0	0	0	2	0	1	4	6	6	2	1	0	22 (-)
2000 12	0	0	0	0	2	0	5	6	5	2	2	1	23 (-)
01 13	0	0	0	0	1	2	5	6	5	3	1	3	26 (0)
02 14	1	1	0	0	1	3	5	6	4	2	2	1	26 (0)
03 15	1	0	0	1	2	2	2	5	3	3	2	0	21 (-)
04 16	0	0	0	1	2	5	2	8	3	3	3	2	29 (+)
05 17	1	0	1	1	1	0	5	5	5	2	2	0	23 (-)
06 18	0	0	0	0	1	1	3	7	3	4	2	2	23 (-)
07 19	0	0	0	1	1	0	3	4	5	6	4	0	24 (0)
08 20	0	0	0	1	4	1	2	4	4	2	3	1	22 (-)
09 21	0	0	0	0	2	2	2	5	7	3	1	0	22 (-)
2010 22	0	0	1	0	0	0	2	5	4	2	0	0	14 (-)
11 23	0	0	0	0	2	3	4	3	7	1	0	1	21 (-)
平年値 1981-2010	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

台風の発生月：熱帯低気圧が台風(風速およそ17m/s以上)となった月とする。
 合計の(-)は24個未満、(0)は24個以上29個未満、(+)は29個以上を示す。

資料2-1-2 日本への台風上陸数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
52 27	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
53 28	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
54 29	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	5
55 30	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
57 32	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
58 33	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
60 35	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
1961 36	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
62 37	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	5
63 38	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
64 39	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
65 40	0	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	5
66 41	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5
67 42	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
68 43	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
70 45	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
72 47	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
73 48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
74 49	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
75 50	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
76 51	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
77 52	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
78 53	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
79 54	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
80 55	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
82 57	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
83 58	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
84 59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85 60	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
86 61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
87 62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
88 63	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5
90 2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	6
1991 3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
92 4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
93 5	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6
94 6	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
95 7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
96 8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
97 9	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
99 11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
2000 12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2001 13	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
02 14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
03 15	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
04 16	0	0	0	0	0	2	1	3	2	2	0	0	10
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
06 18	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
08 20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
09 21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
11 23	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
平年値	-	-	-	-	0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0	-	2.7
1981-2010	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

台風の日本への上陸:台風の中心が北海道・本州・四国・九州の海岸線に達した場合をいう。
小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は通過とする。

資料2-1-3 日本への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	1	1	3	1	1	2	0	0	8
52 27	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	3	0	12
53 28	0	0	0	0	0	1	2	4	1	3	0	0	10
54 29	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	1	0	10
55 30	0	0	0	1	0	0	7	3	1	4	0	1	16
56 31	0	0	0	1	0	0	1	3	6	0	0	0	10
57 32	0	0	0	0	0	1	0	3	3	2	2	0	10
58 33	0	0	0	0	0	4	5	2	3	0	1	0	15
59 34	0	0	0	1	0	0	1	3	3	3	2	0	13
60 35	0	0	0	0	0	3	2	11	1	2	0	1	19
1961 36	0	0	0	0	1	2	2	4	4	3	0	0	15
62 37	0	0	0	0	1	0	4	6	2	1	1	0	14
63 38	0	0	0	0	0	3	2	2	2	3	0	0	12
64 39	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	8
65 40	0	0	0	0	1	3	1	4	4	1	1	0	15
66 41	0	0	0	0	2	2	1	7	8	1	0	0	19
67 42	0	0	0	1	0	0	3	4	3	2	1	0	13
68 43	0	0	0	0	0	1	2	2	4	1	0	0	10
69 44	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	2	0	8
70 45	0	0	0	0	0	0	2	4	3	0	0	0	9
1971 46	0	0	0	1	1	0	2	3	5	1	1	0	13
72 47	0	0	0	0	0	0	3	3	2	3	0	0	11
73 48	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
74 49	0	0	0	0	0	1	3	4	3	0	0	0	10
75 50	0	0	0	0	0	0	1	4	1	2	2	0	9
76 51	0	0	0	1	2	2	5	2	1	0	2	0	13
77 52	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	6
78 53	0	0	0	0	0	2	3	6	3	1	1	0	14
79 54	0	0	0	0	1	0	0	2	2	3	0	0	7
80 55	0	0	0	0	1	0	0	2	3	2	1	0	9
1981 56	0	0	0	0	0	2	3	3	2	2	1	0	11
82 57	0	0	0	0	1	2	3	4	3	1	0	0	13
83 58	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	1	0	7
84 59	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	1	9
85 60	0	0	0	0	1	1	2	7	2	2	0	0	12
86 61	0	0	0	0	1	1	2	3	3	1	1	0	12
87 62	0	0	0	0	0	1	5	2	1	2	0	0	10
88 63	0	0	0	0	0	2	1	4	4	2	0	0	13
89 H. 1	0	0	0	0	0	1	3	4	3	1	0	0	11
90 2	0	0	0	0	1	1	1	5	3	1	1	1	14
1991 3	0	0	0	0	1	0	1	4	5	2	1	0	14
92 4	0	0	0	0	0	1	1	5	3	2	3	0	14
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	0	9
94 6	0	0	0	0	1	0	4	6	3	2	2	0	15
95 7	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
96 8	0	0	0	0	2	0	3	2	3	1	1	0	10
97 9	0	0	0	1	1	3	1	3	3	2	1	0	15
98 10	0	0	0	0	0	0	0	2	5	1	0	0	8
99 11	0	0	0	1	0	0	3	4	3	0	1	0	11
2000 12	0	0	0	0	2	0	4	4	3	1	1	0	15
01 13	0	0	0	0	1	0	2	2	4	2	0	0	11
02 14	0	0	0	0	0	1	6	2	3	1	1	0	13
03 15	0	0	0	1	1	2	0	2	3	1	1	1	12
04 16	0	0	0	1	1	3	3	6	3	3	0	1	19
05 17	0	0	0	1	0	1	2	3	4	2	0	0	12
06 18	0	0	0	0	0	0	3	4	2	1	0	0	10
07 19	0	0	0	0	1	0	1	4	3	3	0	0	12
08 20	0	0	0	0	3	1	2	1	2	1	0	0	9
09 21	0	0	0	0	1	0	0	3	3	2	0	0	8
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	7
11 23	0	0	0	0	2	1	1	2	4	0	0	0	9
平年値 1981-2010	-	-	-	0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4

台風の接近: 台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-4 北海道・本州・四国・九州への台風接近数一覧表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
1951 S.26	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	4
52 27	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	7
53 28	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
54 29	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	6
55 30	0	0	0	0	0	0	5	1	1	4	0	0	10
56 31	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	0	5
57 32	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
58 33	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	5
59 34	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	6
60 35	0	0	0	0	0	1	0	5	1	0	0	0	7
1961 36	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	0	0	7
62 37	0	0	0	0	0	0	1	6	1	0	0	0	8
63 38	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	6
64 39	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
65 40	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0	1	0	9
66 41	0	0	0	0	1	2	0	2	4	1	0	0	9
67 42	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
68 43	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5
69 44	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
70 45	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5
1971 46	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	6
72 47	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	6
73 48	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
74 49	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	4
75 50	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
76 51	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
77 52	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
78 53	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	7
79 54	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	5
80 55	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
1981 56	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	6
82 57	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	0	6
83 58	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
84 59	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
85 60	0	0	0	0	0	1	1	4	2	1	0	0	6
86 61	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
87 62	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	5
88 63	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	6
89 H.1	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	0	7
90 2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	1	0	8
1991 3	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	0	9
92 4	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	0	5
93 5	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	0	0	8
94 6	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6
95 7	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
96 8	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
97 9	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	0	6
98 10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6
99 11	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	5
2000 12	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
01 13	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	4
02 14	0	0	0	0	0	1	4	2	0	1	0	0	8
03 15	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	6
04 16	0	0	0	0	1	2	1	4	2	3	0	0	12
05 17	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
06 18	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
07 19	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	5
08 20	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
09 21	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	4
2010 22	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
11 23	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
平年値	-	-	-	0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0	-	5.5
1981-2010													

台風の北海道・本州・四国・九州への接近：台風の中心が北海道・本州・四国・九州から概ね300km以内に入った場合をいう。

接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

資料2-1-5 平成23年(2011年)に発生した台風の一覧表

台風番号	台風名	熱帯低気圧の発生				台風の発生				台風の最低(大)値				熱帯低気圧または温帯低気圧となった日時と位置				消滅前の最後に確認された日時と位置、又は域外で最初に確認された日時					
		北緯		東経		北緯		東経		海面気圧		風速		強風半径		月日時		種類		月日時		種類	
		月日時	北緯	東経	月日時	北緯	東経	月日時	東経	月日時	hPa	月日時	m/s	月日時	km	月日時	北緯	東経	種類	月日時	北緯	東経	種類
1	AERE	5 6 21	11.9	128.2	5 7 21	13.3	125.4	5 9 09	992	5 9 09	20	5 11 09	SE:300 NW:170	TD	5 15 15	域外	域外	TD	5 15 15	域外	域外	域外	
2	SONGDA	5 20 03	8.3	141.6	5 21 21	9.0	137.9	5 27 09	920	5 27 09	55	5 28 12	SE:440 NW:330	L	6 2 09	42.0	178.2	L	6 2 09	42.0	178.2	L	
3	SARIKA	6 9 03	14.3	120.3	6 9 21	16.3	118.3	6 10 15	996	6 10 15	20	6 10 21	E:170 W:90	TD	6 11 15	24.9	117.0	TD	6 11 15	24.9	117.0	TD	
4	HAJIMA	6 17 03	9.3	129.1	6 21 21	18.5	114.8	6 24 15	985	6 24 15	20	6 23 03	280	TD	6 25 21	19.1	103.3	TD	6 25 21	19.1	103.3	TD	
5	MEARI	6 21 03	11.0	133.4	6 22 09	13.2	129.3	6 25 15	975	6 25 15	30	6 25 09	SE:750 NW:440	L	6 27 15	39.4	125.3	L	6 27 15	39.4	125.3	L	
6	MA-ON	7 11 21	18.5	157.3	7 12 09	18.9	155.9	7 17 12	935	7 17 12	50	7 17 09	S:1200 N:650	L	7 31 09	51.7	164.7	L	7 31 09	51.7	164.7	L	
7	TOKAGE	7 14 03	14.9	133.6	7 15 09	14.2	132.9	7 15 21	1000	7 15 21	18	7 15 21	SE:190 NW:90	TD	7 16 03	14.4	134.6	TD	7 16 03	14.4	134.6	TD	
8	NOCK-TEN	7 25 03	12.7	128.1	7 26 09	14.0	123.9	7 30 09	985	7 30 09	25	7 29 15	NE:410 SW:240	TD	7 31 09	18.0	102.1	TD	7 31 09	18.0	102.1	TD	
9	MUJIFA	7 27 09	10.0	142.0	7 28 15	11.5	135.0	8 1 03	930	8 1 03	50	8 6 18	SE:560 NW:440	TD	8 15 21	57.5	146.0	TD	8 15 21	57.5	146.0	TD	
10	MERBOK	8 3 03	23.2	163.0	8 3 15	23.2	160.5	8 9 09	980	8 9 09	25	8 9 21	SE:440 NW:370	L	8 12 09	53.3	166.3	L	8 12 09	53.3	166.3	L	
11	NANMADOL	8 21 21	12.4	128.6	8 23 21	15.6	127.2	8 26 21	925	8 26 21	50	8 28 09	S:520 N:280	TD	8 31 21	24.4	116.9	TD	8 31 21	24.4	116.9	TD	
12	TALAS	8 24 03	15.2	142.7	8 25 09	18.4	140.6	9 2 21	970	9 3 15	25	9 3 12	E:650 W:560	L	9 7 15	45.8	138.0	L	9 7 15	45.8	138.0	L	
13	NORU	9 2 09	21.3	149.8	9 3 21	22.2	150.3	9 6 15	990	9 6 15	20	9 6 03	E:560 W:370	L	9 9 15	域外	域外	L	9 9 15	域外	域外	L	
14	KULAP	9 6 15	19.5	134.5	9 7 09	21.2	135.3	9 8 15	1000	9 9 03	18	9 9 03	E:190 W:90	TD	9 11 09	33.4	126.5	TD	9 11 09	33.4	126.5	TD	
15	ROKE	9 9 21	20.4	144.7	9 13 15	23.0	138.2	9 21 06	940	9 21 06	45	9 22 00	SE:650 NW:560	L	9 24 21	域外	域外	L	9 24 21	域外	域外	L	
16	SONCA	9 14 21	20.6	154.4	9 15 15	22.1	155.2	9 20 03	970	9 20 03	35	9 19 21	SE:390 NW:220	L	9 21 15	域外	域外	L	9 21 15	域外	域外	L	
17	NESAT	9 23 09	12.6	139.2	9 24 09	14.2	136.5	9 27 03	950	9 27 03	40	9 29 03	560	TD	10 1 03	21.5	106.2	TD	10 1 03	21.5	106.2	TD	
18	HAITANG	9 24 09	15.8	110.9	9 25 09	16.4	113.1	9 26 09	996	9 26 21	18	9 26 15	260	TD	9 27 09	16.6	107.5	TD	9 27 09	16.6	107.5	TD	
19	NALGAE	9 26 21	18.3	139.6	9 28 03	19.0	137.2	10 1 09	935	10 1 09	50	10 2 15	NE:600 SW:260	TD	10 5 21	18.0	107.5	TD	10 5 21	18.0	107.5	TD	
20	BANYAN	10 9 15	8.1	135.5	10 11 03	7.7	128.9	10 11 09	1002	10 11 09	18	10 11 09	330	TD	10 14 15	18.2	117.2	TD	10 14 15	18.2	117.2	TD	
21	WASHI	12 13 15	6.2	145.0	12 15 15	7.5	132.6	12 16 15	992	12 16 15	25	12 17 15	N:330 S:110	TD	12 19 09	9.6	113.2	TD	12 19 09	9.6	113.2	TD	

表中の日はすべて日本時(JST)。
「台風期間中の最低(大)値」の起時は、最低(大)となった最後の時刻である。
(但し、風速はノットで解析し、5m/s単位に換算しているため必ずしもこれに当てはまらない事がある。)
強風域とは、台風の周辺で平均風速がおおむね15m/s以上の領域。
種類欄の「TD」は熱帯低気圧、「L」は温帯低気圧を表す。
域外とは、日付変更線(東経180°)より東側、東経100°より西側、又は北緯60°より北側の領域。

2-2 平成 23 年(2011 年)に日本に影響した主な台風

日本に影響*した主な台風について以下に概要を示す。

*台風の中心が日本から概ね500kmに入った場合を本稿では「日本に影響した台風」とした。

(1) 台風第1号(T1101 AERE)

5月6日21時にサマル島の東海上で発生した熱帯低気圧は、北西へ進み、7日21時に同海上で台風第1号となった。台風は、8日21時にルソン島の東海上で勢力が最大となった。台風は、ルソン島の北東部沿岸を進んだ後北東へ向きを変え、沖縄本島に接近した後、12日3時に九州の南海上で熱帯低気圧に変わった。熱帯低気圧は日本の南海上を北東へ進んだ後、13日3時に本州の東海上で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は15日15時にアリューシャン列島付近で経度180度を越えた。

(2) 台風第2号(T1102 SONGDA)

5月20日3時にヤップ島の東南東海上で発生した熱帯低気圧は、西北西へ進み、5月21日21時にヤップ島の南海上で台風第2号となった。台風は、北西へ向きを変え、5月26日15時にルソン島の東で勢力が最大となった。台風は、徐々に北東へ向きを変え、沖縄本島に接近した後、5月29日15時に四国の南海上で温帯低気圧に変わった。温帯低気圧は東北東へ進み、6月2日15時に日付変更線付近で消滅した。

(3) 台風第5号(T1105 MEARI)

6月21日3時にパラオの北海上で発生した熱帯低気圧は、北西へ進み、22日9時にフィリピンのサマル島の東海上で台風第5号となった。台風は北西へ進路を変えるとともに、徐々に速度を上げ、24日18時に先島の南海上で勢力が最大となった。台風は東シナ海を北へ進んだ後、山東半島付近で急激に北東へ進路を変えた後、27日15時に朝鮮半島沿岸の北西海上で温帯低気圧に変わり、同日21時に同海上で消滅した。

(4) 台風第6号(T1106 MA-ON)

7月11日21時に南鳥島の南東海上で発生した熱帯低気圧は、西へ進み、12日9時に台風第6号となった。台風は、西へ進んだ後北西に向きを変え、16日21時に沖ノ鳥島の北東海上で勢力が最大となった。その後、台風は北に向きを変え、19日23時頃に徳島県南部に上陸した。その後東に進んだ台風は、20日10時頃和歌山県潮岬付近を通過し、その後南東へ向かった。台風は、22日午前中に北東へ向きを変え、24日21時に北海道の東海上で温帯低気圧に変わり、31日15時にカムチャツカ半島の東海上で消滅した。

(5) 台風第9号(T1109 MUIFA)

7月27日9時にグアム島の南西海上で発生した熱帯低気圧は、西へ進み、28日15時に台風第9号と

なった。台風は西へ進んだ後北に向きを変え、31日3時に沖ノ鳥島の南西海上で勢力が最大となった。台風は徐々に西に進んだ後さらに北へ向きを変え、8月5日22時頃に沖縄県久米島付近を通過した。台風は東シナ海と黄海を北に進み、8日に朝鮮半島に上陸し、9日9時に中国東北区で熱帯低気圧に変わった。熱帯低気圧は同日21時に温帯低気圧に変わった後、東へ進み、サハリンを通過して、オホーツク海をゆっくり北に進み、16日3時に消滅した。

(6) 台風第11号 (T1111 NANMADOL)

8月21日21時にサマル島の東海上で発生した熱帯低気圧は、北北西へ進み、23日21時にルソン島の東海上で台風第11号となった。台風は西北西へ向きを変え、26日9時に同海上で勢力が最大となった。台風は北西へ進み、ルソン島北東側の沿岸と、台湾南側の沿岸を通過後、台湾海峡に進んだ。台風は、西に向きを変え、31日9時に華南の沿岸で熱帯低気圧に変わった後、9月1日3時に消滅した。

(7) 台風第12号 (T1112 TALAS)

8月24日3時にマリアナ諸島の西海上で発生した熱帯低気圧は、北西へ進み、25日9時に台風第12号となった。台風は速度を落としつつ北へ進み、29日21時に硫黄島の西海上で勢力が最大となった。台風は西に進んだ後北西に進路を変え、9月3日10時頃高知県東部に上陸した。台風は四国を北上した後、同日18時過ぎに岡山県南部に再上陸し、その後日本海に進んだ。台風は速度を上げて北へ進み、5日15時に温帯低気圧に変わり、7日21時にロシアで消滅した。

(8) 台風第13号 (T1113 NORU)

9月2日9時に南鳥島の南西海上で発生した熱帯低気圧は、南西に進んだ後北東へ進み、3日21時に同海上で台風第13号となった。台風は速度を速めつつ北へ進み、5日15時に日本の東海上で勢力が最大となった。台風は6日21時に温帯低気圧に変わり、進路を北北西に変え、オホーツク海上を進んだ後、7日にサハリンを通過し、北に進んで、9日15時前に緯度60度を越えた。

(9) 台風第14号 (T1114 KULAP)

9月6日15時に沖ノ鳥島付近で発生した熱帯低気圧は、北東へ進み、7日9時に台風第14号となり、同日15時に勢力が最大となった。台風は徐々に進路を北西に変え、9日9時に奄美大島の東海上で熱帯低気圧に変わった後、東シナ海へ進み、11日15時にチェジュ島付近で消滅した。

(10) 台風第15号 (T1115 ROKE)

9月9日21時にマリアナ諸島の北海上で発生した熱帯低気圧は、西に進んだ後、急に北東に進路を変え、13日15時に沖ノ鳥島の北東海上で台風第15号となった。台風は再び進路を西北西に変えた後、大東島付近で反時計回りに円を描くように進み、20日21時に勢力が最大となった。台風は北東へ進み、21日14時ごろに静岡県浜松市付近に上陸し、その後も北東へ進んだ。台風は22日15時に千島列島付近で温帯低気圧に変わった後、24日21時にアリューシャン列島の東海上で経度180度を越えた。

(11) 台風第16号(T1116 SONCA)

9月14日21時に南鳥島の南海上で発生した熱帯低気圧は、ゆっくりと北に進み、15日15時に台風第16号となった。台風は西へ進んだ後、小笠原諸島の東海上で転向し、19日9時に日本の南東海上で勢力が最大となった。台風は速度を上げつつ東北東に進み、20日21時に北海道のはるか東海上で温帯低気圧に変わり、21日15時にアリューシャン列島の南海上で経度180度を越えた。

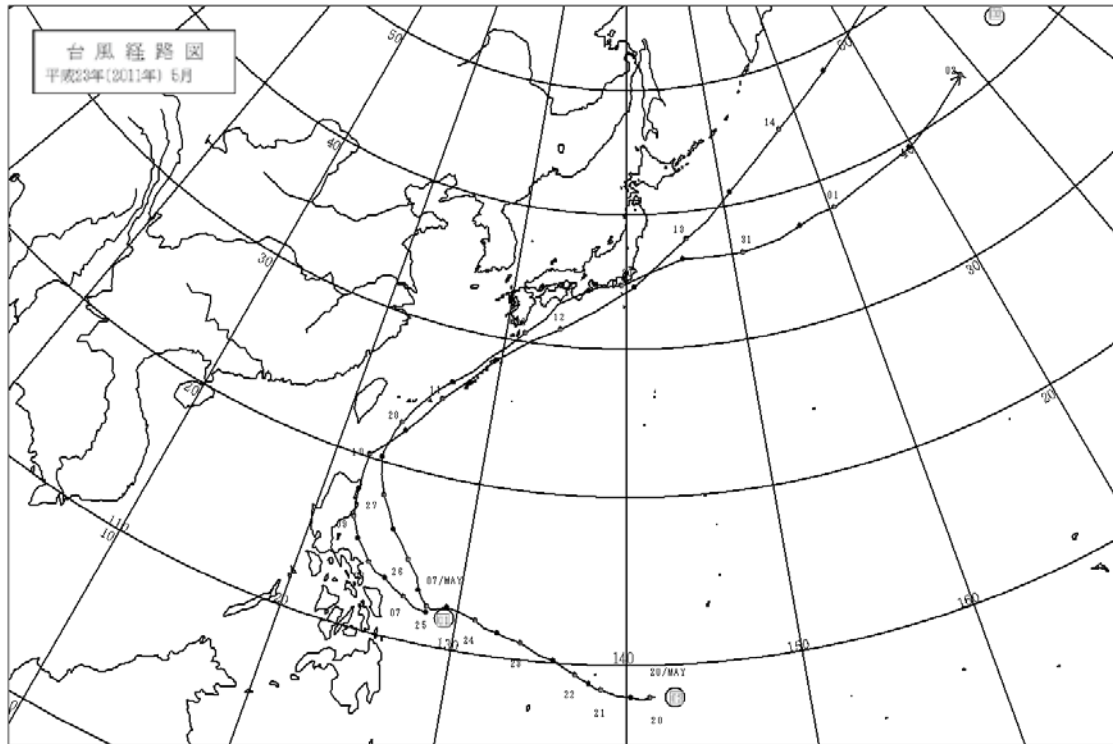
資料2-2-1 平成23年(2011年)に日本に影響した台風の概要表(熱帯低気圧、温帯低気圧の期間は除く)

台風番号	日本への影響 (台風の中心が日本から概ね500km以内に入った場合)				日本への接近 (台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合)			
	月日		地域		月日		地域	
	始	終			始	終		
1	5/10	5/12	沖縄・奄美、九州南部、九州北部、四国、中国地方		5/10	5/12	沖縄・奄美、九州南部、九州北部	上陸または通過せず。
2	5/27	5/29	沖縄・奄美、西日本、東海地方、関東甲信、北陸		5/28	5/29	沖縄・奄美、西日本、東海地方	上陸または通過せず。
5	6/24	6/26	沖縄・奄美、九州北部		6/24	6/25	沖縄	上陸または通過せず。
6	7/17	7/24	沖縄・奄美、西日本、東海地方、関東甲信、伊豆諸島、小笠原諸島、北陸、北海道		7/17	7/22	沖縄、西日本、東海地方、関東甲信、伊豆諸島、小笠原諸島、北陸	7月19日23時頃、徳島県南部に上陸した。 7月20日10時前、和歌山県潮岬付近を通過した。
9	8/2	8/7	沖縄・奄美、九州北部		8/3	8/6	沖縄・奄美	8月5日22時頃、沖縄県久米島付近を通過した。 上陸または通過せず。
11	8/28	8/31	沖縄					
12	8/28	9/5	西日本、東海地方、関東甲信、伊豆諸島、小笠原諸島、北陸、北日本		8/30	9/5	西日本、東海地方、小笠原諸島、北陸	9月3日10時頃、高知県東部に上陸した。 9月3日18時過ぎ、岡山県南部に再上陸した。
13	9/6	9/6	北海道					上陸または通過せず。
14	9/8	9/9	沖縄・奄美、九州南部、九州北部		9/8	9/9	沖縄・奄美、九州南部	上陸または通過せず。
15	9/14	9/22	沖縄・奄美、西日本、東海地方、関東甲信、伊豆諸島、北陸、北日本		9/15	9/22	沖縄・奄美、九州南部、四国、中国地方、近畿、東海地方、関東甲信、伊豆諸島、北陸、北日本	9月21日14時頃、静岡県浜松市付近に上陸した。
16	9/17	9/19	東海地方、関東甲信、伊豆諸島、小笠原諸島、東北地方		9/17	9/19	伊豆諸島、小笠原諸島	上陸または通過せず。

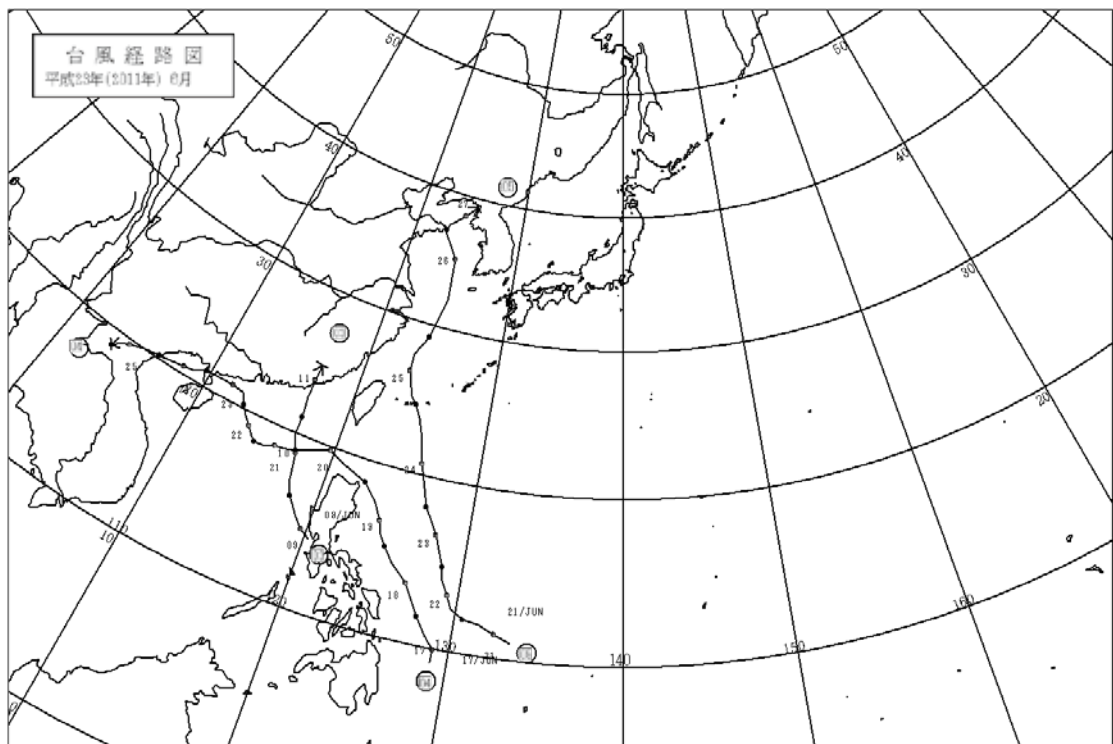
台風の中心が日本から概ね300km以内に入った場合を「日本に接近した台風」とした。

台風の中心が日本から概ね500km以内に入った場合を「日本に影響した台風」とした。

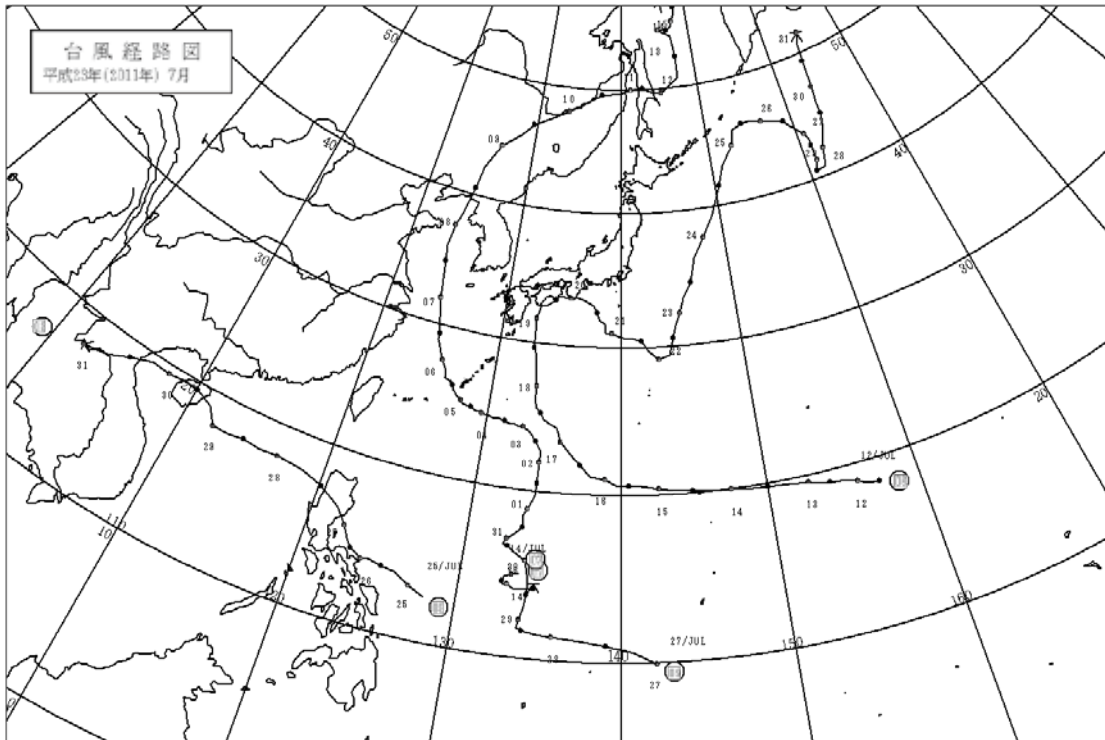
資料 2-2-2 平成 23 年 (2011 年) に発生した台風の経路図



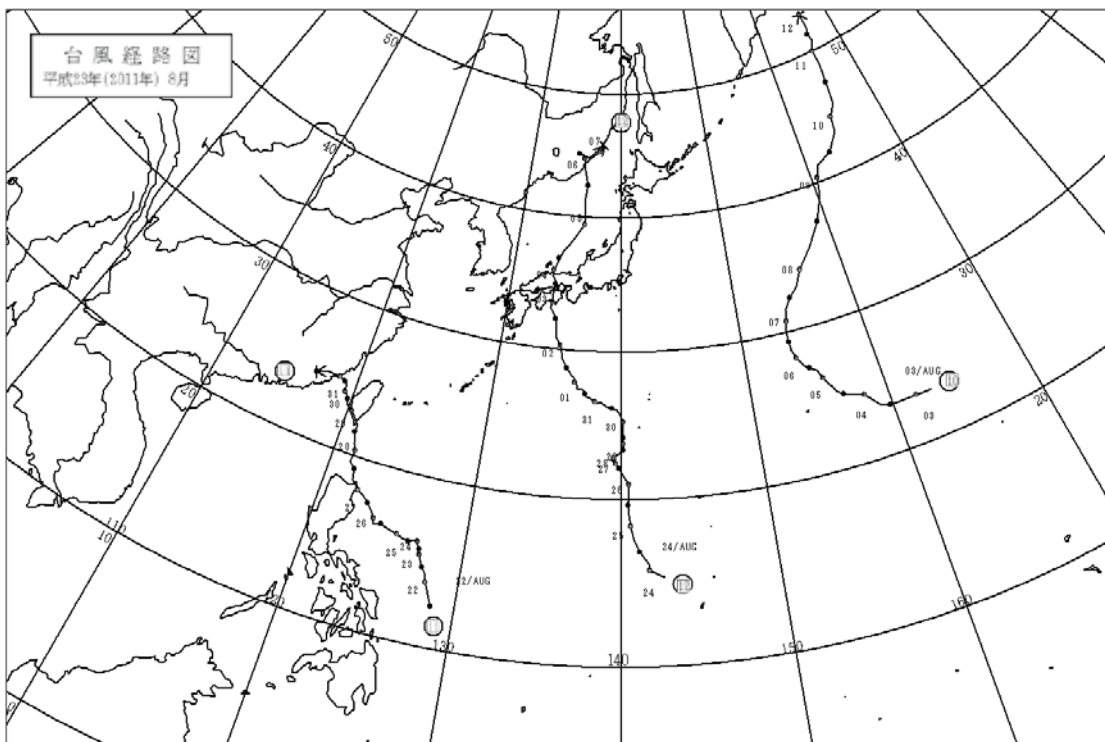
四角で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、-|は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。



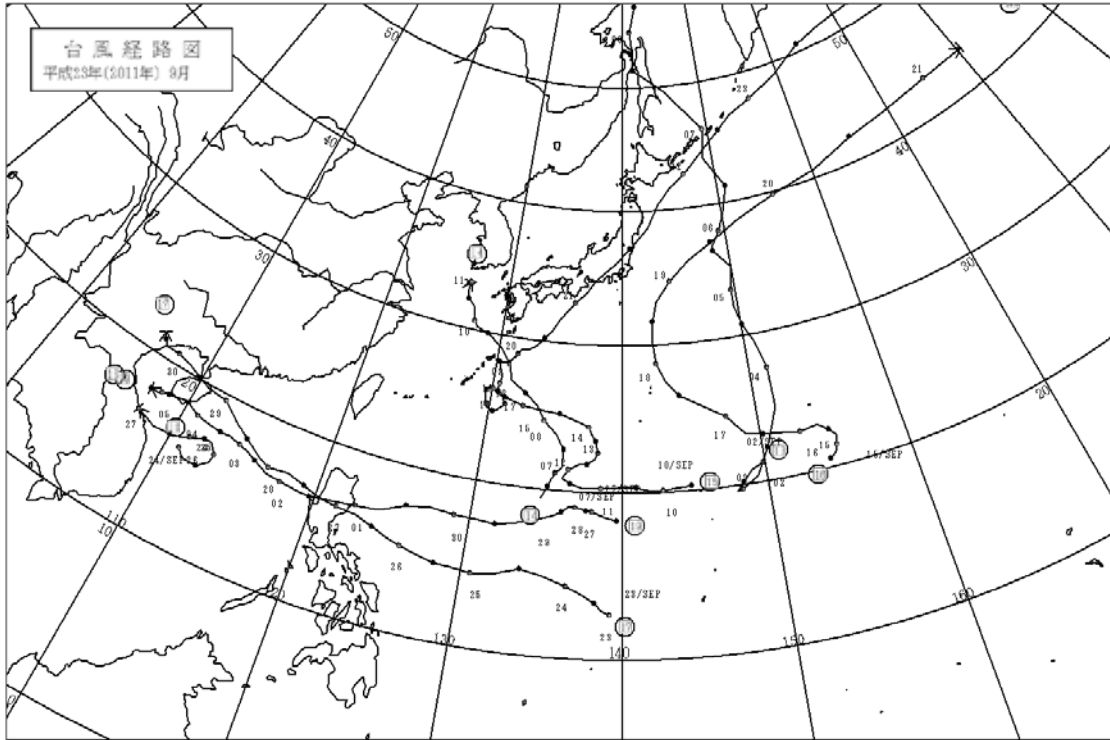
四角で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は傍に記した日の9時、●印は21時の位置で、-|は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。



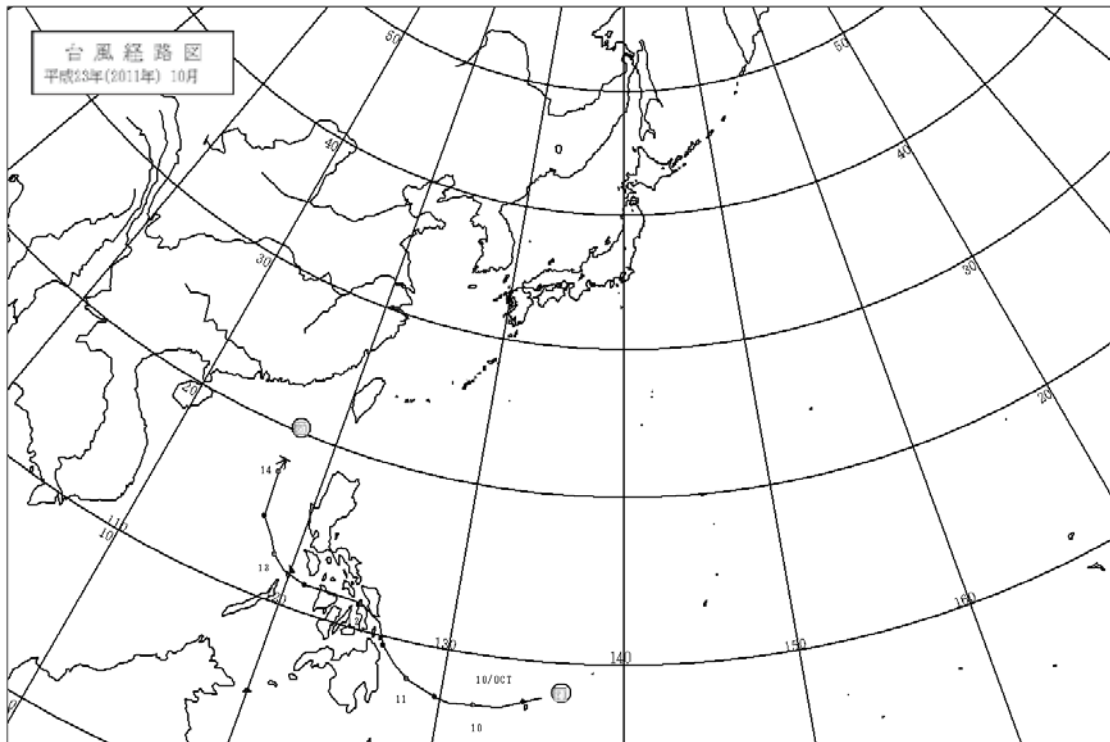
四角で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は例に記した日の9時、●印は21時の位置で、-は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。



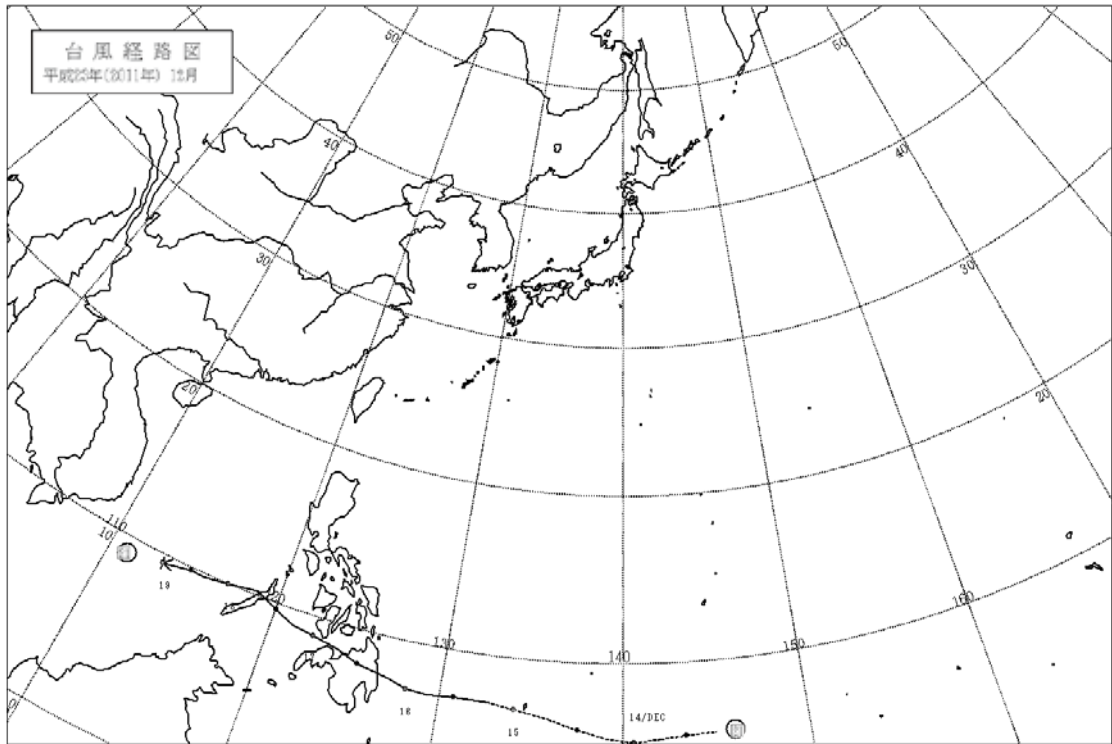
四角で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は例に記した日の9時、●印は21時の位置で、-は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。



四角で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は朝に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。



四角で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は朝に記した日の9時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。



四角で囲った数字は台風番号である。経路上の○印は例に記した日の9時、●印は21時の位置で、---は消滅を示す。また、経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示す。

3 平成23年(2011年)の天気概況

1月

冬型の気圧配置となる(1日~5日)

1日は、三陸沖の低気圧が東へ進み、日本付近は冬型の気圧配置(以下、冬型と略す。)となった。西日本から東日本にかけての日本海側と北日本の一部で雪が降り、沖縄・奄美は雨や曇りとなった。東日本の太平洋側は曇りとなった。西日本の一部と北陸の一部では雷を伴い、西日本では強風となったところがあった。西日本の太平洋側は概ね晴れた。2日は、日本付近は冬型が続き、北日本の一部で雪が降り、西日本から東日本にかけての日本海側で雪や雨が降った。沖縄・奄美で雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。3日と4日は、日本付近は冬型となり、北日本の日本海側で雪が降り、西日本から東日本にかけての日本海側で雪や雨が降った。沖縄・奄美で雨や曇りとなった。日本の南海上に低気圧が発生し、前線を伴って関東の東海上へ進んだ。伊豆諸島で雨が降り、西日本の太平洋側で曇りとなった。5日は、日本海北部に低気圧が発生し、宗谷海峡へ進んだ。北日本で雪や曇りとなり、西日本と東日本の日本海側で雪や雨となった。北陸の一部では雷を伴い、東日本では強風となったところがあった。その他の地方は概ね晴れた。

三陸沖に低気圧が発生し、冬型の気圧配置となる(6日~11日)

6日は、三陸沖に低気圧が発生し、前線を伴って北海道の東海上へ進んだ。また、宗谷海峡の低気圧が千島近海へ進んだ。日本付近は冬型となり、東日本の日本海側と北日本で雪が降り、西日本で雪や雨となった。沖縄・奄美と伊豆諸島で雨が降った。北日本と東日本では強風となったところがあった。東日本の太平洋側は概ね晴れた。7日は、日本付近は冬型が続き、北日本の日本海側で雪が降り、西日本から東日本にかけての日本海側で雪や雨が降った。沖縄・奄美で雨や曇りとなった。北海道の一部では強風となった。その他の地方は概ね晴れた。8日は、日本海中部に低気圧が発生して秋田沖へ進んだ。西日本から東日本にかけての日本海側の一部や東北地方と北海道の日本海側で雪や雨が降った。北海道の一部では強風となった。沖縄・奄美は雨や曇りとなった。その他の地方は概ね晴れた。9日は、秋田沖の低気圧が東へ離れ、関東の東海上に別の低気圧が発生し、前線を伴って東へ離れた。日本付近は冬型となり、西日本から東日本にかけての日本海側や東北地方と北海道の日本海側で雪が降り、沖縄・奄美で雨が降った。西日本から北日本にかけて強風となったところがあった。その他の地方は概ね晴れた。11日は、中国東北区の低気圧が日本海中部へ進んだ。西日本から北日本にかけての日本海側で雪が降り、沖縄・奄美で雨が降った。その他の地方は晴れや曇りとなった。

低気圧が通過した後、強い冬型の気圧配置となる(12日~15日)

12日は、日本海中部の低気圧が釧路沖へ進んだ。日本付近は冬型となり、東日本の日本海側と北日本で雪が降り、西日本で雪や曇りとなった。沖縄・奄美は雨が降った。北陸の一部では雷を伴い、東日本と北日本では強風となったところがあった。その他の地方は概ね晴れた。13日は、釧路沖の低気圧が千島近海へ進んだ。日本付近は冬型が続き、東日本から東北地方にかけての日本海側と北海道で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。沖縄・奄美は雨や曇りとなった。北海道の一部では強風となった。その他の地方では概ね晴れた。14日は、千島近海の低気圧がほとんど停滞し、日本海中部に低気圧が発生して東へ進んだ。西日本の日本海側の一部と東日本から北日本にかけての日本海側で雪が降った。沖縄本島付近に停滞前線が発生した。沖縄・奄美で雨や曇りとなり、先島諸島の一部では大雨となった。その他の地方は概ね晴れた。15日は、千島近海の低気圧がほとんど停滞し、日本海中部と関東の東海上に低気圧が発生した。西日本から北日本にかけて雪や曇りとなり、北陸では雷を伴ったところがあった。西日本の一部では暴風や強風となり、東日本の一部では強風となった。沖縄本島付近の停滞前線が東へ進んだ。沖縄・奄美で雨が降り、一部では強風となった。

冬型の気圧配置が続く(16日～22日)

16日と17日は、関東の東海上の低気圧が東へ進み、日本付近は強い冬型となった。西日本から東日本にかけての日本海側と北日本で雪が降り、沖縄・奄美で雨が降った。西日本の一部や北陸の一部と北日本の一部では雷を伴い、沖縄・奄美から北日本にかけて強風となったところがあり、九州の一部では暴風となった。その他の地方は晴れや曇りとなった。18日から20日にかけては、日本付近は冬型となり、東日本から北日本にかけての日本海側で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。沖縄・奄美は雨や曇りとなった。その他の地方は晴れや曇りとなった。21日と22日は、日本付近は冬型となり、東日本から北日本にかけての日本海側で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。沖縄の南海上に停滞前線が発生し、沖縄・奄美で雨や曇りとなった。その他の地方は晴れや曇りとなった。

低気圧が通過した後冬型の気圧配置となる(23日～28日)

23日は、黄海に低気圧が発生して日本海西部へ進み、関東の東海上に低気圧が発生した。東日本から北日本の日本海側で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。沖縄・奄美と西日本の太平洋側で雨や曇りとなった。24日は、日本海西部の低気圧が北陸へ進んで消滅した。また、日本海北部に低気圧が発生し、日高沖へ進んだ。東日本から北日本の日本海側で雪が降り、西日本で雪や曇りとなった。北陸の一部では雷を伴った。関東の東海上の低気圧が前線を伴って東へ進み、東日本の太平洋側で雨や曇りとなった。25日は、日本付近は冬型となった。東日本の日本海側と北日本で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。その他の地方は晴れや曇りとなった。26日は、日本付近は冬型が続き、日本海北部に低気圧が発生して東へ進み、関東の東海上に低気圧が発生した。東日本の日本海側と北日本の一部で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。沖縄・奄美は雨や曇りとなった。北陸の一部では雷を伴った。その他地方は概ね晴れた。27日は、日本付近は冬型が続き、日本海北部に低気圧が発生した。東日本の日本海側や東北地方と北海道の一部で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。沖縄・奄美で雨が降った。その他の地方は晴れや曇りとなった。28日は、日本海北部の低気圧が釧路沖へ進み、日本海北部に別の低気圧が発生した。東日本の日本海側や東北地方と北海道の一部で雪が降り、西日本の日本海側で雪や曇りとなった。西日本の太平洋側は雨や曇りとなった。先島諸島付近に低気圧が発生し、沖縄本島付近へ進んだ。沖縄・奄美で雨が降った。東日本の太平洋側は概ね晴れた。

日本付近を低気圧が通過した後冬型の気圧配置となる(29日～31日)

29日は、日本付近は冬型となり、東日本の日本海側と北日本で雪が降り、西日本で雪や曇りとなった。沖縄・奄美で雨が降った。北陸の一部では暴風や強風となった。東日本の太平洋側は晴れや曇りとなった。30日と31日は、冬型が続き、東日本の日本海側や東北地方と北海道で雪が降り、西日本で雪や曇りとなった。九州の一部では強風となった日があった。その他の地方は概ね晴れた。

2月

高・低気圧が日本付近を次々に通過(1日～6日)

1日は、冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)により、近畿から北海道にかけての日本海側を中心に、雪や雨が降った。2日と3日は、日本付近は高気圧に覆われたが、弱い気圧の谷の影響で南西諸島の一部で雨が降り、九州から北海道の太平洋側の一部で、雪や雨が降った。4日は、九州の南海上で前線上に低気圧が発生したため、南西諸島で雨が降った。また、気圧の谷の影響で、北陸から東北地方の日本海側で、雪や雨が降り、北陸の一部では雷を伴った。5日は、九州の南海上の低気圧が前線とともに東へ進み、南西諸島の一部では雨が降った。また、弱い気圧の谷が東へ進み、北陸から東北地方にかけての日本海側で、雪や雨が降った。6日は、日本付近は高気圧に覆われた後、気圧の谷が通過し、東日本から北日本にかけての一部で、雪や雨が降った。北陸の一部では雷を伴った。

低気圧が日本の東海上へ進み、北日本や東日本を中心に雨(7日)

7日は、オホーツク海の低気圧に伴う前線が北日本を通過したため、近畿から東北地方にかけての日本海側や、北海道では、雪や雨が降った。また東北地方や北海道では強風となったところがあった。本州南岸に低気圧が発生し前線を伴って北東に進んだため、関東の一部で雨が降った。

本州南岸を低気圧が通過した後冬型の気圧配置となる(8日～10日)

8日は、九州西海上の低気圧が東へ進み、その影響で、南西諸島から関東にかけて雨が降るところが多かった。9日は、本州南岸に発生した低気圧が前線を伴って北東へ進み、西日本の一部や、東日本では雨が降った。北陸の一部では雷を伴った。また、日本海の低気圧の影響で、東北地方では雪や雨が降った。九州や北陸および関東や伊豆諸島では強風となったところがあった。10日は、冬型となり、中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨が降った。

本州南岸の低気圧が発達しながら北海道の東海上へ進み、西日本は大荒れ(11日～13日)

10日夜に本州南岸に発生した低気圧は、11から12日にかけて、前線を伴いながら北海道の東海上へ進んだため、北日本の一部や、南西諸島から東日本にかけて雪や雨が降った。九州北部の一部では雷を伴った。西日本では暴風や強風となったところがあり、関東や北海道では強風となったところがあった。13日は千島近海の低気圧が発達しながら北東に進んだため、日本付近は冬型となり、中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨が降った。北陸や北海道では、強風となったところもあった。

本州南岸を低気圧が通過した後高気圧に覆われる(14日～16日)

14日から15日は、本州南岸の低気圧が前線を伴って北海道の東海上へ進み、南西諸島から東日本にかけて、雪や雨が降り、九州北部の一部では雷を伴った。沖縄や九州および四国では強風となったところがあった。16日は、日本付近は高気圧に覆われ、西日本から東日本にかけて概ね晴れた。オホーツク海の低気圧の影響で、東北地方の一部や北海道の一部で、雪や雨が降った。東北地方や北海道では強風となったところがあった。また、弱い気圧の谷の影響で、九州南部地方では雨が降った。

本州南岸を低気圧が通過し、西日本や東日本で雨(17日～18日)

17日から18日は、九州の南海上に発生した低気圧が前線を伴って千島近海へと進み、南西諸島から東日本にかけては雨が降った。北日本では雪や雨が降った。西日本から北日本にかけての太平洋側を中心に強風となったところがあった。

高気圧に覆われる(19日～23日)

19日は、西日本から北日本にかけて、高気圧に覆われて概ね晴れた。寒気の影響で、東北地方の一部や、北海道の日本海側で雪や雨が降った。また、湿った空気の影響で、南西諸島では雨が降った。20日は、日本海北部の低気圧が北海道を通過したため、東北地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨が降った。また、本州南岸の低気圧の影響で、関東の一部や、沖縄や九州の南部で、雨が降った。21日と22日は、日本付近は高気圧に覆われて概ね晴れた。湿った空気の影響で、関東や伊豆諸島の一部では雨が降り、伊豆諸島では暴風や強風となったところがあった。23日は、西日本から北日本は高気圧に覆われて概ね晴れたが、湿った空気の影響で、沖縄から東海地方にかけての太平洋側の一部で、雨が降った。伊豆諸島では強風となったところがあった。

日本海を低気圧が通過した後高気圧に覆われる(24日～27日)

24日は、日本海中部に中心をもつ低気圧が北東へ進み、寒冷前線が北日本を通過し、東北地方や北海道の一部で、雪や雨が降った。また、湿った空気の影響により、九州の南部から関東にかけての太平洋側の一部で雨が降った。25日は、オホーツク海に中心をもつ低気圧が発達し、次第に冬型が強まり、北陸から北の日本海側や北海道で、雪や雨が降った。伊豆諸島から北海道にかけて、

強風となったところがあった。26日は、北日本中心の冬型となり、北日本の日本海側で雪や雨が降った。北海道では強風となったところもあった。湿った空気の影響で、沖縄では雨が降ったところがあり、伊豆諸島では強風となったところがあった。27日は、黄海の前線上で発生した低気圧が東へ進み、沖縄の一部や西日本では雨が降った。また、日本海北部に発生した低気圧により、東日本の太平洋側や、北日本の一部で雪や雨が降った。

本州南岸を低気圧が通過(28日)

28日は、日本海西部の低気圧が前線とともに西日本を南下し、九州から東北南部にかけて雪や雨が降り、近畿の一部や東海地方の一部では大雨が降った。東海地方や伊豆諸島および関東では強風となったところもあった。また、上空の寒気の影響で、北日本の一部では雪や雨が降った。

3月

本州南岸を低気圧が通過した後冬型の気圧配置となる(1日～4日)

1日は、四国沖の低気圧が北東へ進み、四国から東北地方にかけての太平洋側で雪や雨が降った。その後、冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となり、九州から北海道の日本海側で雪や雨が降った。2日は、冬型となり、九州から北海道の日本海側で雪や雨が降り、九州では強風となったところがあった。関東東海上の低気圧が東へ進み、関東の太平洋側で雨が降った。また、釧路沖の低気圧により北海道の太平洋側で雪が降った。3日は、冬型が続き、九州から北海道にかけての日本海側で、雪や雨が降った。東北地方では強風となったところがあった。4日にかけても、冬型が続き、中国地方から北海道日本海側で雪や雨が降った。

高気圧に覆われた後、本州南岸を低気圧が通過する(5日～7日)

5日は、西日本から東日本にかけて、高気圧に覆われ、概ね晴れた。上空の寒気の影響で、北日本の一部では雪や雨が降った。6日は、前線が華南から東海沖へのび、前線上にある東シナ海の低気圧が四国沖へ進み、西日本で雨となった。また、上空の寒気の影響で、北日本の一部では雪や雨が降った。7日は、東シナ海から関東の東海上へのびる前線を伴って、東海沖の低気圧が北東へ進み、南西諸島から東日本にかけて雪や雨が降った。

冬型の気圧配置となる(8日～11日)

8日は、はじめ冬型で、中国地方から北海道にかけての日本海側で雪や雨が降った。その後、日本の東の低気圧が北東に進み、冬型は次第に弱まった。9日は、日本海中部の低気圧の影響で、西日本から北日本にかけての日本海側では雪や雨が降った。北陸の一部では雷を伴い、強風となったところもあった。10日は、冬型となり、近畿から北海道日本海側では雪や雨が降った。11日は、冬型が続き、中国地方から北海道にかけての日本海側では雪や雨が降った。北陸の一部では雷を伴った。

高気圧に覆われる(12日～13日)

12日は、西日本に中心をもつ高気圧に覆われ、九州北部から北海道にかけて、概ね晴れた。低気圧が東シナ海を北東に進み、沖縄から九州南部にかけて雨が降った。13日は、九州の南海上の低気圧の影響により、沖縄から九州南部にかけて雨が降った。また、沿海州から東に進む低気圧の影響により、北海道のオホーツク海側で雪や雨が降った。

低気圧の通過後、冬型の気圧配置となる(14日～17日)

14日は、日本海北部の低気圧からのびる前線が東へ進み、北日本を通過した。東北地方では暴風となったところがあった。北海道では雪や雨が降り、強風となったところもあった。また、九州の南海上の低気圧の影響で、九州で雨が降った。15日は、日本海西部の低気圧が東へ進み、中国地方から北海道にかけての日本海側では、雪や雨が降った。九州では強風となったところがあった。16日は、強い冬型となり、中国地方から北海道にかけて雪や雨となり、北陸の一部では雷を伴った。九州で

は暴風や強風となったところがあり、四国では強風となったところがあった。17日は、冬型が続き、中国地方から北海道の日本海側で雪や雨となった。中国地方の一部では雷を伴った。

高気圧に覆われる(18日～19日)

18日は、はじめ冬型で北陸から北海道にかけての日本海側で雪や雨となり、北海道では強風となったところがあったが、次第に高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れた。19日は、日本の南海上の高気圧に覆われ、南西諸島から東日本にかけて、概ね晴れた。上空の寒気の影響で、北日本の一部で雪や雨が降り、北海道では強風となったところがあった。

本州南岸を前線が通過(20日～22日)

20日は、華中から対馬海峡にのびる前線が東へ進み、前線上の黄海の低気圧が西日本から東日本を通過した。東北地方の一部と、西日本から東日本にかけて、雪や雨が降った。21日は、東シナ海から日本の東海上にのびる前線と、前線上にある、東海沖と日本の東海上の低気圧が東へ進んだ。北日本の一部と、西日本から東日本にかけて雪や雨が降った。22日は、沖縄本島付近から日本のはるか東にのびる前線と、前線上の東海沖の低気圧は東へ進んだ。南西諸島から関東甲信にかけて、雪や雨となり、九州では強風となったところがあった。

上空の寒気の影響を受ける(23日～25日)

23日は、上空の寒気の影響で、中国地方日本海側や東日本から北日本にかけての一部では、雪や雨が降った。24日は、上空の寒気の影響で、北海道の一部、および、北陸や東北地方では雪や雨が降った。25日は、四国沖の低気圧が前線を伴って関東沖へ進み、また、山陰沖の低気圧が能登沖へ進んだ。九州から北海道にかけて、雪や雨が降り、中国地方では強風となったところがあった。

冬型の気圧配置の後、高気圧に覆われる(26日～31日)

26日は、三陸沖の低気圧が前線を伴って東へ進んだ後、冬型となった。九州北部から北陸にかけての日本海側と、東北地方で雪や雨が降った。関東では強風となったところがあった。27日は、はじめは冬型で、北海道の一部と、近畿から東北地方の日本海側で、雪や雨が降った、その後、次第に高気圧に覆われた。28日は、日本付近は高気圧に覆われ、南西諸島から東日本にかけて、および、北海道では、概ね晴れた。日本海中部の低気圧の影響で、東北地方の一部では雪や雨が降った。29日は、上空の寒気の影響で、九州の一部から近畿の一部にかけて、および、東北地方の一部で、雪や雨が降った。九州の一部では雷を伴った。30日は、東シナ海の高気圧に覆われ、南西諸島から西日本にかけては概ね晴れたが、東海沖および日本海北部の、上空の寒気を伴った低気圧により、東日本の一部から北日本の一部にかけて雨が降り、関東の一部では雷を伴った。31日は、東シナ海の高気圧に覆われ、南西諸島から西日本にかけては概ね晴れた。関東の東海上および日本海北部の、上空に寒気を伴った低気圧により、東日本の一部と東北地方では雪や雨が降り、北陸の一部では雷を伴った。

4月

高気圧に覆われた後、冬型の気圧配置となる(1日～3日)

1日は、低気圧が沿海州からサハリン付近へ進み、それに伴う日本海中部へのびる前線が北日本へ進んだ。北海道の日本海側では雪や雨が降った。その他の地方は、高気圧に覆われ、概ね晴れた。2日は、サハリン付近の低気圧からのびる前線が東へ進み、北日本を通過した後、北日本を中心とした冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となった。東北地方から北海道の日本海側では雪や雨が降り、北海道では強風となったところがあった。その他の地方は、上空の寒気の影響で曇りとなったところが多かった。3日は、北日本を中心とした冬型となり、北海道の日本海側で雪や雨が降った。その他の地方では、上空の寒気の影響で曇りとなったところが多かった。

高気圧に覆われる(4日～7日)

4日は、気圧の谷の影響で、北日本の一部で雪や雨が降った。また、沖縄本島付近から日本の東海上へのびる前線の影響で、南西諸島は雨が降った。その他の地方は、高気圧に覆われて概ね晴れた。5日から6日にかけては、高気圧に覆われ、全国的に概ね晴れた。7日は、気圧の谷の影響で、全国的に曇りとなったところが多かった。また、中国東北区の低気圧が前線を伴って東に進んだため、北海道では強風となったところがあった。

前線や低気圧が日本付近を通過(8日～11日)

8日は、オホーツク海の低気圧から東シナ海へのびる前線が東へ進み、西日本から北日本を通過した。西日本と、北陸から北日本日本海側にかけて雨が降り、四国では大雨が降ったところもあった。9日は、九州付近から日本の東海上へのびる前線が東へ進み、四国と、近畿から東北地方にかけて、雨が降った。10日は、華中から高気圧が張り出し、関東の一部では曇りとなった他は、全国的に概ね晴れた。11日は、上空に寒気を伴った低気圧の影響で、山陰から北陸にかけてと、関東から北海道にかけては雨が降り、関東の一部では雷を伴った。

高気圧に覆われる(12日～15日)

12日は、高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れた。13日は、日本海北部の低気圧の影響で、北海道の一部で雨が降ったが、その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れた。14日は、高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れた。15日は、華中から東シナ海にのびる前線が東へ進み、九州を通り本州南岸へ達した。九州南部地方と、中国地方から東海地方にかけて雨が降った。また、日本海中部に発生した低気圧が東へ進み、前線が北海道にかかり、東北地方の一部では雨が降った。

低気圧が本州南岸を通過(16日～20日)

16日は、日本海北部の低気圧から日本海西部にのびる前線が東へ進み、西日本から北日本を通過した。北陸と、東北地方から北海道では雨や雪が降り、北陸や東北地方の一部では雷を伴った。また、東北地方と北海道では強風となったところがあった。華中から本州南岸にのびる前線が九州南部地方を南下したため、沖縄・奄美および近畿から関東にかけての太平洋側では、雨が降った。17日は、網走沖の低気圧により、北海道の一部では雪や雨が降り、北日本では強風となったところがあった。また、東シナ海から関東の東海上へのびる前線が南下し、沖縄を通過したため、南西諸島では雨が降った。18日は、寒気を伴った低気圧が日本海西部を東へ進んだ。西日本から東日本を中心に雨が降り、西日本の一部では雷を伴った。19日は、山陰沖や、東海沖の寒気を伴った低気圧が北東へ進んだ。九州から東北地方にかけて雨や雪が降り、西日本から東日本にかけての一部では雷を伴った。四国では暴風となったところがあった。20日は、日本付近は弱い冬型となり、中国地方の日本海側から東北地方にかけて、雨や雪が降った。

高気圧に覆われた後、低気圧が日本付近を通過(21日～25日)

21日は、上空の寒気の影響で、関東の一部や北日本の一部では雨や雪が降った。その他の地方は、高気圧に覆われて概ね晴れた。22日は、黄海の低気圧が日本海西部へ進み、伴う前線が九州の西海上から日本海中部へかかり、西日本を中心に雨が降った。23日は、日本海中部の低気圧が北東へ進み、これからのびる前線が西日本から北日本を通過した。また、華南から日本の南海上へのびる前線が沖縄を通過した。全国的に雨や雪が降り、四国や東海地方、関東および北海道では大雨が降ったところもあった。四国では暴風となったところがあり、北海道では強風となったところがあった。24日は、日本海北部の低気圧から日本の南海上へのびる前線が、東へ進んだ。九州の一部および山陰と東日本では、雨が降り、近畿の一部と関東の一部では雷を伴った。また、北海道では強風となったところがあった。25日は、沿海州の寒気を伴った低気圧の影響で、西日本から北日本にかけては、雨が降り、雷を伴ったところもあった。その他の地方は、高気圧に覆われて概ね晴れた。

前線や低気圧が日本付近を通過(26日～30日)

26日は、沖縄本島付近に前線が発生した。沖縄・奄美では雨が降り、大雨となったところもあった。また、黄海の低気圧が朝鮮半島へ進み、これからのびる前線が北日本に達した。山陰から北陸、および、北日本の一部で、雨が降った。27日は、朝鮮半島の低気圧が東へ進み、これからのびる前線が西日本から北日本を通過した。西日本から東日本にかけて雨が降り、西日本では大雨が降ったところや雷を伴ったところがあった。四国では暴風や強風となったところがあった。また、沖縄本島付近の前線が日本の南に進み、沖縄・奄美の一部では雨が降り、雷を伴ったところもあった。28日は、日本の南から日本の東へのびる前線と、前線を伴った日本海中部の低気圧が、ともに北東へ進んだ。西日本から北日本にかけて雨が降り、北陸では雷を伴ったところもあった。北日本では強風となったところがあった。29日は、上空の寒気の影響により、北日本の一部で雨が降り、雷を伴ったところもあった。北海道では強風となったところがあった。その他の地方は、高気圧に覆われておおむね晴れた。30日は、華北から日本海にのびる前線が東へ進み、北日本を通過した。北陸から東北地方にかけて雨が降り、北陸では雷を伴ったところもあった。北海道では強風となったところがあった。また、華南から沖縄本島付近にかけて発生した前線が停滞し、沖縄・奄美から中国地方を中心に雨が降り、中国地方や近畿では雷を伴ったところもあった。

5月

梅雨前線が停滞し、沖縄・奄美で大雨(1日～8日)

1日は、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞した。また、日本海中部の低気圧は北東へ進み、九州の西海上へのびる前線と三陸沖にのびる前線が、日本を通過した。全国的に雨が降り、奄美では大雨となったところもあった。2日は、華中から日本の南海上にのびる前線が停滞し、沖縄・奄美では雨が降った。また、日本海北部の低気圧が北海道を通過し、千島近海へ進んだ。北日本では雨や雪が降り、暴風や強風となったところがあった。その他の地方は九州の西海上の高気圧に覆われ概ね晴れた。3日は、千島近海の低気圧が東へ進み、北海道の一部では雨や雪が降った。また、華南から日本の南海上にのびる前線が日本の東海上へ進み、前線上の低気圧が九州の南海上から関東の東海上へ進んだ。南西諸島と、九州から近畿にかけての太平洋側、および、東日本の太平洋側では雨が降った。

4日は、東シナ海から日本の東海上にのびる前線が停滞し、沖縄・奄美では雨が降った。また、日本海中部と関東の東海上の低気圧の影響で、関東や東北地方の太平洋側や、北海道の一部で雨が降り、東北地方では雷を伴ったところもあった。5日は、華南から日本の南海上にのびる前線が停滞したため、沖縄・奄美から九州南部地方にかけて雨が降った。九州から北海道にかけての日本海側は、日本海中部の高気圧に覆われ概ね晴れた。6日は、華南から日本の南海上にのびる前線が北上し、前線上の九州の南海上に低気圧が発生した。沖縄・奄美と九州から近畿にかけての太平洋側では雨が降り、奄美の一部では大雨となった。7日は、華南から日本の南海上にのびる前線上の低気圧が、四国沖から三陸沖へ進んだ。また、別の低気圧が日本海中部から北東へ進んだ。全国的に雨が降り、中国地方や北陸では雷を伴ったところもあった。8日は、三陸沖の低気圧が、東シナ海と日本の東海上へのびる前線を伴って北東へ進んだ。また、サハリンの西海上の低気圧が北東へ進んだ。このため、九州南部地方と、北陸から北海道にかけて雨が降り、北陸から東北地方にかけての一部では雷を伴った。その他の地方は日本海西部の高気圧に覆われ概ね晴れた。

前線と台風第1号の影響を受け、沖縄・奄美から東日本で大雨(9日～13日)

9日は、華北から朝鮮半島にのびる前線上に発生した低気圧が日本海西部を東へ進み、前線が東北地方を通過した。このため、東北地方と北海道の一部で雨が降った。また、湿った空気の影響で、沖縄の一部では雨が降った。その他の地方は日本の南海上の高気圧に覆われ概ね晴れた。10日は、華北から三陸沖へのびる前線が中国地方から東海道沖まで南下した。また、台風第1号が沖縄の南海上を北東へ進んだ。このため、全国的に雨が降り、沖縄・奄美から東日本にかけて大雨となったところがあった。西日本の一部では強風となった。11日は、前線が西日本にほぼ停滞し、台風第1号は沖縄の南海上を北東へ進んだ。この影響で、沖縄・奄美から東日本にかけて雨が降り、西日本

から東日本にかけての一部では大雨となった。12日は、台風第1号が熱帯低気圧に変わり、華南から関東の東海上へのびる前線とともに三陸沖へ進んだ。また、対馬海峡の低気圧が北東へ進んだ。このため、沖縄から東北地方にかけて雨が降った。13日は、三陸沖の低気圧が、華南から日本の東海上へのびる前線を伴って北海道の東海上へ進んだ。沖縄・奄美と、近畿から北海道にかけての一部で雨が降り、北日本では強風となったところがあった。

梅雨前線が停滞、沖縄・奄美で大雨(14日～19日)

14日は、華南から日本の東海上へのびる前線が停滞し、沖縄・奄美では雨が降った。また、低気圧が日本海北部から北海道の東海上へ進んだため、北日本で雨や雪が降った。その他の地方は東シナ海の高気圧に覆われ、西日本を中心に概ね晴れた。15日は、華南から日本の東海上へのびる前線が停滞し、沖縄・奄美では雨が降った。また、日本海西部の低気圧が北東へ進み、北日本の一部では雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。16日は、華南から日本の東海上へのびる前線が停滞し、沖縄・奄美では雨が降り、一部では大雨となった。雷を伴ったところもあった。また、日本海北部の低気圧の影響により、北海道では雨が降り、一部で雷を伴った。17日は、華南から日本の東海上へのびる前線上の低気圧が、関東の東海上から北東へ進んだ。また、上空に寒気を伴った気圧の谷が本州付近を通過した。このため、沖縄・奄美と、西日本から北日本の一部では雨が降り、西日本から東日本では雷を伴ったところがあった。18日から19日にかけて、華南から日本の東海上へのびる前線がほぼ停滞し、沖縄・奄美では雨が降った。また、気圧の谷の影響で、北海道の一部で雨が降った。その他の地方は日本の東海上の高気圧に覆われ概ね晴れた。

前線が北日本から沖縄・奄美へ南下、沖縄・奄美や伊豆諸島で大雨(20日～27日)

20日は、華北から三陸沖へのびる前線が停滞し、北海道では雨が降った。また、湿った空気の影響で、沖縄・奄美では雨が降り、雷を伴ったところもあった。その他の地方は日本の東海上の高気圧に覆われ概ね晴れた。21日は、華北から三陸沖へのびる前線が本州を南下した。このため、西日本の一部と北日本では、雨が降った。また、湿った空気の影響で、沖縄・奄美では雨が降った。22日は、華中から日本の東海上へのびる前線が、本州付近から本州南岸付近まで南下した。このため、九州から東北地方を中心に雨が降った。23日は、華中から日本の東海上へのびる前線上の低気圧が、九州の南海上から本州南岸へ進んだ。このため、沖縄・奄美から東日本にかけて雨が降った。沖縄や伊豆諸島では大雨が降り、沖縄では雷を伴ったところもあった。24日から25日にかけて、東シナ海から日本の東海上へのびる前線が停滞し、沖縄・奄美から東日本にかけて雨が降り、沖縄・奄美の一部で大雨となった。雷を伴ったところもあった。伊豆諸島の一部では暴風となった。26日から27日にかけて、東シナ海から日本の東海上へのびる前線上の低気圧が、九州の南海上から北東へ進んだ。沖縄・奄美から東日本にかけて雨が降り、九州の一部では大雨となった。

台風第2号の影響で、沖縄・奄美から東日本で大雨(28日～29日)

28日は、台風第2号が沖縄の南海上から九州の南海上へ進んだ。また、東シナ海から関東の東海上へのびる前線が北へ進んだ。沖縄・奄美から東日本にかけて雨が降り、一部では大雨となった。沖縄・奄美では暴風や強風となったところもあった。29日は、台風第2号が奄美大島付近から四国沖へ進み、温帯低気圧となり、九州の南海上から関東の東海上へのびる前線を伴って東へ進んだ。全国的に雨が降り、沖縄・奄美から東日本にかけて、大雨となったところや、暴風や強風となったところがあった。

低気圧の影響で、西日本や北日本で大雨(30日～31日)

30日は、東海道沖の低気圧が東へ進んだ。近畿から東北地方にかけて雨が降り、一部で大雨となった。関東の一部では雷を伴い、関東や東北地方では暴風や強風となったところもあった。31日は、関東の東海上の低気圧が東に進んだ。東北地方の一部では雨が降り、関東では暴風となったところもあった。また、気圧の谷の影響で、山陰および東海地方で雨が降った。

6月

前線の停滞と気圧の谷の影響で、沖縄・奄美から東日本で雨(1日～3日)

1日は、東シナ海から日本の南海上に前線が停滞し、南西諸島で雨となった。また、気圧の谷の影響で西日本を中心に雨が降り、一部で大雨となったほか、雷を伴ったところがあった。2日は、東シナ海から日本の南海上に前線が停滞し、南西諸島で雨となり、一部で大雨となった。また、湿った空気の影響で西日本から東北地方にかけて雨が降り、雷を伴ったところがあった。3日は、東シナ海から日本の東海上にのびる前線上に低気圧が発生して東に進み、南西諸島で雨が降り、一部で雷を伴った。その他の地方は、高気圧に覆われて晴れたところが多かった。

前線が停滞し、沖縄・奄美で大雨(4日～9日)

4日は、西日本を中心に高気圧に覆われて概ね晴れた。日本海北部に低気圧が進んだ影響で、北海道で雨が降り、一部で雷を伴った。5日は、華中から日本の東海上に前線が停滞し、沖縄から九州にかけて雨が降り、一部で大雨となった。また、上空の寒気の影響により、東日本で雨が降り、雷を伴ったところがあった。6日は、引き続き華中から日本の東海上に前線が停滞し、九州で雨が降り、一部で雷を伴った。また、上空の寒気の影響により、北海道で雨が降った。その他の地方は概ね晴れた。7日は、華中から日本の東海上にのびる前線上の低気圧が、九州の西海上から東海沖へ進み、九州から四国を中心に雨が降り、九州の一部では大雨となった。8日は、東シナ海から日本の南海上に前線が停滞した。西日本から東日本の太平洋側を中心に雨が降り、南西諸島の一部では雷を伴った。9日は、上空の寒気の影響で、東日本から北日本にかけての一部で雨が降り、雷を伴ったところがあった。

前線が停滞し、西日本から東日本で大雨(10日～22日)

10日は、華中の前線が西日本へのびた。西日本を中心に雨が降り、雷を伴ったところがあった。九州の一部では大雨や強風となった。また、気圧の谷の影響により、11日にかけて北海道で雨が降り、一部で雷を伴った。11日から12日にかけて、前線が華中から本州の太平洋側をとって日本の東海上に前線が停滞し、西日本から東日本で雨が降り、一部で雷を伴い、強風となったところがあった。九州から関東にかけての太平洋側で大雨となったところがあった。13日は、華中から関東の東海上に前線が停滞し、南西諸島と東日本を中心に雨が降り、一部で大雨となった。14日は、華中から日本の東海上にのびる前線が西日本へ北上し、南西諸島で雨が降った。また、上空の寒気の影響で、東日本から北日本で雨が降った。15日は、華中から日本の東海上の前線が西日本へ北上し、九州を中心に雨が降り、一部で大雨となった。16日から17日にかけて、華中から日本の東海上へのびる前線上の低気圧が、九州の西海上から日本の東海上へ進んだ。西日本から東日本にかけての太平洋側で雨が降り、九州の一部で大雨となり、雷を伴ったところがあった。18日から20日にかけて、華中から九州をとって日本の東海上へ前線が停滞し、西日本から東日本にかけての太平洋側で雨が降った。九州の一部で大雨となり、雷を伴ったところがあった。21日は、九州の西海上から九州をとおり関東の東海上にのびる前線が東へ進んだ。北海道を除く広い範囲で雨が降り、一部で雷を伴った。22日は、華北から山陰沖の前線が北上した。日本海側を中心に雨が降り、一部で雷を伴った。その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れた。

前線と台風第5号の影響により、沖縄・奄美から東北地方で大雨(23日～27日)

23日は、華北から東北地方をとって三陸沖に前線が停滞し、北陸から東北地方にかけての日本海側を中心に雨が降り、一部で大雨となった。北陸では雷を伴ったところがあった。24日は、華北から東北地方をとって北海道の東海上へのびる前線が南下した。前線上の低気圧は釧路沖から千島の東海上へ進んだ。山陰から北陸と、北日本では雨が降り、雷を伴ったところもあった。東北地方の一部で大雨が降り、沖縄・奄美では台風第5号の影響で暴風や強風となったほか、雷を伴ったところがあった。25日は、台風第5号が東シナ海を北上した。また、黄海から北陸をとおり千島の東海上に前線が停滞した。南西諸島から四国にかけてと、東日本を中心に雨が降り、一部で雷を伴い、大雨となったところがあった。沖縄・奄美の一部では暴風や強風となった。26日は、台風第5号が黄海

を北上した。また、日本海西部から関東甲信をとおって関東の東海上に前線が停滞した。西日本と、東北地方を中心に雨が降り、一部で雷を伴った。西日本では大雨となったところがあった。27日は、九州の西海上から東北地方をとおって関東の東海上に前線が停滞した。西日本から北日本にかけての一部で雨が降り、西日本では大雨となったところがあった。

前線が停滞し、東北地方を中心に雨(28日～30日)

28日は、華中から東北地方をとおって関東の東海上に前線が停滞した。本州の日本海側と北日本で雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。29日は、華北から日本海中部に前線が停滞し、北陸を中心に雨が降り、雷を伴ったところもあった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。30日は、華北から三陸沖に前線が停滞し、東北地方で雨が降り、一部で雷を伴った。大気の状態が不安定となり、関東甲信で雨が降り、一部で雷を伴った。また、湿った空気の影響で、九州から山陰にかけて雨が降り、一部で雷を伴った。

7月

上空の寒気の影響で、九州南部で大雨(1日～2日)

1日は、寒気を伴った気圧の谷の影響で、南西諸島から東北地方にかけて雨が降り、東日本の一部で雷を伴った。九州では大雨となったところもあった。2日は、気圧の谷の影響で、南西諸島から西日本にかけての一部で、雨が降った。その他の地方は曇りや晴れとなった。

前線が停滞し、西日本で大雨(3日～7日)

3日は、華北から日本海西部にのびる前線が東日本へ達し、前線上の低気圧が黄海から日本海中部へ進んだ。西日本から北日本にかけての一部で雨が降った。4日は、華北から三陸沖へのびる前線が本州を南下し、前線上の低気圧が日本海中部から北東へ進んだ。南西諸島と関東の沿岸部を除く広い範囲で雨が降り、一部で雷を伴った。西日本や北陸、北海道では大雨となったところもあった。5日は、華北から関東の東海上に前線が停滞し、日本海北部の低気圧はオホーツク海へ進んだ。九州の南部から四国にかけてと、近畿地方から東北地方を中心に雨が降り、東海地方から関東にかけての一部で雷を伴った。九州の南部では大雨となったところがあった。6日は、華北から四国沖の前線が北上し、西日本に達した。西日本では雨が降り、九州では大雨となったところがあった。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れた。7日は、華北から関東の東海上の前線が北上した。西日本を中心に雨が降り、西日本の日本海側では一部で大雨となった。その他の地方は高気圧に覆われ晴れた。

前線が北日本に停滞、その他の地方は高気圧に覆われる(8日～16日)

8日は、華南から北海道の東海上に前線が停滞し、東日本から北日本を中心に雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われ晴れた。9日は、華北から日本海北部の前線が東へ進み、北日本に達した。東日本から北日本にかけての一部で雨が降り、北陸地方の一部では雷を伴った。10日は、華北から釧路沖の前線が停滞し、北海道を中心に雨が降った。また、大気の状態が不安定となり、西日本や東日本の一部で雨が降り、雷を伴ったところもあった。その他の地方は高気圧に覆われ、概ね晴れた。11日は、華北から北海道の前線が停滞した。全国的に、雨や雷雨となったところがあった。12日は、大気の状態が不安定となり、全国的に、雨が降ったところや雷を伴ったところがあった。13日は、華北から日本海西部の前線が北海道に達した。九州や北海道を中心に雨が降り、九州の一部と、東北地方の一部で雷を伴った。その他の地方は、高気圧に覆われて概ね晴れた。14日から16日にかけて、華北から日本の東海上に前線が停滞した。北海道を中心に雨が降り、一部で大雨となった。その他の地方は、高気圧に覆われて概ね晴れた。

台風第6号の影響を受け、九州から東北地方にかけて大雨や暴風(17日～23日)

17日は、華北から北日本を通して、日本の東海上に前線が停滞し、北海道を中心に雨が降った。また、台風第6号が日本の南海上を北西に進み、台風の雲域が西日本にかかり、西日本の太平洋側

で雨が降った。18日は、台風第6号は四国沖を北に進み、台風の雲域が西日本にかかった。九州から東海にかけての太平洋側を中心に雨が降り、一部で大雨となった。九州や四国では暴風や強風となったところもあった。19日は、台風第6号は四国沖を北東に進み、23時頃に徳島県南部に上陸した。台風の雲域が西日本から東北地方にかかり、九州から関東の太平洋側を中心に雨が降り、一部で大雨となった。また、九州から東海地方にかけての一部で暴風や強風となった。20日は、台風第6号は10時前に潮岬付近を通過した後、東へ進み、台風の雲域が西日本から東北地方にかかった。四国から東北にかけての太平洋側を中心に雨が降り、一部で大雨となり、暴風や強風となったところもあった。21日は、台風第6号は、日本の南海上を南東へ進んだ。西日本と東日本の一部で雨が降り、伊豆諸島の一部では暴風や強風となった。22日は、台風第6号は、関東の東海上を北東へ進み、伊豆諸島の一部では強風となった。また、暖かく湿った空気の影響で、西日本から東日本の一部で雨が降った。23日は、台風第6号が日本の東海上を北東へ進み、東日本から北日本にかけての一部で雨が降った。

上空の寒気の影響を受ける(24日～26日)

24日から26日にかけて、上空の寒気の影響と、高気圧縁辺からの暖かく湿った空気の流れ込みにより、大気の状態が不安定となった。九州から東北地方にかけての一部で雨が降り、雷を伴ったところがあった。九州や東海地方の一部では大雨となった。

前線が停滞し、新潟・福島を中心に大雨(27日～31日)

27日は、上空の寒気の影響と、高気圧縁辺からの暖かく湿った空気の流れ込みにより、中国地方から東北地方にかけて雨が降り、雷を伴ったところがあった。28日から30日にかけて、朝鮮半島から東北地方を通して日本の東海上にのびる前線がほぼ停滞し、前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。東日本から東北地方を中心に雨が降り、新潟県、福島県を中心に大雨となった。また、西日本から東日本にかけての一部で雷を伴った。31日は、上空の寒気の影響と、高気圧縁辺からの暖かく湿った空気の流れ込みにより、西日本から東日本を中心に雨が降り、関東の一部で雷を伴った。近畿や東海地方の一部では大雨となった。

8月

湿った空気が流れ込み、大気不安定(1日～2日)

1日から2日にかけて、高気圧の縁辺から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。九州から北海道にかけての一部で雨が降り、西日本および伊豆諸島の一部では大雨となった。九州では雷を伴ったところもあった。

台風第9号の影響を受け、南西諸島から東海地方にかけて大雨、暴風(3日～6日)

3日は、台風第9号が南大東島の南東海上を北西に進んだ。南西諸島では雨が降り、暴風や強風となったところがあった。また、高気圧の縁辺から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となったため、西日本の太平洋側の一部と、東日本の一部で雨が降った。4日は、台風第9号が沖縄の南東海上を西に進んだ。また、熱帯低気圧が東海沖を西に進んだ。台風や熱帯低気圧から流れ込む暖かく湿った空気の影響により、沖縄から東北地方にかけての太平洋側の一部で雨が降った。また、南西諸島では暴風や強風となったところがあった。5日は、台風第9号が沖縄の南海上を西北西に進み、22時頃久米島付近を通過した。台風本体の雨雲と、台風から流れ込む暖かく湿った空気の影響により、沖縄から関東にかけての太平洋側を中心に雨が降り、雷を伴ったところや、大雨となったところがあった。また、南西諸島では暴風や強風となったところがあった。6日は、台風第9号が東シナ海を北西に進んだ。沖縄から四国にかけて雨や雷雨となり、一部で大雨となった。南西諸島では暴風や強風となったところがあった。その他の地方は、高気圧の縁辺から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となって、一部で雨が降り、雷を伴ったところもあった。

高気圧に覆われる(7日～13日)

7日から8日にかけて、四国、中国および近畿地方では高気圧に覆われて概ね晴れたが、その他の地方では、高気圧の縁辺から暖かく湿った空気が流れ込み、大気が不安定となったため、一部で雨が降り、雷を伴ったところもあった。9日は、日本付近は高気圧に覆われて概ね晴れたが、大気が不安定となった。西日本から東日本にかけての山沿いを中心に雨が降り、雷を伴ったところもあった。10日から11日にかけて、高気圧の縁辺から暖かく湿った空気が流れ込み、大気が不安定となり、中国地方から北海道にかけて雨が降り、雷を伴ったところや大雨となったところもあった。その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れた。12日は、大気の状態が不安定となり、西日本や関東の一部で雨や雷雨となった。その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れた。13日は、高気圧の縁辺から暖かく湿った空気が流れ込み、大気が不安定となったため、九州から関東甲信を中心に雨が降り、雷を伴ったところもあった。

前線の影響で、全国各地で大雨(14日～26日)

14日から16日にかけて、華北から北海道を通り北海道の東海上にのびる前線がほぼ停滞した。北海道で雨が降り、一部で大雨となった。また、高気圧の縁辺から暖かく湿った空気が流れ込み、大気が不安定となったため、九州から東北地方にかけて雨が降り、雷を伴ったところもあった。九州の一部では大雨となった。17日から18日にかけて、華北から東北地方を通り千島の東海上にのびる前線がほぼ停滞し、湿った空気が西日本から北日本にかけて流れ込んだ。西日本から東日本の日本海側と、北日本を中心に雨が降り、一部で大雨となり、雷を伴ったところもあった。19日は、華中から本州を通して日本の東海上にのびる前線の影響で、本州を中心に雨が降り、北陸や関東地方の一部で大雨となった。また、雷を伴ったところもあった。20日から22日にかけて、華中から九州、四国を通して日本の東海上にのびる前線が停滞し、また、寒気を伴った気圧の谷の影響を受けた。全国的に雨が降り、一部で大雨となり、雷を伴ったところもあった。23日から24日にかけて、華中から本州を通して千島の東海上にのびる前線が停滞した。全国的に雨が降り、雷を伴ったところもあった。西日本や東日本の一部では大雨となった。25日から26日にかけて、華中から東北地方を通して千島の東海上にのびる前線が南下し、上空の寒気の影響をうけた。全国的に雨が降り、一部で大雨となり、雷を伴ったところもあった。

高気圧に覆われる(27日～28日)

27日は、台風から流れ込む湿った空気の影響で、西日本から東日本にかけての太平洋側の一部で雨が降り、雷を伴ったところもあった。その他の地方は、高気圧に覆われ概ね晴れた。28日は、沖縄の南海上を北北西に進む台風から流れ込む湿った空気の影響で、沖縄で雨が降った。その他の地方は、山沿いを中心に雨となったほかは、高気圧に覆われ概ね晴れた。

台風第12号の影響を受ける(29日～31日)

29日は、台風第12号が小笠原近海でほとんど停滞したため、小笠原諸島で大雨となった。また、台湾の西海上を西北西に進む台風から流れ込む湿った空気の影響で、沖縄で雨が降った。その他の地方は、山沿いを中心に雨となったほかは、高気圧に覆われ概ね晴れた。30日は、台風第12号が小笠原近海を北上したため、小笠原諸島で大雨となった。その他の地方は、高気圧に覆われ概ね晴れた。31日は、日本の南海上を西に進む台風第12号から流れ込む湿った空気の影響で、近畿から関東甲信にかけて雨が降り、一部で大雨となった。また、上空の寒気の影響により北日本の一部で雨が降り、雷を伴ったところもあった。

9月

台風第12号と前線の影響を受け、全国各地で大雨や暴風(1日～7日)

1日は、台風第12号が日本の南海上を北西に進んだ。本州を中心に雨が降り、一部で雷を伴った。また、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となったところがあった。2日は、台風第12号が四国の南海上を北西に進んだ。九州から東北地方にかけて雨が降り、雷を伴ったところや、大雨とな

ったところがあった。九州から東海地方にかけての一部で、暴風や強風となった。また、日本海中部から千島近海にのびる前線の影響で、北海道で雨が降り、一部で大雨となった。3日は、台風第12号は四国の南海上を北上し、10時頃に高知県東部に上陸、18時過ぎに岡山県南部に再上陸し、その後も北上を続けた。九州から東北地方にかけて雨が降り、一部で大雨となった。九州から東海地方にかけて、暴風や強風となったところがあった。また、日本海中部からオホーツク海にのびる前線の影響で、北海道で雨が降った。4日は、台風第12号は山陰沖を北へ進んだ。西日本から東日本を中心に雨が降り、雷を伴ったところや、大雨となったところがあった。また、日本海北部から釧路沖にかけての前線の影響で、北海道で雨が降った。5日は、台風第12号は、日本海を北上し、15時に日本海中部で温帯低気圧に変わり、さらに北上した。西日本から北日本にかけて雨が降り、雷を伴ったところもあった。北海道の一部では大雨となった。6日は、台風第12号から変わった温帯低気圧が日本海北部でほとんど停滞し、また、台風第13号が日本の東海上を北上した。東日本から北日本にかけて雨が降り、北海道の一部では大雨となった。7日は、日本海北部の低気圧と千島近海の低気圧がそれぞれ北に進んだ。東北地方から北海道にかけて雨が降り、一部で雷を伴った。

台風第14号と前線の影響を受け、北日本で大雨(8日～14日)

8日は、高気圧に覆われて全国的に概ね晴れた。9日は、台風第14号が熱帯低気圧に変わり、九州の南海上を北西に進んだため、九州で雨が降った。また、気圧の谷の影響により、北海道で雨が降った。その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れた。10日は、熱帯低気圧が奄美群島付近を北西に進み、南西諸島から九州にかけて雨が降った。また、華中から秋田県沖にのびる前線の影響で、北日本で雨が降り、一部で雷を伴った。11日は、熱帯低気圧が九州の西海上を北西に進み、南西諸島から東日本の太平洋側にかけての一部で雨が降った。また、華北から秋田県沖にのびる前線の影響で、北日本の一部で雨が降った。12日は、日本の南海上にある熱帯低気圧から暖かく湿った空気が流れ込み、南西諸島から紀伊半島にかけての太平洋側で雨が降った。また、黄海から三陸沖にのびる前線の影響で、北日本で雨が降り、一部で雷を伴った。13日から14日にかけて、沖縄の南海上と日本の南海上にある熱帯低気圧や台風第15号から流れ込む暖かく湿った空気の影響で、南西諸島で雨が降り、雷を伴ったところもあった。また、朝鮮半島から日本の東海上にのびる前線の影響で、北日本で雨が降り、一部で大雨となった。

台風第15号と前線の影響を受け、全国各地で大雨や暴風(15日～22日)

15日は、台風第15号が南大東島の東海上を北西へ進み、大東島地方に接近した。南西諸島から紀伊半島にかけての太平洋側で雨が降った。また、華北から釧路沖にのびる前線の影響で、北海道で雨が降った。16日は、台風第15号が沖縄の南東海上を北西へ進み、沖縄本島近海へ進んだ。台風から流れ込む暖かく湿った空気の影響で、西日本を中心に雨が降り、一部で大雨となった。また、華北から釧路沖にのびる前線の影響で、北海道で雨が降った。17日は、台風第15号が沖縄の南東海上を南下し、引き続き沖縄本島近海にとどまった。台風の東側をまわる湿った空気が流れ込んだため、西日本から東日本にかけて雨が降り、雷を伴ったところや、大雨となったところがあった。また、日本海から釧路沖にのびる前線に向かって台風からの湿った空気が流れ込み、北日本で雨が降った。18日は、台風第15号が南大東島の西海上を北上した。西日本で雨が降り、一部で大雨となった。また、対馬海峡から北海道の東海上にのびる前線に向かって台風からの湿った空気が流れ込み、北日本で雨が降り、一部で大雨となった。19日は、台風第15号が南大東島の西海上を北東へ進み、奄美群島の近海に進んだ。また、対馬海峡から日本の東海上にのびる前線に向かって台風からの湿った空気が流れ込んだ。沖縄・奄美地方から東北地方にかけて雨が降り、雷を伴ったところや、大雨となったところがあった。沖縄・奄美地方では強風となったところがあった。20日は、台風第15号が種子島の南東海上を北東へ進み、足摺岬の南海上に進んだ。また、瀬戸内海付近から日本の東海上にのびる前線に向かって台風からの湿った空気が流れ込んだ。沖縄・奄美地方から東北地方にかけて雨が降り、雷を伴ったところや、大雨となったところがあった。西日本では強風となったところがあった。21日は、台風第15号が東海沖を北東に進み、14時頃に静岡県浜松市付近に上陸した後、三陸沖に進んだ。西日本から北日本にかけて雨が降り、雷を伴ったところや、大雨とな

ったところがあった。また、九州から東北地方にかけての一部で暴風や強風となった。22日は、台風第15号が釧路沖を北東に進み、15時に温帯低気圧となった。西日本から北日本にかけて雨が降り、北陸の一部では大雨となった。また、北海道の一部で暴風や強風となった。

高気圧縁辺の暖かい空気が流れ込み、南西諸島や東海地方で大雨(23日～29日)

23日は、上空の寒気の影響で、東日本から北日本にかけての一部で雨が降り、雷を伴ったところがあった。その他の地方は、華北に中心をもつ高気圧に覆われて概ね晴れた。24日は、日本海に中心をもつ高気圧に覆われて、概ね晴れた。25日は、北海道の東海上に中心をもつ高気圧に覆われて概ね晴れたが、高気圧縁辺の暖かい空気が流れ込んだ沖縄から東海地方にかけての太平洋側では大雨となったところがあった。26日は、奄美大島付近から日本の東海上にのびる前線の影響で、南西諸島から東日本にかけての太平洋側で雨が降り、南西諸島の一部で大雨となった。27日は、奄美大島付近から日本の東海上にのびる前線の影響で、南西諸島から東日本にかけての太平洋側で雨が降り、九州の一部で大雨となった。また、オホーツク海の低気圧から網走沖にのびる前線の影響で、北海道の一部で雨が降った。その他の地方は、日本海中部に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。28日は、北海道の東海上に中心を持つ高気圧に広く覆われて全国的に概ね晴れた。29日は、黄海の低気圧が日本海西部に進み、伴う前線が九州から北陸に進んだため、九州から山陰にかけて雨が降った。その他の地方は、四国の南海上に中心をもつ高気圧に覆われて概ね晴れた。

低気圧の影響を受ける(30日)

30日は、日本海西部と日本海北部の低気圧がそれぞれ前線を伴って東に進んだ。東海地方、関東を除く地方で雨が降り、北海道の一部で強風となった。

10月

冬型の気圧配置となる(1日～2日)

1日は、冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨が降った。北海道では強風となったところもあった。2日は、サハリンの西海上の低気圧が東に進み、前線が北日本を通過した。北日本を中心に雨や雪が降り、北海道では強風となったところもあった。

前線を伴った低気圧が本州南岸を通過(3日～6日)

3日は、湿った空気の影響により、沖縄で雨が降り、一部で雷を伴い、大雨となったところもあった。その他の地方は冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、東北地方の一部では雷を伴った。4日は、湿った空気の影響により、沖縄から九州南部地方にかけて雨が降り、一部で大雨となった。また、気圧の谷の影響により、北日本の一部では雨や雪が降った。その他の地方は、高気圧に覆われて概ね晴れた。5日は、九州の西海上の低気圧が北東に進み、前線が南西諸島を通過した。沖縄から東北地方にかけて雨が降り、南西諸島や関東の一部では大雨となった。6日は、関東の東海上の低気圧が日本の南海上から日本の東海上にのびる前線を伴って北東に進んだ。四国から北海道にかけて雨が降り、北海道の一部では雷を伴った。

低気圧が北海道付近を通過、その他の地方は高気圧に覆われる(7日～13日)

7日は、北海道付近の低気圧が東に進んだ。山陰から北日本にかけてと関東の一部で雨が降り、北日本の一部で雷を伴った。北海道では大雨となったところもあった。その他の地方は黄海に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。8日は、湿った空気の影響により、沖縄で雨が降った。その他の地方は広く高気圧に覆われて概ね晴れた。9日は、湿った空気の影響により、沖縄で雨が降った。また、気圧の谷の影響により、関東で雨が降った。その他の地方は関東の東海上に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。10日は、湿った空気の影響により、南西諸島や関東で雨が降り、南西諸島の一部では大雨となった。また、オホーツク海の低気圧が北東に進み、前線が北日本を通過したため、北日本で雨が降り、一部で雷を伴った。11日は、気圧の谷の影響で、南西諸島の一部と

北陸および東北地方の一部で雨が降った。12日は、湿った空気の影響により、沖縄で雨が降った。また、気圧の谷の影響により、北海道で雨が降り、一部で雷を伴った。その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れた。13日は、暖かく湿った空気が流れ込み、沖縄・奄美から西日本にかけての一部で雨が降り、沖縄では雷を伴ったところもあった。その他の地方は関東の東海上に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。

前線を伴った低気圧が本州付近を通過後、高気圧に覆われる(14日～26日)

14日は、東シナ海の低気圧が華南から日本の南海上にのびる前線を伴い西日本へ進んだ。沖縄から東北地方にかけて雨が降り、沖縄の一部では雷を伴った。九州から東海地方にかけての一部では大雨となった。15日は、東シナ海から西日本をとおり関東の東海上にのびる前線が停滞した。北海道の一部を除いて全国的に雨が降り、東日本の一部では大雨となった。16日は、先島諸島付近から三陸沖にのびる前線が東に進み、前線上の低気圧が三陸沖から北海道の東海上に進んだ。また、沿海州の低気圧が北東に進んだ。沖縄・奄美と、近畿から北海道にかけて雨が降った。北海道の一部では雷を伴い、強風となったところもあった。17日は、寒気を伴った気圧の谷の影響で、北陸から北海道にかけて雨や雪が降った。北海道では強風となったところもあった。18日は、北日本を中心とした冬型となり、北陸から北海道にかけて雨や雪が降った。北海道では強風となったところもあった。その他の地方は、黄海に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れた。19日は、日本付近は広く高気圧に覆われて、全国的に概ね晴れたが、日本の南海上から日本の東海上にのびる前線の影響で、伊豆諸島南部の一部で大雨や強風となった。20日は、日本の南海上から日本の東海上にのびる前線の影響で、関東の一部と沖縄から九州にかけて雨が降った。その他の地方は日本の東海上に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。21日は、九州の西海上に低気圧が発生し東に進んだ影響と、湿った空気の影響により、沖縄・奄美から東日本にかけて雨が降り、九州の一部で雷を伴った。西日本では大雨となったところもあった。22日は、対馬海峡と日本海中部の低気圧に向かって、湿った空気が流れ込んだ影響により、全国的に雨が降り、西日本の一部では雷を伴った。西日本から東日本にかけての一部と北海道の一部では大雨となった。23日は、津軽海峡付近の低気圧が北東へ進み、前線が本州を通過した。西日本から北日本にかけての一部で雨が降り、近畿地方では雷を伴ったところがあった。24日は、日本海西部の低気圧が発生し東に進んだ影響で、北日本の一部や東日本では雨が降った。25日は、日本海北部の低気圧が北東へ進み、前線が東日本と北日本を通過した。山陰から北陸にかけてと北日本で雨や雪が降った。北海道の一部では強風となった。26日は、北日本を中心とした冬型となり、北海道の一部で強風となったほか、北陸から北海道の日本海側にかけて雨が降った。その他の地方は、黄海付近に中心を持つ高気圧に覆われて概ね晴れた。

暖かく湿った空気が流れ込む(27日～31日)

27日は、日本海に中心を持つ高気圧に覆われて、北海道や沖縄の一部を除き概ね晴れた。28日から29日にかけて、湿った空気の影響により、九州南部地方から中国地方にかけて雨が降り、九州南部地方の一部で大雨となった。30日は、対馬海峡の低気圧が日本海中部に進んだ。西日本から東日本にかけて雨が降り、九州の一部では雷を伴い、大雨となったところもあった。31日は、気圧の谷の影響で、本州を中心に雨が降った。

11月

高気圧に覆われた後、低気圧や前線が日本海や本州南岸を通過(1日～8日)

1日から2日にかけて、高気圧の縁辺から流れ込む湿った空気の影響で、南西諸島や九州の一部で雨が降り、一部で雷を伴い、大雨となったところもあった。その他の地方は、北日本に中心をもつ高気圧に覆われて概ね晴れた。3日は、気圧の谷の影響で、西日本の太平洋側の一部や東北地方の一部で雨が降った。4日は、高気圧の縁辺から流れ込む湿った空気の影響で、南西諸島から九州にかけての一部と伊豆諸島の一部で雨が降った。その他の地方は、高気圧に覆われて概ね晴れた。5日は、対馬海峡に中心を持つ低気圧が東に進んだ影響と高気圧の縁辺から流れ込む湿った空気の影響で、西日本を中心に雨が降った。また、日本海北部の低気圧の影響で、北海道の一部で雨

が降った。6日は、九州の西海上から関東の東海上にのびる前線が東に進み、山陰沖の低気圧が日本海を北東に進んだ。このため、北海道を除いて全国的に雨が降った。7日は、三陸沖に中心を持つ低気圧が発達しながら東へ進み、一時的に冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となった。山陰から北陸にかけての日本海側と東北地方で雨が降った。8日は、湿った空気の影響で、南西諸島で雨が降り、一部で大雨となった。また、関東の東海上の低気圧の影響で、関東の一部で雨が降った。

前線が本州南岸を通過し、南西諸島の一部を中心に大雨(9日～12日)

9日から10日にかけて、台湾付近から日本の南海上にのびる前線と前線上の沖縄本島付近に発生した低気圧が北東に進んだ。このため、南西諸島から九州の南部にかけてと近畿から東海にかけての一部で雨が降り、大雨となったところもあった。11日は、前線を伴った低気圧が沖縄本島付近から関東の東海上を東に進んだ。中国地方を除く南西諸島から東北地方にかけて雨が降り、一部で大雨となった。12日は、気圧の谷の影響で、南西諸島の一部と北日本の一部で雨が降った。

寒気の影響を受ける(13日～17日)

13日は、気圧の谷の影響で、南西諸島の一部で雨が降り、大雨となったところもあった。また、網走沖の低気圧が北東に進んだ影響で、北日本の一部で雨が降った。14日は、寒気の影響を受け、東日本から北日本の日本海側で雨や雪が降り、北陸の一部では雷を伴った。また、関東の東海上の低気圧の影響により、関東の一部で雨が降った。15日から17日にかけて、寒気の影響により、山陰から北海道にかけての日本海側を中心に雨や雪が降った。

前線を伴った低気圧が日本海や本州南岸を通過(18日～19日)

18日は、華南から東シナ海にのびる前線と、前線上の九州の西海上に発生した低気圧が東に進み、九州に達した。また、華北から朝鮮半島にのびる前線と前線上の渤海にある低気圧が日本海中部に進んだ。このため、西日本で雨が降り、九州の一部や四国の一部では大雨となった。19日は、九州付近の低気圧が華中から四国にのびる前線を伴って三陸沖に進み、前線が西日本と東日本を通過した。また、日本海北部の低気圧が黄海から三陸にのびる前線を伴って網走沖に進み、前線が北日本を通過した。このため、全国的に雨が降り、南西諸島の一部では雷を伴った。西日本から東日本にかけての太平洋側の一部や東北地方の一部で大雨となり、暴風や強風となったところもあった。

冬型の気圧配置となった後、前線を伴った低気圧が日本海や本州南岸を通過(20日～27日)

20日から21日にかけて、冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、北陸の一部では大雨となった。関東の一部では強風となり、北海道の一部では暴風や強風となった。22日は、はじめ冬型で、その後高気圧に覆われた。山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。北海道の一部では強風となった。23日は、朝鮮半島に中心を持つ低気圧が黄海から日本海西部にのびる前線を伴って北東に進んだ。また、東シナ海から九州の西海上にのびる前線が東に進んだ。このため、九州から関東にかけてと北日本の一部で雨や雪が降り、北海道の一部では強風となった。24日は、日本海北部に中心を持つ低気圧が発達しながらオホーツク海に進み、日本付近は冬型となった。このため、山陰から北陸にかけての日本海側と北日本で雨や雪が降り、一部で雷を伴った。北日本では暴風や強風となったところもあった。25日は、冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、北海道の一部では強風となった。26日は、本州付近に中心をもつ高気圧に覆われた。北海道の一部では雨や雪が降ったが、その他の地方は概ね晴れた。27日は、日本海中部に中心を持つ低気圧が黄海から日本海北部にのびる前線を伴って東に進み、前線が北日本を通過した。北日本の一部で雨や雪が降り、一部で大雨となった。

前線が本州南岸を通過(28日～30日)

28日は、沖縄の南海上から日本の南海上にのびる前線の影響で、南西諸島で雨が降り、一部で大雨となった。また、日本海に低気圧が発生し、前線を伴って東北東へ進んだ。このため、北日本の一部で雨が降った。29日は、沖縄の南海上から日本の東海上にのびる前線を伴った低気圧が日本の南海上を北東へ進み、また、北海道にある低気圧が日本海中部から三陸沖にのびる前線を伴って北東に進んだ。このため、南西諸島と北日本の一部で雨や雪が降った。30日は、沖縄の南海上に停滞する前線の影響で、南西諸島で雨が降り、一部で雷を伴った。また、寒気の影響で山陰から北海道にかけての日本海側を中心に雨や雪が降った。

12月

低気圧が本州南岸を通過した後、冬型の気圧配置になる(1日～6日)

1日は、寒気の影響で、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。また、東シナ海から日本の南海上にのびる前線の影響により、南西諸島から東日本にかけての太平洋側で雨が降った。2日は、奄美群島付近から日本の東海上にのびる前線と九州の西海上の低気圧の影響により、九州から関東にかけて雨が降り、伊豆諸島の一部では強風となった。3日は、四国沖の前線を伴った低気圧が北東に進み、山陰沖の低気圧は日本海を北東に進んだ。このため、全国的に雨や雪が降り、関東の一部では大雨となった。四国や北陸および伊豆諸島では、強風となったところもあった。4日は、釧路沖の低気圧が発達しながら北東に進んだ後、日本は冬型の気圧配置(以下冬型と略す。)となった。このため、山陰から北陸にかけての日本海側と北日本で雨や雪が降り、北日本では暴風や強風となったところがあった。5日は、冬型となり、山陰から北陸にかけての日本海側と北日本で雨や雪が降った。北日本では強風となったところもあった。6日は、北日本を中心に冬型となり、北海道の日本海側で雪が降った。また、高気圧の縁辺から流れ込む湿った空気の影響で、南西諸島で雨が降り、一部で大雨となった。また、東海沖に低気圧が発生し東に進んだため、関東の太平洋側で雨が降り、一部で大雨となった。

気圧の谷の影響を受けた後、冬型の気圧配置になる(7日～11日)

7日は、気圧の谷の影響により、九州および山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。8日は、冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。また、東シナ海の前線を伴った低気圧が九州の西海上を東に進み、関東の東海上の低気圧は北東に進んだ。このため、西日本から東日本にかけての太平洋側で雨が降り、九州の一部では強風となった。9日は、冬型となり、関東の東海上の前線を伴った低気圧が東に進んだ。西日本から北日本にかけて雨や雪が降り、西日本の一部では強風となった。10日は、冬型がゆるみ、日本海中部の低気圧が東に進んだ。西日本の一部と、北陸から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、北陸の一部で雷を伴った。11日は、冬型となり、北陸から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、北陸の一部で雷を伴った。また、気圧の谷の影響で、南西諸島で雨が降った。

高気圧に覆われた後、冬型の気圧配置になる(12日～21日)

12日は、北日本を中心に冬型となり北陸から北海道の日本海側で雨や雪が降った。北海道の一部では強風となった。また、気圧の谷の影響で、南西諸島で雨が降った。13日は、移動性高気圧が西日本から東日本に張り出し、次第に冬型が緩んだ。北陸や北海道の日本海側では雪や雨となった。その後高気圧に覆われて、西日本から東日本にかけて概ね晴れた。14日は、東海沖の低気圧が北東に進み、また、日本海北部の低気圧が日本海西部にのびる前線を伴って東に進んだ。このため、関東の太平洋側と北日本の日本海側で雨や雪が降った。15日は、宗谷海峡の低気圧が日本海西部にのびる前線を伴って東に進み、前線が北日本を通過した。山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、北陸の一部では雷を伴った。また、高気圧の縁辺から流れ込む湿った空気の影響で、南西諸島で雨が降った。16日は、冬型となり、九州から北海道にかけての日本海側を中心に雨や雪が降り、北陸の一部で雷を伴った。九州では強風となったところもあった。17日から20日にかけては、冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側を中心に雨や雪が降った。21日は、

日本海に低気圧が発生して東に進んだ。山陰から北陸にかけてと、北日本の一部で雨や雪が降った。また、沖縄本島付近の前線の影響で、南西諸島で雨が降った。

低気圧や前線が日本海や本州南岸を通過し、北日本で暴風(22日～24日)

22日は、日本海中部の低気圧が北東に進み、前線が本州を通過した。このため、山陰から北陸にかけて、および北日本で雨や雪が降り、一部で雷を伴った。東北地方では強風となったところもあった。また、沖縄本島付近の前線の影響で、南西諸島で雨が降った。23日から24日にかけて、冬型となり、また、日本海に低気圧が発生し東に進んだ。このため山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、雷を伴ったところもあった。北日本では暴風となったところや強風となったところもあった。

冬型の気圧配置となった後、低気圧や前線が日本海を通過(25日～31日)

25日から27日にかけて、冬型となり、山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降った。北陸の一部では雷を伴い、大雪となったところもあった。九州や四国および北海道では強風となったところがあった。28日は、はじめ冬型で、山陰から北海道にかけての日本海側の一部で雨や雪が降った。その後高気圧に覆われて、西日本から東日本にかけて概ね晴れた。29日は、日本海中部の低気圧が北東に進み、前線が東日本および北日本を通過した。山陰から北海道にかけての日本海側で雨や雪が降り、東北地方の一部では雷を伴った。北海道では強風となったところもあった。また、気圧の谷の影響で、南西諸島で雨が降った。30日は、冬型となり、また、北海道付近の低気圧の影響を受けた。このため、山陰から北陸にかけての日本海側および北日本で雨や雪が降り、北日本の一部で強風となった。また、気圧の谷の影響で、南西諸島で雨が降った。31日は、冬型がゆるみ、日本海西部の低気圧が東に進んだ。山陰から北陸にかけて、および、北日本の一部で雨や雪が降った。

(この刊行物は気象庁の承諾を得て複製したものである)

平成 24 年 3 月 29 日発行

編集者 **気 象 庁**

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

定価 1,512 円 (本体 1,440 円 + 税)

発行所 財団法人 気象業務支援センター

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17

TEL: 03-5281-0440

印刷所 株式会社エムア

〒301-0005 茨城県龍ヶ崎市川原代町1062-38

TEL: 0297-95-5161